もっと知りたい南砺（なんと）の仕事

お伝えします　ことしのお金の使い方

平成２４年度
予算のあらまし
富山県南砺市

ほっと あっと なんと

はじめに

平成２４年度は、総合計画後期５ヶ年計画のスタートの年であります。「いいね！　南砺　積極型予算」のキャッチフレーズどおり、幅広い年齢層、市内の隅々の地域にゆき届くように、きめ細かな予算編成に心掛けました。市民の皆さんが安心して暮らせる「安心・安全なまちづくり」や地域内分権の実践に向けた「協働のまちづくり」、元気で活力ある南砺市の実現を目指す「なんと元気なまちづくり」や市民要望実現に向けた事業を進めていこうとするものであります。

この冊子は、「市の仕事をもっと知りたいな」といった声にお答えするために作成いたしました。市は、市民の皆様へ予算や情報をお伝えして説明する責任があります。そこで、法で定める通常の予算書の形式では伝えきれない内容を具体的に記載した「予算のあらまし」をお届けいたします。市民の皆さんにとって身近な仕事もあれば、市全体としての事業も盛り込まれています。

予算の編成にあたっては、南砺市総合計画「さきがけて　緑の里から　世界へ」の将来構想の実現に向け、３つの基本目標について配慮いたしました。

・美しく住みよいまち
・創造的で元気なまち
・開かれたふれあいのまち

そして７つからなる基本方針に基づき、各種事業に取り組んでいくものであります。

この予算のあらましは、今年１年の南砺市の仕事の内容について掲載してあります。南砺市の行政を少しでも身近なものとして感じていただき、共に知恵を出し合いながら元気な南砺市を創り上げていきたいと考えております。作成にあたっては、判り易い言葉使いに心がけてはおりますが、不十分な点やお気付きの点がありましたら遠慮なくご意見をお寄せ下さい。

今後とも市民協働の推進を図り、公平・公正な行政運営に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きのご理解ご協力をお願い致します。

尚、本冊子の概要版を４月下旬に市内全戸へ配布いたしますので、併せてご覧いただければと思っております。

平成２４年４月

南砺市長　田 中 幹 夫

目　　次

はじめに　　ページ

平成24年度会計別予算集計表 …… 1

平成24年度事業施策別一覧表 …… 2

ことしの主な事業 …… 7

平成24年度なんと元気なまちづくり事業 …… 11

事業別説明書

一般会計

議会費

議員報酬 …… 12
議会運営費 …… 12
議員調査活動費 …… 12
議会事務局費 …… 12

総務費

庁舎などの維持管理経費 …… 13
秘書費 …… 14
総合計画市民意識調査費 …… 14
（仮称）過疎地域振興条例制定事業 …… 14
南砺市スポンサー事業 …… 14
なんと地域おこし協力隊事業 …… 15
「義経・巴」PR活動事業 …… 15
電気自動車充電設備設置事業等 …… 15
なんとGNH（総幸福度）事業 …… 15
金沢井波線バス運行調査事業 …… 16
JR乗車券類発行機(福野駅・福光駅）更新負担金 …… 16
城端線で体験学習事業・出かけよう事業補助金 …… 16
城端線で南砺市においでなはれ事業補助金 …… 16
並行在来線運営会社出資金 …… 17
協働のまちづくり提案事業（審査会・城端線活性化支援） …… 17
国内交流事業補助金 …… 17
国際交流事業補助金 …… 17
南砺市友好交流協会補助金 …… 18
日中友好交流都市中学生卓球交歓大会 …… 18
なんとに住んでみられ事業 …… 18
統計調査費 …… 18
電算管理業務 …… 19
インターネット管理業務 …… 19
地域情報化推進事業 …… 19
そくさいネット推進事業 …… 19
地域づくり交付金 …… 20
協働のまちづくりモデル事業 …… 21
集落支援員派遣事業 …… 22
協働のまちづくり支援センター運営費 …… 22
七転び八起き塾事業 …… 23
コミュニティビジネス起業講座事業 …… 23
広報発行費 …… 23
なんとカレンダー制作事業 …… 23
CATV行政チャンネル費 …… 24
広聴活動費 …… 24
結婚活動支援費 …… 24
財政費 …… 25
財産管理費 …… 25
市有車管理費 …… 25
賦課徴収費 …… 25
税務総務費 …… 26

行政評価導入支援業務委託料 …… 26
公共施設再編コンサルティング業務委託料 …… 26
災害対策費 …… 26
災害支援費 …… 27
富山県知事選挙費 …… 27
南砺市長選挙費 …… 27
南砺市議会議員選挙費 …… 27
会計管理費 …… 28
検査費 …… 28
監査委員費 …… 28
消費者保護行政費 …… 29
高齢者運転免許自主返納支援事業 …… 29
防犯協会補助金 …… 29
交通安全協会補助金 …… 29
コンビニ交付実施事業 …… 30
コンビニ交付システム追加業務委託料 …… 30
住基法改正に伴う住基システム等改修委託料 …… 30
自動交付機更新賃借料 …… 30

民生費
社会福祉協議会補助金 …… 31
井波社会福祉センター耐震化工事補助金 …… 31
社会福祉施設指定管理料 …… 31
生活保護事業 …… 31
敬老会委託料 …… 32
在宅高齢者等生活支援事業 …… 32
そくさいネット「ふれiTV」福祉支援事業 …… 32
シルバー人材センター補助金 …… 32
高齢者入浴券助成事業 …… 33
老人クラブ補助金 …… 33
高齢者ミドルステイ事業 …… 33
在宅要介護高齢者福祉金支給事業 …… 33
高齢者が住みよい住宅改善支援事業 …… 34
高齢者宅除雪支援事業 …… 34
福祉施設への指定管理事業 …… 34
高齢者福祉施設建設分担金事業 …… 34
介護予防事業 …… 35
在宅介護支援事業 …… 36
包括的支援事業 …… 37
予防給付事業 …… 37
砺波地方介護保険組合負担金 …… 37
障害者地域生活支援事業 …… 38
障害児わくわく子育て支援事業 …… 38
障害者支援施設建設費負担金 …… 39
特別障害者等手当支給事業 …… 39
重度障害者住宅改善費補助事業 …… 39
障害者ケアホーム整備事業 …… 39
障害者自立支援給付事業 …… 40
重度心身障害者等医療費助成事業 …… 40
障害児通所支援費 …… 40
相談員設置費 …… 41
出生祝い金 …… 41
児童遊具整備補助金 …… 41
チャイルドシート購入補助金 …… 41
ひとり親家庭医療費の助成 …… 42
こども妊産婦医療費の助成 …… 42
とやまっ子子育て応援券 …… 42
児童扶養手当の給付 …… 42
母子家庭等就業自立支援事業 …… 43
子どものための手当等の給付 …… 43
児童センター・児童館管理運営費 …… 43

放課後児童クラブ事業 …… 43
保育園費 …… 44
地域子育て支援センター費 …… 44
保育園施設整備費 …… 44
私立保育園育成費 …… 44

衛生費
保健衛生推進費 …… 45
大人の食育教室事業 …… 45
健康プラン策定事業 …… 45
自殺予防対策事業 …… 45
予防接種 …… 46
ヒブ・肺炎球菌予防接種 …… 46
感染症予防費 …… 46
保健センター運営費 …… 46
子宮頸がん予防ワクチン接種 …… 47
受動喫煙対策事業 …… 47
疾病予防対策費 …… 47
母子保健対策費 …… 48
母子健康診査事業 …… 48
むし歯予防対策事業 …… 48
不妊治療費助成事業 …… 48
市営墓地の維持管理 …… 49
斎場の維持管理 …… 49
ごみ処理費 …… 49
資源回収奨励金 …… 49
生ごみ処理機購入助成金 …… 50
砺波地方衛生施設組合分担金 …… 50
環境調査費 …… 50
環境基本計画策定 …… 51
住宅用太陽光発電設置事業補助金 …… 51

農林水産業費
農業委員会費 …… 52
農業振興対策 …… 52
農地流動化推進費 …… 52
集落営農・担い手育成事業 …… 52
米消費拡大・地産地消費対策 …… 53
鳥獣被害防止対策事業 …… 53
「みんなで農作業の日」in五箇山事業 …… 53
県特産物振興対策事業 …… 53
なんとの農産加工ブランド品認定制度 …… 54
市単独特産物振興対策事業 …… 54
都市農村交流対策費 …… 54
自遊の森管理費 …… 54
中山間地域対策事業 …… 55
中山間地域等直接支払 …… 55
農地・水保全管理支払交付金 …… 55
散居景観保全事業費 …… 55
県営ほ場整備事業負担金 …… 56
土地改良区償還金補助金 …… 56
地域用水環境整備事業 …… 56
県単土地改良事業負担金 …… 56
環境保全型農業直接支援対策 …… 57
南砺市小水力発電普及事業 …… 57
エコビレッジ推進費 …… 57
林業振興対策費 …… 58
ペレットストーブ等設置事業 …… 58
森林育成対策費 …… 58
南砺市の木利用促進事業 …… 58
市有林造成費 …… 59

里山再生整備事業費（水と緑の森づくり税） …… 59
森林総研造林事業費 …… 59
林道整備事業負担金 …… 59
林道維持費 …… 60
団体営林道整備事業 …… 60
山のみち地域づくり交付金林道費 …… 60
県単治山費 …… 60
県単林道整備事業 …… 61
自然保護費 …… 61
地籍調査費 …… 61
緑化推進費 …… 61
園芸植物園管理運営費 …… 62
カイニョと椿の森管理費 …… 62
花いっぱいのまちづくり事業 …… 62
林間施設管理費 …… 62
緑地広場等管理費 …… 63
林業構造改善費 …… 63
利賀ふるさとの森林指定管理料 …… 63
つくばね森林公園指定管理料 …… 63

商工費
商工会補助金 …… 64
中小企業融資制度等 …… 64
商工施設管理委託料 …… 64
雇用支援事業 …… 64
空き店舗対策・起業家育成支援事業 …… 65
がんばる商店街支援事業 …… 65
元気なまちづくり関連事業 …… 66
企業立地基本構想策定業務 …… 66
企業立地推進事業 …… 66
企業立地奨励事業等助成金 …… 67
カターレ富山「南砺の日」事業 …… 67
テレビ・ラジオ放送企画負担金 …… 67
PRアニメを活用した南砺市のイメージアップ事業 …… 68
ディスカバー・ジャパン特集企画掲載負担金 …… 68
富山市・南砺市・立山町シティプロモーション事業負担金 …… 68
観光協会補助金 …… 68
南砺里山博補助金 …… 69
イベント開催補助金 …… 69
歴史と文化が薫るまちづくり補助金 …… 69
なんとB級グルメ事業補助金 …… 69
コンベンション支援事業 …… 70
二次交通バス運行実証実験事業 …… 70
なんとツーリズムサポート事業 …… 70
城端線活性化協議会負担金 …… 70
なんと温泉PR事業 …… 71
南砺市観光戦略マスタープラン策定事業 …… 71
城端伝統芸能会館事業費 …… 71
スキー場管理費 …… 72
温泉施設管理費 …… 72
たいらクロスカントリー場管理費 …… 73
ささら館管理費 …… 74
合掌の里管理費 …… 74
桂湖施設管理費 …… 74
イオックスアローザ交流施設管理費 …… 74
道の駅いなみ木彫りの里振興費 …… 75
イオックスヴァルト管理費 …… 75
国見公園管理費 …… 75
その他施設管理費 …… 75
道の駅福光「なんと一福茶屋」管理費 …… 76
五箇山和紙の里管理費 …… 76

みどりの一里塚施設管理費 …… 76
赤祖父レイクサイド管理費 …… 76
利賀観光施設管理費 …… 77
アミュー広場管理費 …… 77
民謡の里管理費 …… 77
国民宿舎管理費 …… 77

土木費
道路新設改良事業（補助） …… 78
道路新設改良事業（単独） …… 78
スマートIC設置検討業務 …… 78
県道整備事業負担金 …… 78
道路橋梁維持費 …… 79
道路橋梁施設整備費 …… 79
除雪対策費 …… 79
除雪機械購入費 …… 79
地域ぐるみ除排雪機械購入費 …… 80
小型除雪車運転講習会事業 …… 80
消雪融雪装置管理費 …… 80
消融雪施設整備費（補助） …… 80
消融雪施設整備費（単独） …… 81
緊急浸水対策計画策定業務 …… 81
土砂災害ハザードマップ作成 …… 81
河川環境公園管理費 …… 81
市道クリーンアップ補助金 …… 82
南砺市生活基盤整備事業補助金 …… 82
（仮称）南砺スマートIC関連事業 …… 82
都市計画街路事業 …… 83
都市公園管理費 …… 83
県営都市計画街路事業負担金 …… 83
都市再生整備計画事業 …… 83
景観づくり住民協定支援事業 …… 84
景観づくり住民協定推進事業補助金 …… 84
用途地域見直し業務 …… 84
優良住宅団地開発支援事業補助金 …… 84
（仮称）遊部住宅建築事業 …… 85
克雪住宅普及事業 …… 85
木造住宅耐震改修支援事業 …… 85
民間建築物アスベスト除去等支援事業 …… 86
南砺市で暮らしてみんまいけ事業 …… 86
南砺市に住んでみんまいけ事業 …… 86

消防費
常備消防費 …… 87
消防団運営費・公務災害補償 …… 87
消防団施設費 …… 87
消防施設整備費 …… 87

教育費
教育センター管理運営費 …… 88
アーパス管理費 …… 88
私立幼稚園補助費 …… 88
小中学校就学援助費 …… 88
スクールソーシャルワーカー配置事業 …… 89
適応指導教室運営費 …… 89
外国語指導助手招致事業 …… 89
小学校管理費 …… 90
小学校健康管理費 …… 90
小学校施設整備費 …… 90
小学校給食費 …… 90
小学校教育振興費 …… 91

なんと元気なまちづくり事業（小中学校分） …… 91
中学校管理費 …… 92
中学校健康管理費 …… 92
中学校施設整備費 …… 92
中学校給食費 …… 92
中学校教育振興費 …… 93
14歳の挑戦実施費 …… 93
スクールバス運行費 …… 93
社会教育総務費 …… 94
社会教育推進費 …… 94
青少年育成費 …… 94
講座開設費 …… 94
五箇山自然文化解説員養成講座 …… 95
高齢者学級費 …… 95
地域子ども教室推進費 …… 95
公民館振興費 …… 95
公民館管理費 …… 96
その他社会教育施設管理費 …… 96
図書館事業 …… 96
社会体育施設管理費 …… 97
南砺市体育協会補助金 …… 97
青少年トップアスリート育成強化事業補助金 …… 97
総合型地域スポーツクラブ育成費 …… 98
スポーツイベント開催補助金 …… 98
スポーツ全国大会開催補助金 …… 98
雪合戦なんと・全国小学生雪合戦大会開催補助金 …… 98
指定文化財管理費 …… 99
善徳寺建造物等調査 …… 99
文化財保存修理事業補助金 …… 99
埋蔵文化財調査費 …… 100
世界遺産・合掌造り家屋保存事業 …… 100
南砺市美術展「市展」開催事業 …… 101
芸術文化振興事業 …… 101
博物館運営費 …… 101
利賀芸術公園支援事業 …… 101
井波総合文化センター事業 …… 102
福野文化創造センター事業 …… 102
スキヤキ･ミーツ･ザ･ワールド事業等補助金 …… 103
美術品整備 …… 103
福光美術館事業 …… 103
棟方志功記念館事業 …… 103

特別会計
国民健康保険事業特別会計 …… 104
後期高齢者医療事業特別会計 …… 105
国民健康保険診療所事業特別会計 …… 106
訪問看護事業特別会計 …… 106
介護事業特別会計 …… 107
バス事業特別会計 …… 109
工業用地造成事業特別会計 …… 109
簡易水道事業特別会計 …… 110

企業会計
病院事業会計 …… 111
水道事業会計 …… 116
下水道事業会計 …… 118

資料編 …… 120

平成２４年度会計別予算集計表

会計名			平成24年度 当初予算額	平成23年度 当初予算額	差引	伸率
一般会計			344億3,000万円	331億800万円	13億2,200万円	4.0 %
特別会計	バス事業特別会計		1億3,140万円	1億2,550万円	590万円	4.7 %
	国民健康保険事業特別会計		57億6,650万円	56億6,230万円	1億420万円	1.8 %
	国民健康保険診療所事業特別会計		3億6,050万円	3億6,810万円	△760万円	△2.1 %
	後期高齢者医療事業特別会計		14億3,540万円	13億3,080万円	1億460万円	7.9 %
	介護事業特別会計		3億3,910万円	3億1,900万円	2,010万円	6.3 %
	訪問看護事業特別会計		2億2,510万円	2億2,480万円	30万円	0.1 %
	工業用地造成事業特別会計		6億2,760万円	10万円	6億2,750万円	激増
	簡易水道事業特別会計		3億4,650万円	3億2,010万円	2,640万円	8.2 %
	小計		92億3,210万円	83億5,070万円	8億8,140万円	10.6 %
企業会計	病院事業会計		79億728万円	69億9,814万円	9億914万円	13.0 %
		収益的支出	62億9,133万円	62億8,395万円	738万円	0.1 %
		資本的支出	16億1,595万円	7億1,419万円	9億176万円	126.3 %
	水道事業会計		17億3,067万円	16億154万円	1億2,913万円	8.1 %
		収益的支出	10億7,033万円	10億2,819万円	4,214万円	4.1 %
		資本的支出	6億6,034万円	5億7,335万円	8,699万円	15.2 %
	下水道事業会計		59億4,371万円	57億6,399万円	1億7,972万円	3.1 %
		収益的支出	33億7,212万円	34億757万円	△3,545万円	△1.0 %
		資本的支出	25億7,159万円	23億5,642万円	2億1,517万円	9.1 %
	小計		155億8,166万円	143億6,367万円	12億1,799万円	8.5 %
合計			592億4,376万円	558億2,237万円	34億2,139万円	6.1 %

平成２４年度事業施策別一覧表

美しく住みよいまち　436億9,135万円

自然に優しい住みよいまちづくり　8億2,981万円

自然環境の保全と活用　1億8,368万円

美化推進費	26	万円
不法投棄対策費	131	万円
田園空間整備費	886	万円
里山再生整備事業費	2,379	万円
治山費	1,127	万円
緑化推進費	7,453	万円
林業施設管理費	722	万円
自然保護費	2,459	万円
河川総務費	3,185	万円

循環型社会の構築　5億2,697万円

ごみ処理費	5億78	万円
資源再利用等推進費	1,548	万円
環境保全推進費	871	万円
エコビレッジ推進費	200	万円

適正な土地利用の推進　1億1,916万円

農業委員会費	2,480	万円
農地制度実施円滑化事業費	104	万円
地籍調査費	9,332	万円

安全で快適なまちづくり　160億9,207万円

道路・交通ネットワークの充実　32億8,439万円

公共交通費	7,717	万円
バス事業特別会計繰出金	6,569	万円
土木総務費	1億8,394	万円
道路橋梁維持費	3億6,828	万円
道路改良費	16億2,850	万円
都市計画総務費（都市計画管理費除く）	9,726	万円
都市計画街路費	3億8,165	万円
都市再生整備計画事業費	2億9,500	万円
道路河川災害復旧費	5,550	万円
バス事業特別会計	1億3,140	万円

消防・防災体制の充実　10億8,343万円

災害対策費	5,181	万円
利賀ダム費	361	万円
消防費	10億2,801	万円

交通安全・防犯対策の推進　1,959万円

生活安全対策費	1,959	万円

克雪・親雪・利雪の推進　5億2,613万円

除雪対策費	3億2,064	万円
消融雪施設管理費	5,029	万円
消融雪施設整備費	1億5,520	万円

良質な住宅・宅地の供給　4億3,974万円

住宅費	4億3,974	万円

良好な都市景観の形成　6,374万円

都市計画管理費	991	万円
公園管理費	5,383	万円

（美しく住みよいまち）

（安全で快適なまちづくり）

健やかなやすらぎのまちづくり 267億6,947万円

上下水道の整備 104億1,609万円

水道事業会計繰出金	33 万円
簡易水道事業特別会計繰出金	1億1,693 万円
下水道事業会計繰出金	22億7,794 万円
簡易水道事業特別会計	3億4,650 万円
水道事業会計	17億3,067 万円
下水道事業会計	59億4,372 万円

環境衛生対策の充実 2億5,896万円

環境総務費	2,565 万円
市営墓地管理費	1,212 万円
斎場運営費	4,950 万円
狂犬病予防費	57 万円
し尿処理費	1億6,775 万円
環境調査費	337 万円

地域福祉の推進 6億425万円

社会福祉総務費	2億1,893 万円
民生児童委員費	1,182 万円
社会福祉推進費	2億8,475 万円
社会福祉施設運営費	8,875 万円

子育て環境の充実 32億6,780万円

親水施設運営費	86 万円
児童館費	4,038 万円
保育実施費	32億630 万円
私立幼稚園補助費	2,026 万円

子育て家庭への支援 11億8,429万円

児童福祉総務費	2億6,565 万円
児童措置費	8億8,178 万円
地域子育て支援センター費	3,147 万円
地域子ども教室推進費	539 万円

高齢者福祉の充実 10億6,234万円

老人福祉費	3億8,297 万円
介護事業特別会計繰出金	1億1,517 万円
介護事業特別会計	3億3,910 万円
訪問看護事業特別会計	2億2,510 万円

障がい者福祉の充実 10億5,881万円

心身障害者福祉費	10億5,881 万円

健康づくりの推進 4億2,320万円

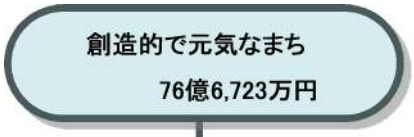
保健衛生総務費	1億3,683 万円
予防費	1億4,147 万円
保健センター運営費	1,208 万円
健康増進対策費	7,820 万円
母子保健費	5,462 万円

医療体制の充実 97億7,143万円

国民健康保険診療所事業特別会計繰出金	1億3,555 万円
病院事業会計繰出金	13億6,811 万円
国民健康保険診療所特別会計	3億6,050 万円
病院事業会計	79億727 万円

社会保障制度の適正な運営 93億9,735万円

国民健康保険事業特別会計繰出金	4億848 万円
住宅手当緊急特別措置事業費	58 万円
国民年金費	803 万円
生活保護費	1億355 万円
老人保健医療事業費	62 万円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	8億6,831 万円
介護保険事業費	8億588 万円
国民健康保険事業特別会計	57億6,650 万円
後期高齢者医療事業特別会計	14億3,540 万円



心豊かで創造的なまちづくり　33億1,277万円

学校教育の充実　16億4,440万円

教育委員会費	185 万円
教育委員会事務局費（私立幼稚園補助費除く）	1億5,775 万円
教育施設管理費	1,932 万円
教育センター費	2,273 万円
小学校費	10億4,161 万円
中学校費	4億114 万円

生涯学習の推進　7億4,490万円

社会教育総務費	3億1,657 万円
社会教育振興費（地域子ども教室推進費除く）	1,507 万円
公民館費	1億1,265 万円
図書館費	8,107 万円
教育文化施設費	2億1,954 万円

生涯スポーツの推進　6億382万円

体育総務費	7,405 万円
体育振興費	1,976 万円
体育施設費	5億1,001 万円

芸術文化活動の振興　1億5,865万円

芸術文化推進費	9,979 万円
美術館費	5,886 万円

文化財の保存・活用と伝統文化の継承　1億6,100万円

文化財保護費	1億3,378 万円
博物館費	2,722 万円

いきいきとした活力あるまちづくり　43億5,446万円

農業・農村の振興　7億4,146万円

農業総務費	9,096 万円
農業者年金事務費	8 万円
農業振興費	4億2,749 万円
畜産振興費	430 万円
農業施設管理費	1,696 万円
桜ヶ池周辺施設費	536 万円
農地総務費	1億4,360 万円
中山間地整備費	600 万円
農道費	1,163 万円
水産業振興費	107 万円
農業用施設等災害復旧費	3,401 万円

森林・林業の振興　7億37万円

林業総務費	8,972 万円
林業振興費（里山再生整備事業費除く）	7,733 万円
林道費	2億6,524 万円
林業構造改善費	3,575 万円
林道災害復旧費	2億3,233 万円

商業の振興　3億1,855万円

商工総務費	1億912 万円
伝統的工芸産業振興費	400 万円
商工振興費	1億2,581 万円
商工施設管理費	7,962 万円

（創造的で元気なまち）　（いきいきとした活力あるまちづくり）

- 観光の振興 9億931万円
  - 観光推進費 2億2,724 万円
  - 観光施設管理費 6億3,690 万円
  - 伝統芸能会館費 4,517 万円
- 工業の振興と企業誘致 15億3,418万円
  - 地域産業振興事業費 430 万円
  - 中小企業金融対策費 7億3,760 万円
  - 企業立地推進費 1億6,468 万円
  - 工業用地造成事業特別会計 6億2,760 万円
- 雇用の確保と創出 8,010万円
  - 労働諸費 8,010 万円
- 定住化の推進 3,552万円
  - 企画費 2,552 万円
  - 結婚活動支援費 1,000 万円
- 国内外交流の推進 3,497万円
  - 交流費 3,497 万円

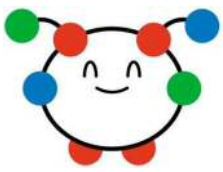
開かれたふれあいのまち 78億8,518万円

- 市民と行政の協働のまちづくり 9億5,342万円
  - 協働のまちづくり 8億6,273万円
    - 情報公開費 50 万円
    - 文書広報費 1,416 万円
    - 協働によるまちづくり推進費 3,376 万円
    - 行政センター費（一般管理費等） 7億770 万円
    - 選挙費 1億661 万円
  - コミュニティ活動への支援 8,869万円
    - 自治振興費 8,869 万円
  - 男女共同参画社会の推進 200万円
    - 男女共同参画推進費 200 万円
- 健全で開かれたまちづくり 69億3,176万円
  - 情報化の推進 2億2,681万円
    - 電算管理費 2億2,681 万円
  - 効果的で効率的な行政経営 13億915万円
    - 議会費 3億2,878 万円
    - 総務一般管理費 6億8,703 万円
    - 人事管理費 4,356 万円
    - 会計管理費 593 万円
    - 秘書費 1,205 万円
    - 広域行政費 3,882 万円
    - 公平委員会費 29 万円
    - 戸籍住民基本台帳費 1億6,065 万円
    - 統計調査費 313 万円
    - 監査委員費 2,891 万円

（開かれたふれあいのまち）　（健全で開かれたまちづくり）

財政の健全化
53億9,580万円

財政管理費	145	万円
財産管理費	6,010	万円
行政センター費（庁舎等管理）	2億2,025	万円
徴税費	2億6,966	万円
公債費	47億3,480	万円
基金費	5,954	万円
予備費	5,000	万円
合計	**592億4,376**	**万円**



○ことしの主な事業

平成２４年度予算の主な事業を紹介します。

① 総合計画の実現に向けて、事業を着実に実行すること

（仮称）井波地域統合保育園整備事業（建設） (P44)　８億 3,750　万円

井波地域の山野保育園を除く４保育園を統合する計画であり、平成２４年度早々に工事に着手し、平成２５年４月開園を目指します。

（仮称）福光中部統合保育園整備事業（造成、設計）(P44)　１億 250　万円

福光中部小学校下の４保育園を統合する計画であり、平成２４年度は用地造成工事と実施設計に取り組みます。平成２５年度着工、平成２６年４月開園を目指します。

（仮称）福光南部統合保育園整備事業（建設） (P44)　　４億 700　万円

福光南部小学校下の４保育園を統合する計画であり、平成２４年度は工事に着手し、平成２５年４月開園を目指します。

（仮称）遊部住宅建築事業（建設） (P85)　　３億 388　万円

福光地域の遊部地区に４４戸を建設します。うち１０戸は高齢社会に対応したシルバーハウジングとしており、子育て世代から高齢者まで幅広く入居することができます。入居開始は平成２４年１１月頃の予定です。

（仮称）平、上平統合小学校建設事業（建設） (P90)　４億 8,075　万円

皆葎地内に統合小学校を建設します。平成２４年度は校舎の建設に着手します。平成２６年度開校予定です。

② “なんと　元気な　まちづくり事業”を展開すること（内訳はＰ１１参照）

Ⅰ	協働のまちづくり事業	１億 565　万円
Ⅱ	なんと発信事業	2,820　万円
Ⅲ	住みたいまち「なんと」事業	4,627　万円
Ⅳ	行きたいまち「なんと」事業	3,393　万円
Ⅴ	過疎地域対策事業	1,191　万円
Ⅵ	地方からの「新たな暮らし方」の構築事業	2,573　万円

③ 市民要望を実現すること

道路橋梁維持修繕 (P79)　　１億 6,200　万円

舗装補修や安全柵修繕を行い、道路や橋を常に良好な状態に保ちます。

（内 8,000 万円は緊急要望対応分）

道路橋梁施設整備（P79） 5,600 万円

道路の落石防護柵やガードレールの設置、側溝改修などをすすめ、安全確保を図ります。

消融雪施設整備（P81） 4,200 万円

道路の消雪・融雪装置の新設や設備の更新工事をすすめ、降雪時の交通確保や除雪作業の軽減を図ります。

林道維持修繕（P60） 2,000 万円

優先度の高い林道の維持修繕を実施し、森林施業の効率化、通行の安全確保を図ります。

④ 協働のまちづくりを推進すること

協働のまちづくり支援センター運営費（P22） 467 万円

市民と行政の協働のまちづくりの実現のため、各種団体の活動を支援します。（井波地域の支援センターに加え、今年度から新たに福光地域で第２のセンターを開設し、これまで要望の多かった利用時間の延長にも対応します。※「なんと元気なまちづくり事業」として別に予算計上しています。）

集落支援員派遣事業（P22） 51 万円

地域の課題や問題を自ら解決しようとする地域に集落支援員“いっしょに頑張り隊”を派遣し、今後の集落について考え、課題解決へのサポートをします。

七転び八起き塾事業（P23） 364 万円

明日の南砺市を担う若い地域リーダーの養成を目的に、平成 21 年度から取り組んでいる事業です。1 年間を通じて一緒に学び、一緒に考え、一緒に行動する機会を提供します。

⑤ 活気あるまちづくりを推進すること

観光協会補助金（P68） 6,810 万円

プロモーションによる誘客、旅行商品の開発など、南砺市の戦略的な観光振興を進める南砺市観光協会を支援します。

イベント開催補助金（P69） 7,005 万円

市内の歴史と伝統のある祭りや個性と魅力にあふれたイベントを支援します。

南砺里山博補助金（P69） 500 万円

南砺市来訪者に、市内の魅力ある自然、文化、産業資源を堪能してもらう事業である南砺里山博の開催を支援します。

世界遺産マスタープラン策定事業（P100） 293 万円

世界遺産を次世代に引き継ぐ指針となるマスタープランを策定します。

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド事業補助金（P103）　1,000　万円
「音楽を通して異文化交流」をテーマに、コンサートをはじめ、さまざまなプログラムをボランティアスタッフの企画運営により実施しています。

福光声楽サマーセミナー補助金（P101）　1,250　万円
福光ＩＯＸ－ＡＲＯＳＡを会場に、声楽家志望者のセミナーを実施するとともに、ガラ・コンサート等を開催して地域住民との交流を図ります。

利賀中村体育館改修事業（P97）　1 億 8,500　万円
利賀をアジアにおける世界的な舞台芸術の拠点とするため、利賀中村体育館を屋内劇場としても使用できるよう改修します。

⑥ 安全・安心づくりを推進すること

ふれｉTV サポートセンター運営費（P19）　336　万円
簡単に操作できるテレビ電話端末により、地域のお知らせや緊急情報を伝達したり、遠隔地のパソコンなどから顔を見ながら会話をすることができます。今年度から買物支援システムや健康体操映像などのサービスが追加され、高齢者世帯等を側面から支援します。

防災拠点施設整備事業（P26）　1,124　万円
消防署所再編に併せ防災拠点施設の基本設計を進めます。災害時の消防団活動拠点機能、消防団及び自主防災組織の訓練・研修施設、災害備蓄倉庫などの施設構成と被災時の支援人員宿泊機能を考えています。

地域防災計画修正業務委託料（P26）　430　万円
平成２０年７月の豪雨災害を教訓に、減災対策や初動体制、災害時要援護者対策、情報伝達体制の強化などを再度見直すとともに、東日本大震災に伴う国・県の防災計画修正に合わせ、地震対策の改定、原子力対策の新設を行います。

自主防災組織訓練実施補助金（P26）　30　万円
自治会や自主防災組織が実施する住民参加型防災訓練に必要な経費を補助します。

公共（的）施設耐震補強整備事業
（P13、31、92、96、99、101、112）　11 億 9,350　万円
上平・利賀庁舎、福野中学校、南砺市民病院の耐震化事業、大鋸屋・蓑谷公民館、城端曳山会館の耐震診断、井波社会福祉センター耐震化工事補助金、城端別院善徳寺本堂緊急震災対策事業補助金の交付を行います。

高齢者宅除雪支援事業（P34）　100　万円
６５歳以上のひとり暮らし高齢者世帯や高齢者のみで構成する世帯等の屋根雪を除雪する費用を支援します。

子どものための手当等給付費（P43）　７億 7,145　万円
０歳から中学校修了前の子どもを養育している方に月額１万円（３歳未満と３歳から小学生の第３子以降は１万５千円）を給付します。

環境基本計画策定事業（P51）　290　万円
南砺市の目指すべき環境像と環境保全に向けた取り組みを示す環境基本計画を策定します。

健康プラン策定事業（P45）　108　万円
健康寿命を延伸し心豊かに生活できることを目的として、平成２５年度から１０年間の健康プランを策定し、南砺市の健康づくりの普及に努めます。

鳥獣害防止総合対策事業（P53）　884　万円
イノシシをはじめとする鳥獣害の農作物被害を防止する対策を進めます。

土砂災害ハザードマップ作成事業（P81）　400　万円
土砂災害での人的被害が発生しないようハザードマップを作成します。

木造住宅耐震改修支援事業費補助金（P85）　300　万円
地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、木造住宅の耐震改修を行う方にその経費の一部を補助します。

消防ポンプ車購入費、耐震性貯水槽新設工事（P87）　5,472　万円
消防団活動をより充実強化するため、消防ポンプ車１台、小型動力付きポンプ積載車１台を購入します。また、耐震性貯水槽２基を新設します。

公民館バリアフリー化工事（P96）　3,286　万円
高瀬公民館、高瀬西公民館、西太美公民館に、玄関スロープや多目的トイレ設置などのバリアフリー化工事等を行います。

⑦ *社会資本の整備*

道路整備費（市道、街路、農道、林道）　18 億 874　万円
快適で利便性の高い道路網を整備します。

（仮称）南砺スマートＩＣ関連事業（P82）　７億 1,000　万円
南砺スマートインターチェンジ予定地の用地買収をします。

上水道整備費（管路整備）（P117）　４億 8,721　万円
水道事業所からの浄水受水に切り換える高度浄水施設整備事業や、老朽管などの更新事業を行います。

下水道整備費（管渠整備）（P119）　２億 8,556　万円
汚水・雨水管渠の新設や、下水処理施設の更新を行います。

平成２４年度　なんと元気なまちづくり事業

大分類	中分類	事業名	掲載ページ
１　協働のまちづくり事業	・地域内分権の実践	（継続）　地域づくり交付金の交付	20
	・協働のまちづくり支援事業	（継続）　協働のまちづくり推進事業	21
		（継続）　地域ぐるみ除排雪促進事業	80
		（新規）　協働のまちづくり支援センターの増設	22
		（新規）　協働のまちづくり提案事業実施費用	17,96,109
		（新規）　草刈りイベントの日補助金【道路クリーンイメージアップ大作戦】（仮称）の制定	82
		（新規）　生活基盤整備事業補助金（仮称）の制定	82
	・協働によるコミュニティビジネス支援事業	（継続）　コミュニティビジネス起業講座	23
２　なんと発信事業	・なんとブランドＰＲ事業	（継続）　なんとブランド認証事業	54
		（継続）　なんとＢ級グルメ普及事業	69
		（継続）　五箇山和紙で“マイ”卒業証書	91
	・世界的発信力のある事業の支援策	（新規）　南砺市紹介アニメ制作事業	68
		（新規）　スキヤキ・トーキョー	103
		（新規）　「アートで遊ぼう」	101
３　住みたいまち「なんと」事業	・頑張る人応援事業	（継続）　南砺市スポンサー事業	14
		（継続）　子育て支援　商店街レシートでサポート事業	65
		（継続）　五箇山自然文化解説員養成講座	95
		（新規）　なんと地域おこし協力隊事業	15
		（新規）　青少年トップアスリート育成強化事業	97
	・婚活　定住促進事業	（継続）　赤い糸プロジェクト　ＡＩＰ４８	24
		（継続）　南砺の木活用促進事業	58
		（新規）　南砺市民間賃貸住宅居住補助金制度	86
	・花いっぱいのまちづくり事業	（継続）　緑化推進事業	61
	・企業支援事業	（継続）　ビジネスマッチング等出展助成事業	66
	・商店街や市街地の魅力づくり事業	（継続）　空き店舗等対策支援事業	65
		（継続）　景観づくり住民協定締結事業	84
		（新規）　ブライダル商品開発支援事業	66
	・バイオマス事業、環境ビジネスの支援	（継続）　木質系エネルギー利活用事業	58
４　行きたいまち「なんと」事業	・魅力ある観光地づくり事業	（継続）　ワンセグ放送設備設置工事	19
		（継続）　なんとカレンダー制作事業	23
		（継続）　なんとツーリズムサポート事業	70
		（継続）　コンベンション支援事業	70
		（新規）　「義仲・巴」ＰＲ活動事業	15
		（新規）　なんと温泉ＰＲ事業	71
		（新規）　ディスカバージャパン掲載事業	68
		（新規）　富山市・南砺市・立山町シティプロモーション（丸の内朝大学富山）	68
	・広域的公共交通の確立	（継続）　バス実証実験事業	70
		（新規）　金沢井波線バス運行調査事業	16
		（新規）　・ＪＲ城端線で体験学習事業補助金 ・ＪＲ城端線で出かけよう事業補助金	16
		（新規）　城端線で南砺市においでなはれ事業	16
		（新規）　城端・氷見線地域公共交通総合連携計画事業負担金	70
５　過疎地域対策事業	・過疎地域支援事業	（継続）　（仮称）過疎地域振興条例の策定	14
		（継続）　なんとに住んでみられ事業	18
		（継続）　福祉支援事業	32
		（新規）　買い物サービス支援事業	66
６　地方からの「新たな暮らし方」の構築事業（食・エネルギー・健康医療等の自立自給など）	・自立自給支援事業	（新規）　大人の食育教室（伝えたいみんなのケンコウ）事業	45
		（新規）　街ぐるみでタバコの煙のない環境づくり事業（受動喫煙防止対策）	47
		（新規）　南砺市小水力発電普及事業	57
	・エコビレッジ構想事業	（新規）　南砺市エコビレッジ事業	57
	・環境対策支援事業	（新規）　電気自動車用充電設備設置工事	15
		（新規）　電気自動車（庁用車）購入	15
		（新規）　小中学校グリーンカーテン推進事業	91
	・郷土精神継承事業	（継続）　「なんと　ふるさと教育の日」　他	91
		（新規）　（仮称）なんとＧＮＨ（総幸福度）事業	15
		（新規）　「南砺の偉人」作成事業	91

一般会計

議員報酬　2億4,959 万円

（ 担当：福光庁舎　議会事務局　問合せ先　23-2222）

○ 議員報酬、議員期末手当　1億7,303万円
　南砺市議会議員（29人、改選後24人）の報酬及び期末手当は、条例に基づき支給します。

☆ 議員報酬（月額）　議長　46万円
副議長　41万円
議員　38万円

○ 市議会議員共済会負担金　7,656万円
　全国の議員年金や退職一時金等の給付を行う共済会への負担金を支出します。

議会運営費　545 万円

（ 担当：福光庁舎　議会事務局　問合せ先　23-2222）

○ 議長交際費　140万円
　議会を代表して、議会運営のために必要な経費を支出します。

○ 会議録検索システム経費　136万円
　定例会及び臨時会の会議録を作成しています。会議録はインターネットで配信しています。

○ 議会映像録画配信　25万円
　定例会の様子を録画し、ケーブルテレビにて放送しています。

○ 負担金　244万円
　全国市議会議長会等への負担金を支出します。

議員調査活動費　1,640 万円

（ 担当：福光庁舎　議会事務局　問合せ先　23-2222）

○ 先進地行政視察　385万円
　先進的に取り組んでいる自治体の実情や効果などを調査し、市の施策に反映します。

○ 正副議長の会議出席旅費　102万円
　各種会議への出席や、国・県への要望等にかかる旅費を支給します。

○ 議会だよりの発行等にかかる費用　160万円
　定例会における議決事項や審議の内容、議員からの質問などについて、各世帯に年4回配布しています。

○ 政務調査費　902万円
　議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派に対して交付しています。
☆ 月額（一人当たり）　27,500円

○ その他改選にかかる経費等　91万円

議会事務局費　762 万円

（ 担当：福光庁舎　議会事務局　問合せ先　23-2222）

○ 議長車購入費　500万円
　耐用年数・走行距離などを考慮し、新規に購入します。

○ 事務費　262万円

本会議はいつでも傍聴できます。
ぜひお越しください。

庁舎の共通経費　4,703 万円

（ 担当：各行政センター ）

行政センター内にあるコピー機や印刷機・FAXなどの使用料、郵便物の郵送料、電話料、新聞や定期購読物の費用や事務用品費用等、日常事務をするために必要な費用です。共通経費については紙等のムダ使いをなくし、費用削減に努めています。

主な経費

・消耗品・機器使用料	2,726 万円
・事務機器修繕料	28 万円
・事務機器購入費	200 万円
・通信費	1,554 万円
・その他事務経費	195 万円

財源

その他（使用料など）	215 万円
市の負担額	4,488 万円

庁舎の維持管理　1億7,322 万円

（ 担当：各行政センター ）

行政センターの光熱水費や施設の管理、警備の委託などの費用です。

行政センターは老朽化等により修理が必要な箇所が増加していますが、施設の適切な管理に努め大切に使用します。

主な経費

・警備などの業務委託	8,140 万円
・冷暖房用燃料	1,066 万円
・電気・水道料など	3,899 万円
・耐震工事設計委託料	1,800 万円
・庁舎改修工事	1,367 万円
・一般修繕料	650 万円
・その他事務経費	400 万円

財源

その他（貸付料など）	1,243 万円
市の負担額	1億6,079 万円

市有車の管理費　2,804 万円

（ 担当：各行政センター ）

職員が公務で使用する車両の管理に必要な経費です。

主な経費

・燃料費	1,009 万円
・消耗品費・修繕料	799 万円
・車検に係る経費	271 万円
・車両購入・リース料	279 万円
・除雪機械購入	420 万円
・その他	26 万円

財源

その他（経費分担金など）	31 万円
市の負担額	2,773 万円

その他の施設管理費　1,925 万円

（ 担当：各行政センター ）

市有の土地、建物、市道、林道等の維持管理経費です。

主な経費

・電気・水道料等（外部施設）	264 万円
・草刈等施設維持管理経費	1,090 万円
・市有施設管理委託料	255 万円
・土地建物賃借料	220 万円
・その他	96 万円

各行政センター連絡先：　電話番号

城端行政センター	0763-62-1212
平行政センター	0763-66-2131
上平行政センター	0763-67-3211
利賀行政センター	0763-68-2111
井波行政センター	0763-82-1180
井口行政センター	0763-64-2211
福野行政センター	0763-22-1100
福光行政センター	0763-52-1111

秘書費　1,204 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2001）

主な経費

・市政功労表彰記念品　60万円
市民の模範となり、市政に功労のあった方を表彰します。

・市長・副市長・随行職員の旅費　420万円

・交際費　330万円
香典、見舞、祝いなど、市長などが市を代表して行政を進める上で市のために必要と思われる交際に使われる経費

・業務委託費　113万円
副市長車の運転を委託します。
感謝状、市政功労などの賞状の筆耕を委託します。

・使用料　30万円
各種会議の会場使用料、クリーニング料など

・負担金　150万円
全国市長会、富山県市町会等の負担金

・その他事務費　101万円
市政功労表彰状作成、弔慰等の印刷、新聞広告など

総合計画市民意識調査費　71 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

総合計画は、平成２４年度から後期5年が始まりますが、その成果を評価する方法として、行政で把握できる統計データの他に市民の満足度や意識などを加えるため、満20歳以上の方3,000人（無作為抽出）を対象として市民意識調査を実施します。

調査結果は、成果の達成度を調査するだけでなく、様々なご意見を今後の市政運営にも反映していきます。

主な経費
〇封筒作成料・通信料　４１万円
〇調査分析業務委託料　３０万円

（仮称）過疎地域振興条例制定事業　48 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市は、五箇山を主として過疎地域に指定されています。過疎地域は、人口減少が著しく急速な高齢化が進行しており、地域社会の維持存続が困難な状況になりつつあります。

このような厳しい状況を克服し、地域社会の存続と活性化の基本的な方向性を示す条例を策定します。

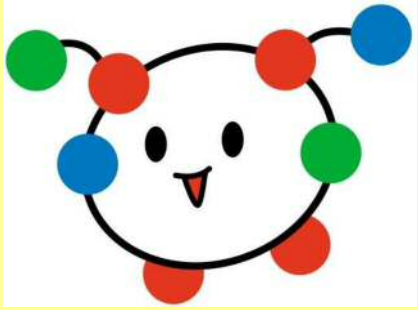
主な経費
〇市民委員謝礼　２５万円
〇印刷製本費　２１万円
〇事務費　２万円

南砺市スポンサー事業　85 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市を全国に発信する試みのひとつとして、南砺市のブランドマーク「NANTOくん」をワッペンにし、全国大会などに南砺市から出場する選手のユニフォーム等に着用、南砺市をＰＲしてもらいます。

〇 NANTOくんオリジナルワッペンの製作費
８５万円



なんと地域おこし協力隊事業　462 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市では、人口減少や高齢化等の進行が著しい地域に地域外の人材を積極的に誘致し、下記の支援活動を通して定住・定着や地域力の維持・強化を図っていきます。

【活動支援項目】

①活性化事業の企画及び実施
②行事等地域コミュニティ活動
③観光振興
④特産品等地域資源の開発
⑤地域情報化の推進
⑥移住交流事業　　など

主な経費

○隊員賃金・保険料、旅費	３３０万円
○家賃	６０万円
○車両賃借料、燃料代	７２万円

「義仲・巴」ＰＲ活動事業　64 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

「義仲・巴」大河ドラマ誘致に向けた活動が浸透してきています。南砺市内にも「義仲・巴」ゆかりの地があることから、ＰＲ活動を展開し広域観光の推進や地域活性化等に取り組みます。

＜目的・効果＞

①知名度アップ、観光客の増加
②真の義仲・巴像を理解し、発信する。
③ふるさと教育の推進

＜内容＞

①ゆかりの地の紹介
②富山県作成の「義仲・巴と越中武士団」を市内の小学生・中学生に配布

主な経費

○事務費	１５万円
○印刷製本費	４９万円

巴女在住の地“巴塚”

電気自動車充電設備設置事業等　951 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

電気自動車普及促進のための環境整備として、充電設備を設置し、併せて、入れ替えを予定している庁用車として電気自動車を１台購入します。

主な経費

○充電設備設置工事	５４０万円
○電気自動車購入・登録保険料	４１１万円

なんとＧＮＨ（総幸福度）事業　185 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

経済的な満足度より、精神的な満足度が注目されていますが、特にブータンではＧＮＰではなく、ＧＮＨ（国民総幸福量／Gross National Happiness）という尺度で国づくりを行っています。南砺市には、後世に伝えていくべき豊かな自然や風土が残っており、ブータンの環境に符合することから、ＧＮＨやブータン事情に詳しい専門家の協力を得て、求められている幸せの姿や幸福度向上の政策等についての事例を学び、南砺市が有する助け合いや支え合いの精神から生まれる独自の幸福感や誇りを見い出し、南砺市を内外に発信していきます。

主な経費

○専門家招聘謝礼	４５万円
○広告料	１２万円
○webサイト・幸福度調査等委託料	９０万円
○会場使用料	３万円
○事務費	３５万円

金沢井波線バス運行調査事業　300 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

主要地方道金沢井波線の路線バス運行に向けて、利用者動向や運行方法等を調査します。

＜目的＞

２次交通を含めた交通網整備による交流人口や転入人口の増加に向けた情報収集を行う。

○調査業務委託料　300万円

ＪＲ乗車券類発行機（福野駅・福光駅）更新負担金　1,118 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

現在、福野駅と福光駅に乗車券類発行機が設置してありますが、老朽化により取り替えが必要となっていることから、その経費を負担するものです。

○１台当たり５５９万円×２台（福野駅、福光駅）
1,118万円

乗車券類発行機

城端線で体験学習事業・出かけよう事業補助金　100 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

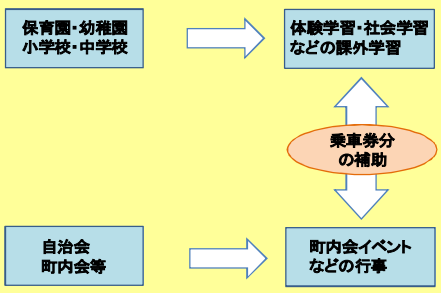
市民の皆様に城端線を利用しやすくし、身近に感じてもらい、親しみをもってもらうことを目的として、城端線を利用したイベント等に対する補助制度を創設します。

＜内容＞

①城端線で体験学習事業補助金
保育所・幼稚園・小学校・中学校が実施する、城端線を利用した体験学習等について、乗車券額を補助する。[10/10補助]

②城端線で出かけよう事業補助金
自治会・町内会等が実施する、城端線を利用した事業等について、乗車券額を補助する。[1/2補助]

○補助金　100万円



城端線で南砺市においでなはれ事業補助金　50 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

市内で開催されるイベントにおいて城端線を利用した参加者に支援を行うことで、城端線の利用促進に繋げます。

＜内容＞

イベント実施者が行う事業に補助する。（例えば、イベント参加者に対して、イベント内で利用できる食券・クーポン券、施設入場券等をプレゼントする　など）

○補助金　50万円

並行在来線運営会社出資金　800 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

平成２６年度末の北陸新幹線開業に伴い、北陸本線がＪＲから譲渡されることから、運営する第三セクター設立のための出資金について富山県、県内自治体及び民間が必要な経費を負担します。なお、南砺市の出資比率は1.9%で、平成２４年度と平成２５年度で出資することになっています。

○平成２４年度出資額　800万円
（来年度予定額　1,900～2,200万円）

協働のまちづくり提案事業（審査会・城端線活性化支援）　60 万円

（担当:南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

●審査会

市民と行政による協働のまちづくりを進めるため、市民団体、自治会、町内会、自治振興会などの皆さんと行政が、対等な立場で役割分担を決めて行う協働事業を募集します。審査の結果、趣旨等に適合する事業を平成25年度予算において実施します。

○審査会委員謝礼　5万円

●城端線活性化支援

城端線の活性化を支援するために、富山県呉西地区公共交通再生研究会から提案のあった事業を協働で取り組みます。

＜事業内容＞
①廃線路線実態調査
②赤字路線復活施策調査
③加越線シンポジウム

○補助金　５５万円

国内交流事業補助金　326 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市友好交流協会に加盟している市内の民間団体が行う国内の友好都市等との友好交流事業（派遣・受入）に対して補助金を交付します。

- たいら地域交流の会（愛知県半田市）71万円
- 福野地域友好協会（北海道中札内村）　70万円
- 椿の児童親善大使派遣実行委員会（東京都大島町）　58万円
- 上平地域友好交流の会（輪島市、白川村）　1万円
- 利賀小学校内武蔵野交流実行委員会（武蔵野市）　65万円
- 井波少年少女国内交流事業実行委員会（香川県土庄町）　61万円

香川県土庄町との国内交流会

国際交流事業補助金　1,212 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市友好交流協会に加盟している市内の民間団体が行う国外の友好都市等との友好交流事業（派遣・受入）に対して補助金を交付します。

- 南砺市日中友好協会（中国紹興市）　10万円
- 南砺市日中友好教育会（中国紹興市）　176万円
- 南砺市紹興市青年友好平成会（中国紹興市）　7万円
- 利賀地域国内外友好交流事業実行委員会（韓国平昌郡、ネパールツクチェ村）　31万円
- 福野小学校父母と教師の会（米国ポートランド市）　42万円
- 南砺市中学生ポートランド派遣推進協議会（米国ポートランド市）　420万円
- 城端国際交流協会（米国マルボロ町）　91万円
- 南砺市中学生オーストラリア派遣実行委員会（オーストラリア）　382万円
- 南砺福野高校（オーストラリア）　16万円
- 南砺福光高校（中国紹興市）　22万円
- 南砺ラオス会（ラオス）　10万円
- 南砺市福紹会（中国紹興市）　5万円

中学生オーストラリア派遣団の交流風景

南砺市友好交流協会補助金　1,292 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市友好交流協会は、南砺市と国内外友好都市と文化・教育・産業など多方面にわたる交流を図りながら、相互の理解と繁栄に貢献することを目的として、平成１９年に設立されました。

この補助金は、協会の運営経費や国内外の友好都市との交流事業を除く事業の活動費に対して交付しています。

主な経費

- 運営費　1,145万円
  - （給与等人件費　873万円）
  - （旅費　21万円）
  - （消耗品他事務費　251万円）
- 事業活動費（多文化共生事業など）　67万円
- 自主事業費（語学普及事業など）　80万円

友好交流協会国際交流フェスティバル

日中友好交流都市中学生卓球交歓大会　77 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

2012年：日中国交正常化40周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、２１世紀を担う青少年の友好交流の輪を広げます。

- 開催日程　8月16日（木）～21日（火）
- 交歓試合　8月17日～19日の3日間
- 開催場所　北京市内
  中国オリンピックセンター体育館
- 参加チーム　日中の友好都市、友好交流都市関係にある全国の自治体
- 市チーム編成　中学生2名、指導者2名、随行1名
- 事業費の内容
  - 航空運賃　5名　35万円
  - 北京滞在費　5名　33万円
  - 通訳経費　5万円
  - 大会費用分担金　4万円

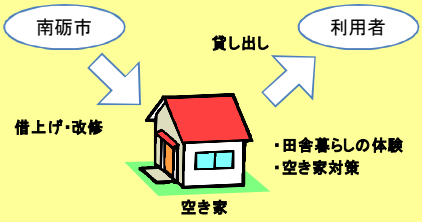
なんとに住んでみられ事業　615 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

南砺市への移住・定住を希望する方に、市内での生活体験のできる空き家を、体験ハウスとして短期間借用していただくことにより、市への移住・定住を促進し、地域の活性化を図ります。

事業の主な経費

- 体験ハウス修繕費　320万円
- 〃　管理委託等　185万円
- 〃　備品費　50万円
- 事業広報費　60万円



統計調査費　313 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

我が国の将来像を見据え、また、本市の元気な夢のある安心できるまちづくりを目指して、各種行政施策の基礎資料となる統計調査を実施します。

- 就業構造基本調査（10月1日）　154万円

雇用の構造的な変化を把握する観点から、国民の就業及び不就業の状態を調査し、昭和57年の第10回調査まではほぼ３年ごと、それ以降は５年ごとに実施しています。

- 工業統計調査（12月31日）　62万円

我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。

- 経済センサス－活動調査　47万円
- 住宅・土地統計調査単位区設定　35万円
- 人口移動調査　8万円
  （毎月の人口・世帯数を集計します）
- 統計調査員確保対策事業　5万円
- 学校基本調査　2万円

＜随時、登録調査員を募集しています＞
＜市のホームページでご確認ください＞

財源

国県支出金	312 万円
市の負担額	1 万円

電算管理業務　8,107 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

事務の効率化と高度化を図るため、様々な業務をコンピュータで処理しています。また、合併から使用していたシステムや情報機器等は老朽化が著しく、これまでに順次機器の更新を行ってきところであり、昨年度からは新しいシステムで運用を開始しています。

また、これまでは、全てのサーバーを庁舎内で管理し保守運営を行ってきたわけですが、昨年度からは一部のサーバーをデータセンターに預けることとしました。このことにより、システム管理の軽減とデータの安全性が著しく向上いたします。

今回の取組みは、将来の自治体クラウドや共同アウトソーシングへの第一歩になるものと考えており、その際には大幅なコスト削減が期待できます。

主な経費

- 総合行政システム保守委託料　5,114 万円
- 総合行政システムサーバ等賃借料　1,769 万円
- 総合行政システムパソコン賃借料　614 万円
- 総合行政システム通信機器更新　422 万円

インターネット管理業務　3,844 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

合併を目前にした平成１５年度に、８つの庁舎と約２００の公共施設等を光ファイバーで接続し、新市の行政サービス向上と効率的運営を目指しました。

現在では、様々な公共的業務がネットワーク化され、住民サービス提供のための重要なライフラインとなっています。

一方では、新鮮でタイムリーな情報を多くの方にお伝えするため、市ホームページの運営を行っています。キオスク端末やCATVのデータ放送、そくさいネット「ふれｉＴＶ」、エリア放送システムなど、様々なシステムとのデータ連動が図られ運営されています。また、平成２２年度から始まった多言語翻訳は、９カ国に対応しています。

主な経費

- 地域公共ネットワーク保守委託料　1,207 万円
- 光ケーブル管理費　284 万円
- 地域公共ネットワーク通信機器更新　960 万円

財源

その他（広告収入）	46 万円
市の負担額	3,798 万円

地域情報化推進事業　9,910 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

これまでに取り組んできた様々な地域ICT事業を基に、情報技術の変化に対応した新しい情報サービス基盤を整備し推進します。主な内容は、以下のとおりです。

①ツイッター連動により生まれ変わった市民ポータルサイト「なんとーｅ．ｃｏｍ」の運営管理委託
②地デジ化に伴う電波のホワイトスペースを活用した、エリア放送設備整備と運営
③携帯電話、ケーブルテレビ放送等、地域の情報基盤となる設備の維持に関する業務
④対面型会議システムの普及啓発

主な経費

- なんとーｅポータルサイト運営委託料　196 万円
- ワンセグ放送設備設置工事　391 万円
- ワンセグ放送コンテンツ管理委託料　60 万円
- 砺波広域圏CATV負担金　9,115 万円

財源

起債	370 万円
その他（県市町村振興協会交付金）	1,216 万円
市の負担額	8,324 万円

そくさいネット推進事業　820 万円

（担当:福野庁舎　企画情報課　問合せ先　23-2002）

ICTを利活用した新しい形の高齢者等支援システムとして、そくさいネット「ふれｉＴＶ」整備事業に取り組んできました。簡単に操作できるテレビ電話端末により、地域のお知らせや医療、健康に関する案内をお知らせします。また、非常時には緊急情報として、設置されている世帯に直接伝達することが可能です。

また、会話システムとしては、インターネットで一番利用されているskypeを採用していることから、遠隔地のパソコンやスマートフォン等から、顔を見ながら会話をすることが可能です。

さらに、買物支援システムや健康体操映像など各種のサービスが追加され、高齢者世帯等を側面から支援いたします。

主な経費

- ふれｉTVシステム保守委託料　272 万円
- サポートセンター運営委託料　336 万円

財源

起債	300 万円
市の負担額	520 万円

地域づくり交付金　8,598 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

地域における課題や問題の解決と安心・安全な地域づくりに向けて、地域の皆さんが自ら考え自ら行動する活動を支援し、市民の皆さんと行政との協働によるまちづくりを推進するために、「地域づくり交付金」を交付します。

これは、地域の自由な考えで、地域の実情に応じた活動を、地域の皆さんの合意に基づいて行うことを可能とする「地域内分権制度」を推進するものです。平成23年度より試行として、これまで市より交付していた住民自治活動推進交付金、がんばる自治振興会応援プログラム補助金、地域づくり計画策定補助金、自治振興会事務費支援補助金、防犯灯設置補助金、ごみステーション設置補助金を廃止して、地域づくり交付金としてまとめて交付しているものです。

≪どこへ、いくら≫

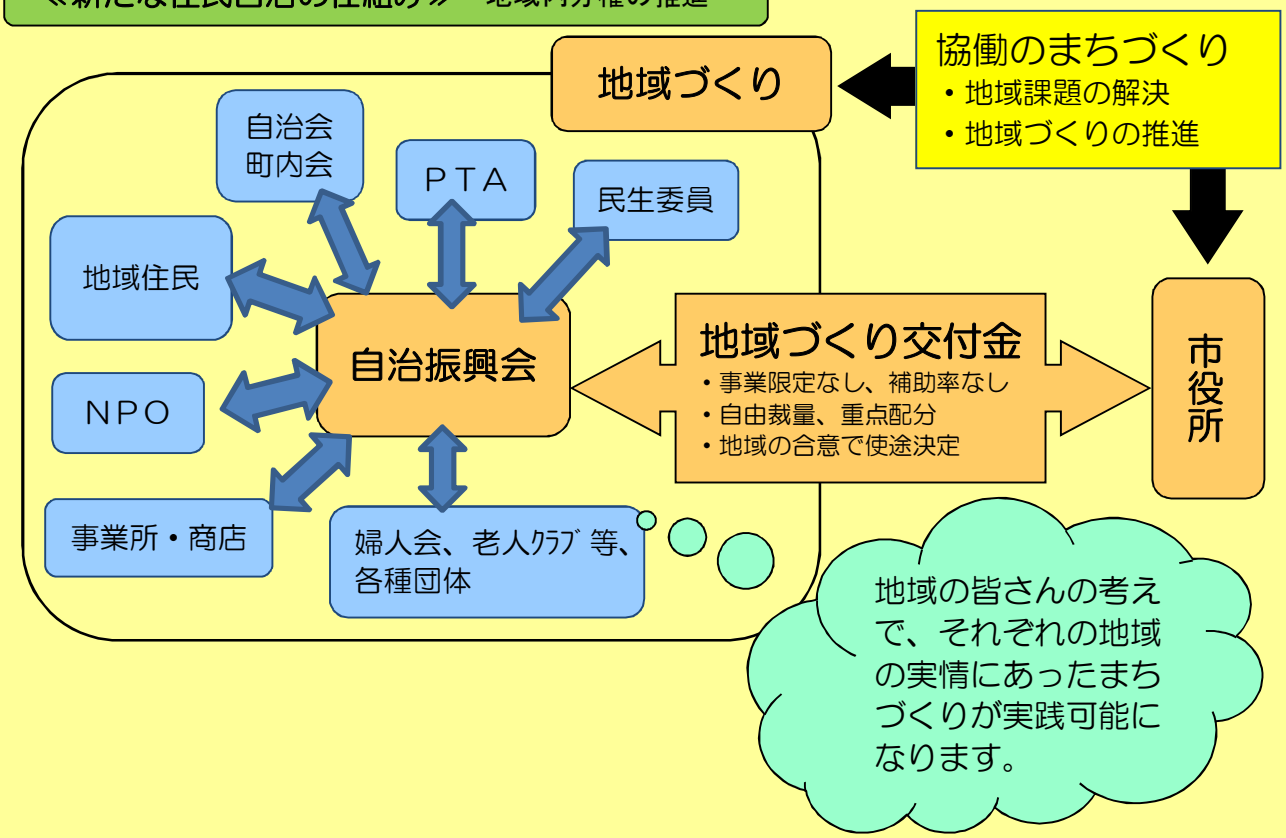
地域の皆さんの意見や要望をまとめられる組織で、市の自治振興会連合会を構成する団体として、住民自治の中心組織である「自治振興会等」に対し、次の計算で得られる額の合計額を交付します。

基本割	均等割額	6,200万円×40%÷31
	世帯割額	6,200万円×30%×地域世帯数÷市世帯
	人口割額	6,200万円×30%×地域人口÷市人口
地域調整額		８地域に各80万円
行政区割	行政区割額	25,000円×行政区数
	世帯割額	500円×世帯数

※世帯数、人口は平成２３年11月1日を基準日としています。
※各団体からの請求により、年2回に分けて交付します。（5月に7割相当額、10月に残額）

○地域づくり交付金　　8,598 万円

≪新たな住民自治の仕組み≫～地域内分権の推進～



協働のまちづくりモデル事業　1,570 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

「市民と行政の協働のまちづくり」の実現には、地域の問題や課題の解決、安心安全な地域づくりのために、自ら考え自ら行動する「地域力」の高い住民組織や市民活動団体などの存在が重要です。このようなことから、平成21年度より積極的な取り組みを計画する地区を、モデル地区として各年10地区を選考の上、支援しています。

この事業は、採択の年は4ヵ年の計画を策定し、次年度以降3ヵ年で計画に沿った事業を展開していくことになります。事業開始当初は、平成21年度から23年度までの3ヵ年の採択としていましたが、更に推進するために延長することになりました。平成24年度の採択予定地区は5地区を予定していますので奮って応募してください。

また、平成23年度からは、対象団体を、従来の集落、自治会、町内会に加えて、NPO等の市民団体や高齢化の著しい集落への拡大を図りました。平成24年度以降においても引き続き支援を充実してまいります。

主な経費

○協働のまちづくりモデル事業補助金　1,570 万円

［集落、町内会、自治会分32地区　860万円］

＜平成21年度採択地区補助金　30万円×　9地区＞
＜平成22年度採択地区補助金　30万円×10地区＞
＜平成23年度採択地区補助金　30万円×　8地区＞
＜平成24年度新規採択地区補助金　10万円×　5地区＞

［NPO、市民団体への拡大分15団体　450万円］　≪元気事業≫

＜平成23年度採択団体（３年継続枠）　30万円×　5団体＞
＜平成24年度新規採択団体（３年継続枠）　30万円×　5団体＞
＜平成24年度新規採択団体（単年度事業枠）　30万円×　5団体＞

［高齢化の著しい集落への拡大分12団体　260万円］　≪元気事業≫

＜平成22年度集落支援員派遣事業枠　30万円×　2団体＞
＜平成23年度通常枠　30万円×　3団体＞
＜平成23年度集落支援員派遣事業枠　30万円×　2団体＞
＜平成24年度通常枠　10万円×　5団体＞

花植え（山田自治会）

おたに市（小谷地区）

東太美子ども声かけ隊の活動

■新たな「協働のまちづくりモデル事業」の体系

◇地域力の向上を図るための3つの柱　－行政に依存しない住民自治の実現に向けて－

集落 町内会 自治会　H21～

- 課題解決や目標への事業展開を支援
- 集落、町内会、自治会を対象
- H21～3ヵ年間、毎年10地区（計30地区採択）　H24延長
- 1年目：計画策定　100%補助　100千円限度
  2年目～4年目：事業の実施　80%補助　各年300千円限度

NPO 市民団体

H23～【新規】
◇NPOや市民活動団体に拡大
◇高齢化集落を重点支援

- 特定の地域や会員に限らず、広く市民を対象として新たな公共の分野で展開する地域づくり活動を支援
- NPOや市民活動団体を対象
- H23～3ヵ年間、毎年5団体（計15団体採択）　H24単年度事業枠追加（5団体）
- 80%補助　300千円限度で3ヵ年継続助成

高齢化の著しい集落

- 高齢化の著しい集落の活性化支援
- 高齢化率45%の集落、町内会、自治会を対象
- H23～3ヵ年間、毎年5団体程度（計15団体程度採択）
- 1年目：計画策定　100%補助　100千円限度
- 2年目～4年目：事業等の展開　90%補助　各年300千円限度

※高齢化集落は、どちらから取り組みをスタートしてもOK

集落支援員派遣事業
◇前年に「いっしょに頑張り隊」の派遣を受けた集落（町内会、自治会）

2年目からの事業展開に該当

集落支援員派遣事業　51 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

南砺市には平成23年度現在、65歳以上の人口が集落の半数以上を占める、「高齢化率の高い集落」が31集落（町内会・自治会）存在します。また45%以上は46集落（町内会・自治会）あり、少子高齢化が進行していく中で、このような集落は今後益々増えていくものと予想されます。

そこで、平成21年度においては、集落の現状を把握し、将来に向けてどのような振興方策が必要で可能なのかを調査しました。その結果、集落の現状や不安は、集落の人口規模や年齢構成などによっても様々で、その中には、「地域力」が高いと見込まれる地域も少なくなく、住民や支援者が手を携えることで、地域振興が可能であると考えています。

このような地域を支援するため、引き続き「いっしょに頑張り隊」を派遣し、今後の集落について考え、地域の課題や問題の解決へのサポートを行おうとするものです。

■対象地区

集落（町内会、自治会）の人口に占める65歳以上の割合が45%以上の集落、町内会、自治会及びその集合体です。

■事業内容

対象地区の求めに応じて市が選任し委嘱する集落支援員”いっしょに頑張り隊”を派遣するもので派遣に係る経費の全額（上限10万円）を市が負担します。５地区分の予算を計上しました。

ドジョウの養殖について勉強中（小又集落）

■”いっしょに頑張り隊”の内容

①『地域の魅力みつけ隊』
- 集落の資産、資源を見つけ出し、その資源を活用した地域づくり、地域おこしを提案する隊員

②『これで儲けてみ隊』
- 集落の人材、資源を活用したコミュニティビジネスを、一緒に考える隊員

③『安心・安全お届け隊』
- 災害に強い集落づくり、健康で長生きできる集落づくりなどの解決に、アドバイスする隊員

④『交流してみ隊』
- 希望される人や地域との交流をコーディネートする隊員

⑤『とにかく考えてみ隊』
- 何をしたらいいか分からないので、とにかく集まって考えたい集落にアドバイスする隊員

協働のまちづくり支援センター運営費　875 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

「市民目線の行政運営」、「市民が主役の市政」、「市民と行政の協働のまちづくり」を進めてきて4年目を迎えました。平成22年度4月に、協働のパートナーである住民自治組織（自治振興会、町内会、自治会、集落）や、市民団体（各種団体、ＮＰＯ、ボランティアなど）の活動を、積極的に支援することを目的に、南砺市協働のまちづくり支援センターを、井波コミュニティプラザ「アスモ」2階の一角に開設して2年が経過しました。それ以降、多くの団体の皆様のご利用をいただき、年々、利用団体の数や回数も増加してきており、益々その需要は増えるものと思われます。

そこで、新たに福光地域において第2のセンターを開設し、これまで要望の強かった利用時間の延長にも対応するとともに、市民との対話を重視する市政の基本方針をより具体化してまいります。

センターには、印刷機や大型プリンター、紙折り機、ページセッターなど、最新の機器を取り揃えています。皆様のご利用を心からお待ち申し上げております。

◇第2センター　開設場所　福光青少年センター
新たな業務　サテライト市長室及びサテライト市役所の開設
利用時間の弾力的運用（延長等）

■平成２３年度利用状況（H２４年１月末現在）

◇利用登録団体数	３３０団体
◇利用件数（印刷など）	８７２件
◇　〃　（会議利用）	７７件

主な経費

・部屋の賃借料	84 万円
・印刷機などのリース料	114 万円
・機器保守関係経費	43 万円
・消耗品費（用紙、インク代他）	150 万円
・光熱水費（電気、水道代）	20 万円
・庁用車関係費	50 万円
・その他諸費（電話代他）	6 万円
・協働のまちづくり支援センター増設関係費（管理委託費248万円、改修費50万円、備品リース90万円、その他諸費20万円）	408 万円

財源

その他（利用料）	120 万円
市の負担額	755 万円

七転び八起き塾事業　364 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課
問合せ先　23-2036）

”まちづくりは人づくり”明日の南砺市を担う若い地域リーダーの養成を目的に、平成21年度から取り組んでいる事業です。平成24年度は、その第4期生を募集して、1年間を通じて一緒に学び、一緒に考え、一緒に行動する機会を提供するものです。また、平成23年度の第3期生のまちづくり提案事業を実施する経費も計上しています。
20歳から35歳までのあなた！是非応募ください！

主な経費
- 3期生まちづくり提案事業助成金　300 万円
- 研修経費　59 万円
  ＜講師謝礼・旅費、研修バス経費＞
- 研修会場使用料　4 万円
- 事務費　1 万円

2期生による「結ステーション」事業

コミュニティビジネス起業講座事業　86 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課
問合せ先　23-2036）

コミュニティビジネスとは、地域が抱える課題や問題を地域の資源を活用しながら、ビジネス的な手法によって解決しようとする事業のことです。
地域における人材、ノウハウ、施設、資金等を活用することで、対象となるコミュニティの活性化や雇用の創出を図るものです。
平成24年度では、関心のある方や行ってみたいと思われている方を対象に、起業講座を年7回程度開設して、開業に向けてのノウハウを身につけていただこうと考えています。
参加者には、受講料として1回400円の負担をいただくこととしています。

主な経費
- 講師関係経費　85 万円
  ＜謝礼、旅費＞
- 会場使用料　1 万円

財源

その他（参加費）	8 万円
市の負担額	78 万円

広報発行費　1,107 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課
問合せ先　23-2036）

○「広報なんと」発行　912万円
- 毎月25日発行　19,560部作成
- 区長さんを通じて全世帯に配布。県内外の関係者の方にも発送しています。
  また、市ホームページにも掲載中
- カラー4P採用、 原則 32P（各課からのお知らせ、なんとのひろば、スポーツ特報、市民・健康カレンダー、広告掲載 等）
- かわいい「なんとみらいちゃん」のカット絵も毎回連載中

○市政要覧写真編（改訂版）発行　195万円

写真や文章などで、南砺市の情勢や現況を分かりやすくまとめたものです。
2,500部作成（2年間分）

なんとカレンダー制作事業　175 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課
問合せ先　23-2036）

今年もカレンダーに、あなたの撮った写真を飾ってみませんか。

（市内全世帯にお届けします）

《テ　ー　マ》「ナイスビュースポット」
（私だけのお気に入りスポット紹介）

《応募企画》横位置の「カラープリント写真」で応募
H24年に撮影した未発表のもの
（H23年11月～H24年10月）
カラープリント１枚(LL版以上で台紙付)一人一点のみ
※後日デジタルデータでの提出をお願いする場合があります

《応募方法》作品の裏に住所、氏名、年齢、職業、電話番号、題名、写真説明を記載

《採用点数》審査会を開催し、１４点採用します。
採用作品の版権は南砺市に帰属。トリミングする場合もあります。
最優秀賞　１点、優秀賞　３点、佳作 １０点

《応募期限》平成２４年１０月31日（水）（必着）

H24年のカレンダー

CATV行政チャンネル費　65 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

広報番組制作放送業務委託

- 小学校入学・卒業式、中学校卒業式の放送
  南砺市内の小学校の入学式・卒業式、中学校の卒業式の模様を放送します。
- TST番組内でも市内の施設だより等を放送します。
- データ放送では、各地区のイベント情報等も配信しています。

広聴活動費　50 万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

○市政バスの運行　22万円

10回開催（バスの定員に達すると、別のコースになることもあります。

個人申込　5コース(広報なんと5月号に掲載)
　新（夏休みチビッコ市政バスを実施します）
団体申込　5コース(コースは団体担当者と協議)

○市政懇談会の開催　20万円

市長と地域のみなさんで市政について語り合いましょう。

○市長への手紙印刷　8万円

「広報なんと」に記入用紙を折込み、市政について市民のみなさんに意見を求めています。

市政バス

市政懇談会

結婚活動支援費　1,000　万円

（担当：南砺市協働のまちづくり支援センター　市民協働課　問合せ先　23-2036）

南砺市の未婚率は、平成２２年国勢調査によると３０代前半で男性約５０%、女性約３０%、と前回、平成１７年調査よりも深刻化してきています。このような中、少子化の大きな要因となっている晩婚化・未婚化対策として、昨年４月から『あなたと私を結ぶ赤い糸プロジェクト４８（通称名ＡＩＰ４８）』に取り組んでいます。本気で結婚を考える独身男女の出会いの場として『婚活倶楽部なんと』を組織してイベントや自分磨き講座を開催しながら結婚活動を支援しています。また、婚活応援団『なんとおせっ会』において南砺市全体から婚活支援の輪を広げる運動を展開中です。両会員とも現在募集中です。

■事業内容

◇婚活倶楽部なんと主催イベントの開催
- 出会いパーティー、自分磨き講座、婚活バスツアー、スポーツ観戦ツアー、模擬結婚式など

◇なんとおせっ会による集団お見合い会の開催
◇婚活応援する飲食店などの募集登録
◇おせっ会会員が開催する婚活イベントへの助成
◇企業間や団体間で開催する婚活イベントへの助成
◇倶楽部員の成婚者には結婚祝い金をお支払い
◇おせっ会会員には成婚報奨金をお支払い

主な経費

○婚活に関するイベント経費	294 万円
○婚活イベント企画運営補助金	200 万円
＜おせっ会主催分・団体主催分計１４回＞	
○成婚報奨金	20 万円
＜１０組×2万円＞	
○結婚祝い金	25 万円
＜５組×2万円、40代成婚は５組×3万円＞	
○おせっ会運営経費	45 万円
＜名刺代、身分証明書作成費＞	
○ＰＲ等関係経費＜募集チラシ等＞	30 万円
○ホームページ改修費	20 万円
○お見合い検索システム開発費	80 万円
○事務費	39 万円
○臨時職員賃金等	247 万円

■加入の状況(平成２４年２月末現在)
◇なんとおせっ会　110人
◇婚活倶楽部なんと　195人

財政費　90 万円

（担当：福野庁舎　財政課　問合せ先　23-2004）

当初予算をはじめとして数回の補正予算を編成します。決算の状況を取りまとめ効率的な予算の執行に心がけるとともに、市債の管理を行いながら中長期に健全な財政運営が行えるよう努めています。

市民の皆様からの透明性の高い市政運営の要望に応えるため、予算のあらましを作成しています。具体的な事業が掲載されていますので、様々な分野の市政にも関心を持っていただき、共に知恵を出し合い元気な南砺市を創り上げていきたいと考えております。

- 財政関連書籍など　17 万円
- 予算のあらまし
  予算書、施策報告書印刷費　73 万円

財産管理費　5,261 万円

（担当：福野庁舎　財政課　問合せ先　23-2004）

南砺市が所有する普通財産（現在、利用目的のない土地や建物などの財産）の管理費や市の全ての建物の保険料、市のＩＰ電話の維持管理費用、これらの管理に要する事務用品の購入費用などです。

平成２４年度は指定管理施設の上梨コミュニティセンターを改修し、市民の皆様が活用しやすくします。なお、市で利用しない財産は、市民の方々へ売却、貸付をしております。

主な経費

- 保険料（市の全ての建物）　1,085 万円
- 普通財産の管理費用　840 万円
- ＩＰ電話管理費用
  （修繕・保守）　461 万円
- 上梨ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ改修工事　2,745 万円
- 事務費（市封筒作成含む）　130 万円

財源

国県支出金	2,377 万円
その他（貸付収入など）	2,884 万円

市有車管理費　748 万円

（担当：福野庁舎　財政課　問合せ先　23-2004）

南砺市が所有する車両の保険料、保険が適用できない場合の修繕料、高速道路料金などの費用です。

主な経費

- 保険料（市の全ての車両）　616 万円
- 修繕料　50 万円
- 高速道路料金（ETC車両のみ）　82 万円

賦課徴収費　9,698 万円

（担当：福野庁舎　税務課　問合せ先　23-2005）

市民税や固定資産税などの税金を課したり、納めていただくために必要な事務的な経費です。

主な経費

- 税額の計算及び納税通知書作成委託料　2,480 万円
- 固定資産評価替等業務委託料　1,396 万円
- 住民税課税資料検索システム使用料　313 万円
- 申告相談会場等使用料　54 万円
- 確定申告システム設定委託料　73 万円
- 地方税電子申告審査システムサービス使用料　340 万円
- 地方税電子化協議会負担金　80 万円
- 租税教育推進協議会補助金　35 万円
- 市税還付金　3,500 万円
- 事務費　1,427 万円

財源

国県支出金	5,310 万円
その他（督促手数料）	86 万円
市の負担額	4,302 万円

税務総務費　386 万円

（担当：福野庁舎　税務課　　問合せ先　23-2005）

固定資産評価審査委員会の事務、砺波地区たばこ税対策協議会への負担、土地の地番図異動修正作業等を行う経費です。

主な経費

- 固定資産評価審査委員報酬費等　13 万円
- 砺波地区たばこ税対策協議会負担金　37 万円
- 資産評価システム研究センター負担金　9 万円
- 地番図異動修正委託料　250 万円
- 事務費　77 万円

（固定資産評価審査委員会）

固定資産税の納税義務者は、固定資産課税台帳に登録された価格について不服がある場合は、文書をもって、固定資産評価審査委員会に審査の申し出をすることができます。

委員は３人で、任期は３年です。

行政評価導入支援業務委託料　492 万円

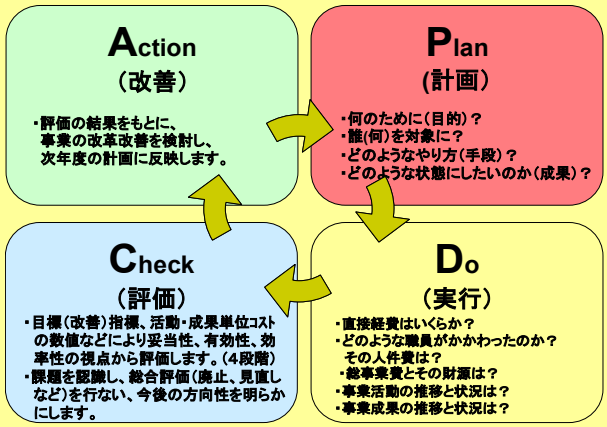
（担当：福野庁舎　総務課　　問合せ先　23-2003）

平成22年度から3か年計画で取り組んできた行政評価システム構築の最終年度となります。総合計画に掲げた施策の目的達成度を評価して次の企画に反映させるとともに、市役所の仕事（事務事業）を振り返ることにより、限られた財源を有効に活用して、事務事業の質と効率の両立を追求します。

施策評価と事務事業評価の結果は、ホームページや情報公開コーナーなどで公表し、透明性の高い行政経営を推進します。

≪行政経営のマネジメントサイクル≫

評価した結果が次の計画に反映され、良循環を形成することを目指します。



公共施設再編コンサルティング業務委託料　70 万円

（担当：福野庁舎　総務課　　問合せ先　23-2003）

「南砺市公共施設再編計画」の再編等の方向性に基づき、スキー場の経営統合、売却・譲渡と温泉・宿泊施設の売却・譲渡を、公認会計士や不動産鑑定士などの専門家の支援を受けて推進します。

平成22年度　公共施設再編計画を策定
平成23年度　公共施設経営分析調査を実施
（収益性の分析、資産・事業価値の調査）
平成24年度　施設の再編を推進

≪再編の対象施設≫

【スキー場　6施設】…経営統合ののち売却・譲渡

たいらスキー場	たいらクロスカントリー場
タカンボースキー場	スノーバレー利賀スキー場
閑乗寺スキー場	IOX - AROSAスキー場

【温泉・宿泊施設　10施設】…売却・譲渡

ぬく森の郷	自遊の森
イオックス・ヴァルト	桜ヶ池クアガーデン
たいらビジターハウスおたに荘	スターフォレスト利賀
利賀国際キャンプ場	五箇山荘
天竺温泉の郷	福光温泉（＊1）

（＊1）福光温泉は南砺市社会福祉協議会の所有

災害対策費　4,456 万円

（担当：福野庁舎　総務課　　問合せ先　23－2003）

防災事務事業、資機材・備蓄品、施設（防災行政無線、防災情報システム、富山県防災ヘリ）の整備及び維持管理、国民保護事務に係る経費です。

平野部消防署所再編に併せ防災拠点施設の基本設計を進めます。市総合防災訓練を、井波地域で開催予定としています。地域防災計画を見直します。

- 防災拠点施設基本設計ほか　1,124 万円
- 災害救助物資備蓄品　530 万円
- 地域防災計画修正業務委託　430 万円
- 市総合防災訓練費　155 万円
- 防災行政無線等維持管理費　844 万円
- 県防災システム負担金　163 万円
- 県防災ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ運航負担金　445 万円
- 防災・国民保護関係事務費　205 万円
- 自主防災組織資機材整備補助金　510 万円
- 孤立集落緊急資機材整備補助金　20 万円
- 自主防災組織訓練補助金　30 万円

財源

国県支出金	265 万円
その他（施設使用料等）	2 万円
市の負担額	4,189 万円

災害支援費　725 万円

（担当：福野庁舎　総務課　問合せ先　23－2003）

東日本大震災の発生以来、市内の各種団体、企業、個人から災害支援寄附金を南砺市に預託いただきました。その趣旨に基づき、福島県南相馬市をはじめとした被災友好都市への復興支援活動を市民団体の皆様と協力して実施する経費です。

災害時相互応援協定等に基づく職員派遣費用を含みます。

○ 被災地支援活動費　700 万円
○ 被災地職員派遣費　25 万円

H23.8南相馬こどものつばさ

財源

その他（基金）	700 万円
市の負担額	25 万円

富山県知事選挙費　3,168 万円

（担当：福野庁舎　総務課　問合せ先　23-2003）

富山県知事選挙の執行にかかる経費です。

《任期満了日》１１月８日
《選挙期日》　任期満了日前３０日以内
《告示日》　選挙期日の１７日前

《主な経費》

- 管理者、立会人報酬　535万円
- 職員手当　1,324万円
- 事務補助賃金　161万円
- ポスター掲示場設置撤去管理委託料　399万円
- 入場券作成委託料　54万円
- 投開票作業備品購入費　128万円
- 事務費　567万円

財源

国県支出金	3,166 万円
市の負担額	2 万円

南砺市長選挙費　2,797 万円

（担当：福野庁舎　総務課　問合せ先　23-2003）

南砺市長選挙の執行にかかる経費です。

《任期満了日》１１月２７日
《選挙期日》　任期満了日前３０日以内
《告示日》　選挙期日の７日前

《主な経費》

- 管理者、立会人報酬　294万円
- 職員手当　1,054万円
- 事務補助賃金　60万円
- ポスター掲示場設置撤去管理委託料　399万円
- 選挙運動用自動車、ビラ等公費負担金　426万円
- 事務費　564万円

南砺市議会議員選挙費　4,517 万円

（担当：福野庁舎　総務課　問合せ先　23-2003）

南砺市議会議員選挙の執行にかかる経費です。

《任期満了日》１１月２７日
《選挙期日》　任期満了日前３０日以内
《告示日》　選挙期日の７日前

《主な経費》

- 管理者、立会人報酬　10万円
- ポスター掲示場設置撤去管理委託料　1,235万円
- 選挙運動用自動車、ポスター等公費負担金　3,006万円
- 事務費　266万円

会計管理費　528 万円

（ 担当:福野庁舎　会計課　　問合せ先　23-2006）

南砺市へ入る歳入（国や県からの交付金や補助金、市民の皆さんから納めていただく税金、保育料などの収入）をとりまとめ、その収入金で各課が行う事業等の支払を行うための費用です。

また南砺市が将来いろいろな事業をするための積立金や準備金をそれぞれの基金として管理しています。

主な経費

金融機関手数料（振込等）	350 万円
金融機関委託料	105 万円
振込依頼書など印刷代	55 万円
事務費	5 万円
公金総合保険料	13 万円

検査費　65 万円

（担当:福野庁舎　会計課検査室　問合せ先　23-2006）

南砺市が発注する公共工事（道路、上下水道、建物等）や委託業務（清掃、消防設備点検等）が完成・完了したら、請負代金を支払う前に契約内容（設計書、仕様書等）どおり完成・完了しているかを確認するための検査を行う費用です。

また、工事においては、検査を通じて請負人に適正な工事の施工、品質を確保するための技術指導を行うことにより、請負人の技術の向上と公共工事の品質向上を図ります。

主な経費

使用料（工事成績評定システム）	53 万円
（工事実績情報システム）	1 万円
事務費	9 万円
コンクリート強度測定機器購入	2 万円

監査委員費　160 万円

（担当:福野庁舎　監査委員事務局　問合せ先　23-2007）

主に監査委員2名に対する報酬・旅費に係る経費です。監査は、公正な立場で対象となる市政の全般にわたって調査し、事務及び事業の公正及び効率の確保に努め、住民の福祉増進を志しております。

監査に当たっては次の観点から検証を行います。
「合規性」・・法令等に従って行われているか
「経済性」・・ムダな経費をかけていないか
「効率性」・・より成果のあがる方法はないか
「有効性」・・目的にかなっているか

主な監査
- 定期監査
  対象：出先機関を含む全ての部（室）局
- 財政援助団体等監査
  対象：補助金交付団体、出資団体及び指定管理者
- 例月出納検査
  対象：一般会計・特別会計、企業会計
- 決算審査
  対象：一般会計・特別会計、企業会計
- 基金の運用状況審査
- 財政健全化指標審査

〇報　酬　　111万円
〇事務費　　49万円

消費者保護行政費　365 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2035）

消費者行政の活性化を目的とした国からの交付金を基に県が造成した基金を財源として、消費者相談窓口の充実や消費者の意識高揚を図る事業を実施します。

平成21年度から消費生活専門相談員を配置して、消費生活相談業務を行っております。

- 消費生活相談窓口に係る経費　238 万円
- 「くらしの講座」開催　16 万円
  前期・後期　計6回開催予定
- 啓発パンフレット等作成　111 万円
  悪質商法等に関するパンフレット作成

財源

国県支出金	258 万円
市の負担額	107 万円

高齢者運転免許自主返納支援事業　351 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2035）

市内の交通(人身)事故件数は減少傾向にありますが、高齢者事故の割合が依然として高く、今後、高齢者人口の増加に伴い、高齢者事故も更なる増加が懸念されます。高齢運転者に起因する交通事故を減少させるため、運転免許を自主返納された70歳以上の方を対象に、下記のことについて支援します。

〇対象者

・有効期間中の運転免許の全部を自主的に返納していること。
・申請時に満年齢70歳以上の南砺市民であること。
・自主返納した日から1年以内であること。

〇支援内容　（次の①～⑤のうちいずれか1つとする。）

①市営バス定期券　６ヶ月定期券２枚を交付。
②市営バス回数券
③加越能バス回数券　20,000円分を交付。
④ＪＲバス回数券
⑤タクシー利用券　利用券20,000円分を交付。（市内6社のタクシー会社から一つを選択します。）

〇申請手続きの流れ

①警察署で本人が運転免許返納を申請する。
　運転免許取消通知書が交付される。
②最寄りの行政センターで支援を申請する。
③後日、交付決定通知と希望の支援券が交付される（郵送）。

防犯協会補助金　800 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2035）

平成２３年中の市内の犯罪発生(刑法犯認知)件数は１７２件で、過去１０年間で最も少なく、合併後の平成１８年の２８８件と比較しても大幅に減少しています。

犯罪を未然に防止して、市民が安心して暮らせる安全なまちづくりを目指し、南砺市防犯協会へ防犯活動推進のための補助金を交付しています。

交通安全協会補助金　200 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2035）

平成２３年中の市内の交通(人身)事故発生件数は１８３件で、過去１０年間で最も少なく、合併後の平成１８年の２４１件と比較しても大幅に減少しています。

また、交通死者数については、平成２３年中は３名で、過去１０年間で２番目に少なく、合併以降では最も少ない数です。

悲惨な交通事故の防止を呼びかけ、市内での交通死亡事故ゼロを目指すため、南砺市交通安全協会へ交通安全啓発活動推進のための補助金を交付しています。

コンビニ交付実施事業　377 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2008）

市では、住民基本台帳カードの有効利用と南砺市外でも取得できるよう住民サービスの向上のため「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」を全国のコンビニエンスストア（セブン-イレブン）で取得できるサービスを提供しています。それに係る負担金やシステムの維持管理費等の経費です。

・取扱いできるカード
　有効期限が２０１９年４月１９日以降の自動交付機暗証番号が登録された住基カード
・扱い証明書の種類
　住民票の写し・印鑑登録証明書
・交付手数料　　各２５０円
・取扱い時間　　午前６時３０分～午後１１時まで
（年末年始12/29～1/3及びメンテナンス時を除く）

○主な経費
　地方自治情報センター運営負担金　300万円
　取扱い手数料（1件につき120円）　12万円
　システム保守料等　65万円

コンビニ交付システム追加業務委託料　248 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2008）

昨年度から住民基本台帳カードを利用して全国のコンビニエンスストア（セブン-イレブン）のマルチコピー機から「住民票の写し」「印鑑登録証明書」のコンビニ交付サービスを行っています。平成２４年度ではさらに「戸籍証明書」「戸籍の附票の写し」の交付サービスを行うよう整備するものです。

・取扱いできるカード
　有効期限が２０１９年４月１９日以降の自動交付機暗証番号が登録された住基カード
・扱い証明書の種類及び手数料
　戸籍証明書　４００円
　戸籍の附票の写し　２５０円
・取扱い時間　　午前６時３０分～午後１１時まで
（年末年始12/29～1/3及びメンテナンス時を除く）

住基法改正に伴う住基システム等改修委託料　4,500 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2008）

平成24年7月に外国人登録制度が廃止になり、外国人住民の利便の増進や市町村行政事務の合理化を目的として外国人住民を住民基本台帳法の適用とするため、住民基本台帳システムの改修を行う経費です。

○主な経費
　住民記録システム改修及び入国管理局データ連携　2,750万円
　その他関連システム改修、連携　1,750万円

自動交付機更新賃借料　349 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23-2008）

自動交付機による安定的な証明書の提供を行うため、平成２４年３月に更新した自動交付機１台の経費です。

○主な経費
　自動交付機機器リース料(1年分)　３４９万円
　リース期間　平成２４年３月から５年間

・扱い証明書の種類及び手数料
　住民票の写し・印鑑登録証明書　２５０円
　戸籍証明書　４００円
　戸籍の附票の写し　２５０円
・取扱い時間　　平日　午前８時～午後８時まで
　　休日　午前９時～午後５時まで
（年末年始12/29～1/3及びメンテナンス時を除く）

社会福祉協議会補助金　1億5,439 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

南砺市社会福祉協議会への補助金です。

- 法人運営事業（人件費等）　5,158万円
- 地区社協助成事業　139万円
- ボランティア活動助成事業　101万円
- 社会福祉団体等補助金　140万円
- 地域総合福祉活動推進事業　4,799万円
- ボランティアセンター設置事業　250万円
- ボランティアコーディネーター設置事業　1,037万円
- 学童生徒のボランティア活動普及推進事業　105万円
- ボランティアサポーター設置事業　29万円
- 広報（なんとの福祉）発行事業　24万円
- 福野老人福祉センター設置事業　1,082万円
- 福光老人福祉センター設置事業　960万円
- すぱーく福野設置事業　118万円
- 井波社会福祉センター設置事業　906万円
- 井口社会福祉センター設置事業　521万円
- 委員会活動事業　10万円
- 外出支援サービス事業　60万円

井波社会福祉センター耐震化工事補助金　1億2,000 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

井波社会福祉センター耐震補強工事（24～25年度）に対する、市社会福祉協議会への補助金です。

構造　鉄筋コンクリート造り３階建て
延床面積　約1,640平方メートル

平成24年度事業費
補助金　1億2,000万円

平成25年11月完成予定

社会福祉施設指定管理料　6,864 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

市内の社会福祉施設を指定管理者制度により運営を委託しております。民間手法を用いて、弾力性や柔軟性のある施設運営を行うことで利用者のサービス、利便性の向上を目指します。

- いなみ交流館ラフォーレ指定管理料　3,840万円
  （安達建設㈱）
- くろば温泉指定管理料　809万円
  （上平観光開発㈱）
- ゆ～楽指定管理料　765万円
  （ケービックス㈱北陸支店）
- ゆ～ゆうランド指定管理料　1,450万円
  （トナミグリーン㈱）

ラフォーレプール

生活保護事業　1億210 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23－2009）

生活に困っている方に対して、困っておられる状況と程度に応じて健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立して生活できるよう手助けをします。

保護になった方には、生活・住宅・教育・医療・介護等の扶助費を支給します。

平成23年4月1日現在
保護世帯　39世帯
保護人員　53人

財源

国県支出金	7,655 万円
その他(生活保護返納金)	3 万円
市の負担額	2,552 万円

敬老会委託料　480 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

高齢者の方々の長寿を家族、地域ぐるみでお祝いし、市民の家庭愛及び高齢福祉の推進を図ることを目的として実施している「敬老会」事業の委託料です。

・平成22年度　委託先：南砺市社会福祉協議会
事業費：480万円
対象者：9,359人
（満75歳以上の方）

地域ぐるみで開催される「敬老会」の様子

在宅高齢者等生活支援事業　559 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

・外出支援サービス　96万円

一般の公共交通機関を利用して外出することが困難な在宅要介護高齢者や障害者の方に、移送用車両を利用して医療機関への送迎を支援します。

・緊急通報措置サービス　408万円

日常生活に支障がある高齢者の方に、２４時間通報可能な機器を貸与し、緊急時の連絡体制を整えることで、高齢者の日常生活の不安を解消し、生活の安全安心を守ります。

・寝具類等洗濯乾燥消毒サービス　45万円

寝たきり高齢者等が、清潔感を保ち、快適な生活が送れるよう、寝具の洗濯、乾燥、消毒費用を支援します。

・訪問理美容サービス　10万円

理美容院へ行くことが困難な寝たきり高齢者等の家庭を理容師または美容師が訪問し、サービスを提供することで、清潔で快適な生活を送れるよう支援します。

そくさいネット「ふれｉTV」福祉支援事業　217 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

高齢者世帯における日常生活上の不便性と孤独感の解消、及び健康・福祉に関する支援や緊急時等の行政情報の提供を行うことを目的として、ＴＶ電話機器等を貸与し、利用料の一部を助成する事業です。

助成の対象世帯は、65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯、70歳以上の高齢者のみ世帯、重度身体障害者のみ世帯等です。

「ふれiTV」端末

シルバー人材センター補助金　1,075 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

高年齢者の就業を通じて、高年齢者の福祉の増進に資することを目的としたシルバー人材センターに対し、高年齢者の就業機会確保のために、同センターの運営費に補助金を交付する事業です。

内訳
・シルバー人材センター運営費補助金
1,070万円
・全国シルバー人材センター協会賛助会員会費
5万円

高齢者入浴券助成事業　785 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

６５歳以上のひとり暮らし高齢者及び７０歳以上の高齢者のみ世帯の方に、入浴施設(市内１４施設)を利用することができる入浴助成券を交付し、心身の健康増進を図っていただく事業です。

・交付枚数…年間１０枚/人

老人クラブ補助金　1,117 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

単位老人クラブや老人クラブ連合会が行う生きがい・健康づくりを推進する活動やボランティア活動等に要する経費に対し補助金を交付する事業です。

【内訳】
- 単位老人クラブ補助金　941万円
- 老人クラブ連合会(市及び各地域)　157万円
- 老人クラブ連合会特別事業(広報事業)　19万円

財源

国県支出金	744 万円
市の負担額	373 万円

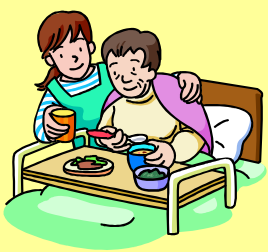
高齢者ミドルステイ事業　149 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

在宅高齢者が介護者の入院や出張、住宅改修などの理由により、中期的に在宅介護が困難となった場合、３カ月を限度とした（ショートステイ期間含）宿泊を提供するものです。施設利用費の一部を市が負担します。

・利用対象者：要介護認定を受けた高齢者の介護者
・利用者負担：世帯の所得段階により負担額が決まります。

・平成22年度実績　　利用人数：延べ１９人



在宅要介護高齢者福祉金支給事業　1,005 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

在宅の重度要介護高齢者に、経済的負担の軽減を行い要介護高齢者の福祉の増進を図るため福祉金を支給します。

- 利用対象者：　65歳以上の要介護４以上の在宅高齢者
  ※所得制限があります。
- 支 給 金 額：　月5,000円の福祉金を年２回に分けて支給します。
  ※施設入所・長期入院の方は支給期間が変更になります。

財源

国県支出金	502 万円
市の負担額	503 万円

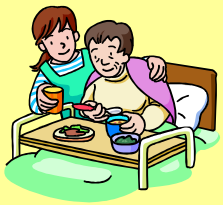
高齢者が住みよい住宅改善支援事業　280 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

高齢者が、身体機能が低下しても住み慣れた家庭でできるだけ長く生活できるよう、居宅環境改善に必要な経費を支援します。

○利用対象者：65歳以上で介護認定を受けている高齢者を介護する世帯。
※但し、家族全員が所得税非課税世帯。

○支 給 金 額：限度対象工事費９０万円の２/３の６０万円を限度に助成します。



財源

国県支出金	140 万円
市の負担額	140 万円

高齢者宅除雪支援事業　100 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

高齢者の屋根雪除雪の費用を支援します。但し、家周りの除雪は除雪支援サービスの対象ではなく、軽度生活援助サービスの対象作業としますので、民生委員に相談願います。

○利用対象者：65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯、６５歳以上の高齢者のみで構成する世帯、ひとり暮らしの身体障がい者１･２級の方など。
※但し、前年の所得税の課税世帯を除く。

○支 給 金 額：１回あたり１０,０００円を限度に支援します。
但し、１降雪期間あたり２回を限度とします。

財源

国県支出金	50 万円
市の負担額	50 万円

福祉施設への指定管理事業　2,032 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

福祉施設に指定管理者制度を導入することにより、公共サービスの継続を基本に、民間事業者等のノウハウを活用した管理手法をを取り入れ、また市民への福祉向上につなげることを目的としています。

【該当施設】

- 城端美山荘本館指定管理料　754万円
  （南砺市社会福祉協議会）
- 城端美山荘別館指定管理料　54万円
  （(社)手をつなぐとなみ野南砺作業所
  福祉作業所エルハート城端）
- 城端ふれあいはうす指定管理料　159万円
  （(社)手をつなぐとなみ野南砺作業所
  福祉作業所エルハート城端）
- 上平ことぶき館指定管理料　53万円
  （上平観光開発㈱）
- 福祉の家 福光光龍館指定管理料
  （南砺市社会福祉協議会）　1,012万円

高齢者福祉施設建設分担金事業　4,451 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

南砺市及び砺波市・小矢部市・高岡市内にある下記の介護施設等における建設・増築時に要した費用に対し、長期にわたり補助等を行う事業です。

【該当施設】

○南砺市
- 特別養護老人ホーム きらら　889万円
- 介護老人保健施設 城端うらら　450万円
- ケアハウス 城端うらら　1,101万円
- 介護老人保健施設 なんと　216万円

○砺波市
- 特別養護老人ホーム やなぜ苑　243万円
- 砺波市庄東デイサービスセンター　94万円
- 砺波市南部デイサービスセンター　94万円

○小矢部市
- 特別養護老人ホーム
  ほっとはうす千羽　1,211万円
- 小矢部市総合保健福祉センター　68万円

○高岡市
- 特別養護老人ホーム アルテン赤丸　85万円

介護予防事業　　2,798 万円

(担当：地域包括支援センター(井口庁舎内)　問合せ先　23-2034)

介護予防とは、介護が必要な状態にならないように、また介護を受けている状態を悪化させずに、できる限り元気でいきいきとした生活が送れるよう普段から予防に取り組むことをいいます。運動・栄養・口腔・認知症予防を中心とした介護予防事業を年間を通して実施します。

1．生活機能評価事業　　668万円

日常生活を維持する上に必要な心身の能力が衰えてないか、基本チェックリストや生活機能検査等により、生活機能評価を行い、要介護・要支援状態となるおそれの高い高齢者を把握します。

2，運動機能向上事業（健やか元気塾）　　735万円

基本的な動作や歩行等の運動機能低下が認められる高齢者に対して、筋力トレーニング等を通して運動習慣の定着化を図ります。

3，栄養改善事業　　3万円

低栄養状態の疑いのある高齢者に対し、管理栄養士が中心となり栄養指導を行い栄養状態の改善を図ります。

4，口腔機能向上事業　　34万円

咬む力や飲み込む力などの口腔機能低下の疑いのある高齢者に対し、歯科衛生士が中心となり、適切なブラッシングや口腔体操等により、口腔機能向上を図ります。

5，脳健康教室　　442万円

閉じこもり、認知症、うつ等の生活機能低下ありと判定された方を対象に、簡単な音読や計算、参加者同志のコミュニケーションを通して脳の活性化を図ります。

6，介護予防普及啓発事業　　176万円

高齢者に対し、高齢者サロンや高齢者学級等において、介護予防の知識と重要性及び「ほっとあっとなんと体操」の普及啓発を図ります。

健やか元気塾

ほっとあっとなんと体操

栄養相談

お口いきいき相談

脳健康教室

財源

その他(地域支援事業交付金)　2,798 万円

在宅介護支援事業　4,270 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

○生活援助員派遣事業
　シルバーハウジング(栄町住宅・遊部住宅）に生活援助員の派遣を行い、入居高齢者等に対して生活指導及び相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供しています。　１０４万円

○家族介護教室事業
　高齢者を介護している家族等の様々なニーズに対応するため、介護教室を開催しています。　１０万円

○家族介護者交流事業
　高齢者を介護する家族の介護技術の向上及び心身のリフレッシュを図るための事業です。　２１万円

○介護用品支給事業
　常時おむつを必要とする高齢者(要介護３以上)の方におむつ利用券を交付しています。　１,１１３万円

○徘徊高齢者家族支援事業
　徘徊高齢者を介護する家族に対して徘徊探知機を貸与し、高齢者の所在を確認するサービスです。　７万円

○認知症高齢者徘徊SOS緊急ダイヤル設置事業
　徘徊高齢者の捜索が必要になった場合に、２４時間３６５日連絡を受付、協力事業所等に速やかに電子メールで情報を発信し、早期に発見できるサービスを提供します。　２３０万円

○緊急通報装置保守及び監視業務委託事業
　シルバーハウジングの入所者に２４時間通報可能な機器を貸与し、緊急時の連絡対応を図り、高齢者の日常生活の不安の解消を支援します。　５８万円

○生活管理指導員派遣事業
　生活管理指導員(ホームヘルパー)を派遣し、自立生活の支援をします。　６０万円

○生活管理指導短期宿泊(ショートステイ)事業
　自立した生活の継続を可能とするため、７日以内の短期宿泊を支援します。　６万円

○生きがい活動支援通所事業
　家に閉じこもりがちな高齢者の社会的孤立感の解消と要介護状態となることを予防するため、デイーサービスの利用を支援します。　２０５万円

○高齢者生きがいと健康づくり事業
　高齢者のスポーツ、芸能、健康増進活動、教養講座、生きがい活動事業を開催します。　１,０５８万円

○高齢者サロン事業
　高齢者の方々が要介護状態になることなく、健康で生き生きとした生活が送れるよう、各種のサロンを開催します。　１,０２５万円

○食の自立支援事業
　７０歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の方に健康で自立した生活が送れるよう、配食を提供します。　２５５万円

○成年後見制度利用支援事業
　認知症高齢者の方々で成年後見制度の利用が必要であると認められた方に初期に必要な経費を支援します。　４７万円

○家族介護慰労金支給事業
　重度の要介護高齢者で、１年以上介護保険サービスを利用せず、家族の介護で在宅生活を送っている方の家族に慰労金を支給します。　２０万円

○シルバーハウジング管理費（電気.水道等）　２８万円

○福祉サービスパンフレット作成　２３万円

財源

その他（地域支援事業交付金）	4,004 万円
市の負担額	266 万円

包括的支援事業　6,830 万円

（担当：地域包括支援センター　問合せ先　23-2034）

高齢者が、住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活が継続できるよう、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどが中心となって、高齢者の状態に応じた、総合相談支援や権利擁護事業、介護予防ケアマネジメント等の包括的な継続的な総合支援を行います。

・総合相談・支援

介護に関する相談や悩み以外にも、福祉や医療など、なんでもご相談ください。

・権利擁護・虐待の早期発見防止

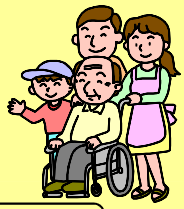
虐待を早期に発見したり、成年後見制度の紹介や消費者被害などに対応します。

・介護予防ケアマネジメント

要支援や要介護状態となるおそれの高い方の、介護予防プランを作成し、自立した生活を支援します。

・包括的・継続的ケアマネジメント

暮らしやすい地域にするため、民生委員や医療機関、社会福祉協議会などさまざまな機関とのネットワークをつくり調整します。



財源

その他(地域支援事業交付金)　6,830 万円

予防給付事業　2,209 万円

（担当：地域包括支援センター　問合せ先　23-2034）

介護保険サービスを受けるため、要介護認定調査を行います。

また要支援１及び要支援２の方の、介護予防サービス計画を作成し、介護保険サービス等が提供できるよう調整し、自立に向けた在宅生活を支援します。

年間認定調査予定件数

新規	更新	区分変更	合計
870件	2,350件	280件	3,500件

年間介護予防サービス計画作成予定数

	作成件数	新規（内訳）
委託事業所	2,200件	180件
地域包括支援センター	2,150件	85件
計	4,350件	265件

財源

その他(新予防給付費雑入など)　2,209 万円

砺波地方介護保険組合負担金　8億567 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

砺波地方介護保険組合は、南砺市、砺波市、小矢部市の3市による広域組合(一部事務組合)として、介護保険事業を実施しています。

また、平成２０年４月からは養護老人ホーム楽寿荘の運営が加わりました。広域で運営するメリットとして、

①保険料の平準化
②広域的なサービス基盤の整備
③保険財政の安定化
④事務処理経費の軽減

などが挙げられます。

〇砺波地方介護保険組合負担金
- 一般事務費負担金　5,９１３万円
- 認定等事務費分担金　5,１１２万円
- 介護給付費負担金　６億6,６７１万円
- 介護保険システム改修負担金　４８０万円

〇地域支援事業負担金
- 介護予防事業　６２２万円
- 包括的支援事業及び任意事業　1,７０４万円
- 任意事業(砺波地方介護保険組合分)　６５万円

障害者地域生活支援事業　5,478 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

市が中心となり、障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、さまざまな事業を実施します。

主な事業と経費

- 相談支援事業　310 万円
  相談に応じ、情報提供や権利擁護のための援助を行います。
- ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ支援事業　48 万円
  手話通訳や要約筆記を行う者を派遣します。
- 日常生活用具給付等事業　1,463 万円
  重度障がいのある人等に対し、日常生活上の便宜を図るために用具を給付します。
- 移動支援事業　271 万円
  屋外での移動が困難な障がいのある方について、外出のための支援を行います。
- 地域活動支援ｾﾝﾀｰ事業　2,708 万円
  創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行います。
- ｽﾎﾟｰﾂ、ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ教室開催事業　75 万円
- その他事業　603 万円
  訪問入浴ｻｰﾋﾞｽ事業、更生訓練費給付事業、日中一時支援事業、手話奉仕員養成事業、自動車運転免許取得・改造助成事業

財源

国県支出金	2,294　万円
市の負担額	3,184　万円

障害児わくわく子育て支援事業　344 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　問合せ先　23-2009）

特別支援学校または特別支援学級の放課後や土曜日、長期休暇中に障がい児の遊びや生活の場を設け集団活動や生活訓練等を行います。

財源

国県支出金	172　万円
市の負担額	172　万円

障害者支援施設建設費負担金　878 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

障がいのある方の入所施設等の建設費又は改修工事費の一部を関係する市町村で分担します。負担する期間は、単年度のものから複数年度に渡るものなど施設によって異なります。

・障害者支援施設 花椿	498 万円
・セーナー苑 はるかぜの丘	13 万円
・セーナー苑 ほほえみの丘	15 万円
・セーナー苑 わかくさの丘	14 万円
・セーナー苑 やまびこの丘	10 万円
・セーナー苑 のぞみの丘	5 万円
・マーシ園 木の香	323 万円

特別障害者等手当支給事業 1,100 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

心身に重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする在宅の方を対象に支給します。

・特別障害者手当
　月額　２６，２６０円
・障害児福祉手当
　月額　１４，２８０円

※所得制限があります。

財源

国県支出金	825 万円
市の負担額	275 万円

重度障害者住宅改善費補助事業　270 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

在宅の重度障がい者の方が今お住まいの住宅について、その障がいに適応するよう、または介護者の介護負担を軽減するために必要な工事費を補助します。

財源

国県支出金	135 万円
市の負担額	135 万円

障害者ケアホーム整備事業　500 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

障がい者の自立生活を助けるための共同生活施設の建設整備に必要な経費に対して補助する事業です。

・マーシ園（仮称）八乙女ケアホーム　　５００万円

障害者自立支援給付事業　7億4,160 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

障がいの種別（身体、知的、精神）にかかわらず、障がいのある方々がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行います。

主な事業と経費

- 介護給付（自宅や施設で入浴、排泄、食事などの介護を行います。）　５億4,648 万円
  ホームヘルプサービス、デイサービス、短期入所、施設入所（通所）、療養介護など
- 訓練等給付（地域生活に向けた身体機能・生活能力向上、就労支援などを行います。）
  グループホーム、就労支援など　1億7,880 万円
- 補装具給付（体の失われた部分や損なわれた機能を補うための用具を支給します。）
  1,056 万円
- 自立支援（更生）医療　576 万円
  （障がいを除去、軽減して職業能力の増進、日常生活を容易にするための医療を給付します。）

財源

国県支出金	5億5,620 万円
市の負担額	1億8,540 万円

重度心身障害者等医療費助成事業　1億6,170 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

重度心身障がい者の健康維持や経済的な負担を軽減するため、保険診療として認められる医療費を助成します。

助成対象者

- １～６４歳の重度障がい者
  （身体障害者手帳1･2級、療育手帳Ａの方）
- ６５歳以上の重中度障がい者
  （身体障害者手帳１～４級の一部、療育手帳Ａ
  精神障害者保健福祉手帳1･2級、障害年金1･2級
  のうち、後期高齢者医療加入の方）
- ６５～６９歳の軽度障がい者
  （身体障害者手帳４～６級、療育手帳Ｂの方）

※障がい程度等により、助成割合が異なります。
※世帯の合計所得額が1,000万円未満の方に限られています。

財源

国県支出金	7,000 万円
市の負担額	9,170 万円

障害児通所支援費　3,940 万円

（担当：井波庁舎　福祉課　　問合せ先　23-2009）

障がい児が障害児施設に通園し日常生活訓練などを通じて将来的な知識と技能を習得できるよう支援します。

- 障害児通所支援給付　1,420万円
- 放課後等デイサービス　2,520万円

財源

国県支出金	2,955 万円
市の負担額	985 万円

相談員設置費　460 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

子育てに関することや女性に関することなどさまざまな問題や心配事に応じるため、相談員を設置しています。個人情報は遵守しますので、ひとりで悩まないで気軽にご相談ください。

○受付日・時間
月曜日～金曜日　9:00～16:00
※事前に電話等で連絡願います。

○相談窓口
0763－23－2026
女性・こども相談室　（井波庁舎２階）

・関係機関
高岡児童相談所　0766-21-2124
富山県女性相談センター　076-465-6722
児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064-000

財源

国県支出金	65 万円
市の負担額	395 万円

出生祝い金　1,135 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

お子様の誕生を祝い健やかな成長を願う意味で、お子様が出生された場合、出生祝い金をお贈りしています。

○対象になる方
お子さんを養育する父または母で、出生時に南砺市に住所があり、ともに引き続き南砺市にお住まいになる方(※転出等の場合、出生祝い金を返していただくことがありますのでご承知願います。)

○金額（出生児１名につき）
第１子～３子…３万円
第４子…５万円
第５子以降…１０万円

○申請手続き
出生日から６０日以内に各行政センター窓口で出生祝い金支給申請書を提出してください。

○申請に必要なもの
・申請される方の振込先口座がわかるもの
・印鑑

児童遊具整備補助金　20 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

自治会等が、児童の遊び場の確保のため児童遊具を新しく設置したり、修繕をする場合に事業費の一部を補助します。

○補助の要件
・面積がおおむね１５０㎡以上の児童遊園的な広場
・自治会等が傷害保険に加入し、管理していること

○補助率・限度額
・補助率　事業費(撤去費用含む）１／２以内
（千円未満切捨）
・限度額
設置（新規・更新）　15万円
修繕　5万円

○その他
補助は１広場につき年度１回に限る。

チャイルドシート購入補助金　84 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

乳幼児用のチャイルドシートを購入した場合、購入金額の１／３を補助します。
※購入者及び乳幼児が市内在住の場合に限る。

○補助金の額
購入金額（消費税を含まない）の１／３
（１００円未満切捨）
※限度額　５千円
※乳幼児１人につき１台に限る

○申請に必要なもの
・領収書
・製品名のわかる保証書又は取扱説明書（写）
・申請される方の振込口座がわかるもの
・印鑑

ひとり親家庭医療費の助成　1,984 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

ひとり親家庭等に対し医療費（保険適用分）の自己負担額を助成します。毎年10月に更新します。

○対象者
ひとり親家庭等の父、もしくは母、又は養育者とその児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日まで）

○所得制限
父や母、同居の祖父母等扶養義務者の所得が一定額を上回る場合は対象になりません。

○申請に必要なもの
・印鑑
・健康保険証（親と子のもの）
・戸籍謄本又は児童扶養手当証書

財源

国庫支出金	892 万円
その他(高額療養収入)	200 万円
市の負担額	892 万円

こども妊産婦医療費の助成　1億1,770 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

こども・妊産婦に係る医療費（保険適用分）の自己負担額を助成します。毎年１０月に更新します。

○対象者
・こども医療　０歳～小学校６年生までのこども
・妊産婦医療　下記の病気の診断を受けた妊産婦
妊娠高血圧症候群、糖尿病、貧血、
産科出血、心疾患、切迫早産

○申請に必要なもの
父又は母の所得が一定額を上回る場合は対象になりません。

○申請に必要なもの
・印鑑　　・子又は妊産婦の健康保険証

○助成方法
市内医療機関や砺波総合病院等では医療費の支払はありませんが、その他の医療機関では支払後に行政センターで申請してください。

財源

国県支出金	1,920 万円
その他(高額療養収入)	700 万円
市の負担額	9,150 万円

とやまっ子子育て応援券　250 万円

（担当:　井波庁舎　　こども課　　問合せ先　　23－2010）

子育て家庭の経済的・精神的負担の軽減を図り、子育て支援サービス等の利用を促進するため、県と市が共同で、サービス等の利用券を交付します。

○交付対象
平成２０年４月１日以降に生まれたお子さんをお持ちの家庭　※兄弟姉妹にも利用できます。

○応援券の金額
第１子、２子…１万円分
第３子以降…３万円分

○申請に必要なもの
・印鑑
※行政センターでの出生届や転入届に合わせて申請をお願いします。

○有効期限
誕生日から３年間

○利用できるサービス
・保育サービス…一時預かり、病後児保育　など
・保健サービス…任意の予防接種　など
※詳細は、行政センター窓口での申請時にお渡しする「パンフレット」「子育て支援ガイド」「南砺市ホームページ」をご覧ください。

財源

国県支出金	250 万円

児童扶養手当の給付　1億710 万円

（担当:井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

父母の離婚などにより、児童がひとり親家庭で養育されるようになった場合、その家庭の生活の安定と児童の健やかな成長を願って支給される手当です。

○手当の額
全部支給（月額）４１，５５０円
一部支給（月額）４１，５４０円～９，８１０円
※児童が２人の場合は、５，０００円、３人以降は、さらに３，０００円ずつ加算されます。
※受給者本人および扶養義務者の所得額と扶養親族の数によって、支給額が決定されます。

○支給時期
認定請求された月の翌月分から、年３回（４月、８月、１２月）それぞれの支払月の前月までの分が支払われます。

財源

国県支出金	3,570 万円
市の負担額	7,140 万円

母子家庭等就業自立支援事業　85 万円

（担当：井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

母子家庭の母が生活安定に資する資格を取得できる養成機関で2年以上修業する場合、財政負担を軽減する支援費です。

○対象資格　看護師、保育士、介護福祉士、理容師
美容師、作業療法士、理学療法士
ほか

○ 対象期間　全修業期間

○ 支給額　月額 141,000円(市民税非課税世帯)
月額　70,500円(市民税課税世帯)

○ 対象者　①～③の要件を満たす者
① 児童扶養手当受給者又は所得水準が同様の者
② 生活自立のため資格取得が必要であり適切と認めた者
③ 生計維持と育児・修業の両立が困難と認められる者

財源

国県支出金	63　万円
市の負担額	22　万円

子どものための手当等の給付　7億7,145 万円

（担当：井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

次代を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという観点から支給される手当です。

・支給対象
0歳から中学校修了前の子どもを養育している方

・手当の額

0～2歳	15,000円
3歳～小学生（第1･2子）	10,000円
3歳～小学生（第3子以降）	15,000円
中学生	10,000円

・支給時期
年3回（6月、10月、2月）の支払月に前月までの分が支払われます。

財源

国県支出金	6億5,719 万円
市の負担額	1億1,426 万円

児童センター・児童館管理運営費　1,670 万円

（担当：井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

子どもたちに健全な遊びを提供し、お互いに交流を深めながら健やかな体と豊かな心を育てるお手伝いをしています。

・開館時間

城端児童館	13:00～18:00
福野児童センター「アルカス」	9:00～18:00
福光児童館「きっずらんど」	9:00～18:00

・休みの日
日曜日、祝日、年末年始

※ファミリーサポートセンター事業も実施しており、福野おひさま保育園子育て支援センター「あっぷる」内に事務局があります。

財源

国県支出金	201 万円
その他（行事参加負担金等）	40 万円
市の負担額	1,429 万円

放課後児童クラブ事業　2,368 万円

（担当：井波庁舎　子育て支援室　問合せ先　23－2010）

保護者が仕事などで昼間留守になっている家庭の児童を対象に、放課後の時間帯に適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブを開設することで、児童の健全な育成を図っています。

・開設時間等
城端放課後児童クラブ（城端児童館内）
井波子どもホーム（いなみ交流館ラフォーレ内）
アルカスクラブ（福野児童センターアルカス内）
福光中部っ子クラブ（福光中部小学校内）
福光東部っ子クラブ（福光東部小学校内）
月～金曜日　13:00～18:30
土曜日・長期休業時　8:00～18:30
アルカスのびのびひろば（福野小学校内）
月～金曜日･長期休業時　13:00～18:30

・休みの日
日曜日・祝日・年末年始

※学童保育を民間で実施しているクラブへの補助金もこの事業に含んでいます。（２７８万円）

財源

国県支出金	1,337 万円
市の負担額	1,031 万円

保育園費　7億594 万円

（担当：井波庁舎　こども課　問合せ先　23-2010）

保護者が就労などにより、日中、児童を養育できない場合、市内22箇所の公立保育園や（私）喜志麻保育園において保育をしています。
また、保護者の方の事情により市外の公立、私立保育園に保育を委託するケースもあります。

- 市立保育園運営費　5億7,586万円
- 3歳未満児保育業務委託［(私)喜志麻保育園］　1億2,000万円
- 他市町村保育業務委託　1,008万円

財源

国県支出金	8,116 万円
その他（保護者負担金等）	1億1,872 万円
市の負担額	5億　606 万円

地域子育て支援センター費　3,147 万円

（担当：井波庁舎　こども課　問合せ先　23-2010）

家庭で子育てをしている保護者の方を支援するため、子育てに関する相談や情報提供、親子の交流の場を提供しています。
※この事業費には、担当保育士の補助対象人件費を含んでいます。

- 城端さくら保育園子育て支援センター「さくらんぼ」
- 山野保育園子育て支援センター「なかよし広場」
- 福野ひまわり保育園子育て支援センター「たんぽぽ」
- 福野おひさま保育園子育て支援センター「あっぷる」
- 福光児童館きっずらんど子育て支援センター「ひよこ広場」

財源

国県支出金	1,572 万円
その他(参加負担金)	1 万円
市の負担額	1,574 万円

保育園施設整備費　13億6,860 万円

（担当：井波庁舎　こども課　問合せ先　23-2010）

少子化、施設の老朽化や多様化する保育ニーズに対応するため平成21年度から福野、井波、福光地域において保育園の統合整備を進めています。

- 既存保育園修繕費　500万円
- (仮称)井波地域統合保育園整備　8億3,750万円（本体工事費など）
- (仮称)福光中部統合保育園整備　1億　250万円（用地造成費、実施設計費など）
- (仮称)福光南部統合保育園整備　4億　700万円（用地造成費、本体工事費など）
- 竣工式経費、工事関係事務費等　1,660万円

(仮称)井波地域統合保育園完成予定図

財源

起債	12億4,830 万円
市の負担額	1億2,030 万円

私立保育園育成費　2,145 万円

（担当：井波庁舎　こども課　問合せ先　23-2010）

（私）喜志麻保育園が行っている延長保育、一時預かり、病児保育、休日保育などの特別保育事業や子育て支援センター事業について補助支援をしています。

- 特別保育補助金　2,145万円

財源

国県支出金	1,264 万円
市の負担額	881 万円

保健衛生推進費　474 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

健やかで心豊かに生活するために住民参加型の健康づくりを進めております。健康寿命の延伸や生活習慣病予防の推進のため健康づくりボランティアである食生活改善推進員、ヘルスボランティア、母子保健推進員の協力を得ながらきめ細かな保健事業を展開しています。

・むし歯や歯周病などの歯科疾患の予防を目的に乳幼児から学童、妊婦、成人、高齢者まで歯と歯ぐきの健康づくりを推進します。

・適正な栄養や食生活に関する知識の理解と実践を地域へ普及啓発するための研修会を開催し、健康づくりボランティアの育成を推進します。

・健康づくりボランティアの活動に補助し、地域の健康づくりの輪を拡大するよう支援します。

主な経費

歯科保健推進事業費	244 万円
食生活改善推進事業費	50 万円
健康づくりボランティア補助金	75 万円
各種負担金等	105 万円

大人の食育教室事業　72 万円

（担当：健康課 福光保健センター　問合せ先　52－1767）

大人自身が今一度食生活を見直し日常の生活習慣病のリスクを減らし、明日を担う子供たちに「元気で長生き」できる環境を整え、健康で質の高い社会の実現を目指す「大人の食育教室」を開催します。

・乳幼児を養育している方を対象に健康談義（伝えたいケンコウ井戸端会議）や調理実習を行います。

・広報で紹介してきた献立「地域の産物　旬の食材で栄養バランスを」に生活習慣病予防のコメントをつけたテキスト『伝えたい南砺の味を』を製本し、健康談義で使用します。

主な経費

実習材料費等	１７万円
印刷製本費	５５万円

健康プラン策定事業　108 万円

（担当：井波庁舎　健康課　問合せ先　23-2027）

市民が生活習慣病や寝たきりにならないための生活習慣の見直しや健康づくりを実践することにより、健康寿命を延伸し心豊かに生活できることを目的として、平成２５年から平成３４年の１０年間の健康プランを策定します。

○健康づくり推進のための意識調査
- 市民２，０００人の意識調査
- 食生活や運動・生活習慣等の把握

○健康プランを策定し健康づくりの普及
概要版を作成し、健康づくりの普及に努めます

○主な経費

意識調査費など	６７万円
印刷・パンフレット代	４１万円

みんなで取組む「健康づくり」の指標と目安

自殺予防対策事業　83 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

社会全体で自殺を止める機運を高めるため、うつ病や自殺の危険因子について理解を深める人材育成事業を行います。

また広く市民の方への心の健康づくりや支えあう地域づくりの啓発普及事業などを行います。

・保健センターでの精神科医師・臨床心理士・精神保健福祉士による心の健康相談日を月1回開設

・市民の相談に対応する職員向けにゲートキーパーとしてうつ病の理解や自殺の危険因子に理解を深める研修会の開催

・住民健診等で心の健康についてメンタルチェックと相談を行う

※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

主な経費

対面型相談支援事業	50 万円
人材育成事業	25 万円
啓発普及事業	8 万円

財源

国県支出金	83 万円

予防接種　9,851 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

予防接種法に基づいて、乳幼児や高齢者の感染症を予防するため、予防接種を実施します。

○乳幼児予防接種委託料	4,834 万円
○高齢者インフルエンザ予防接種委託料	4,747 万円
○事務費（郵便料、印刷代等）	270 万円

・接種費用

乳幼児予防接種費用は全額公費負担します。

高齢者インフルエンザ予防接種(個人負担金１,０００円)

・接種場所　市指定医療機関

（ポリオのみ、保健センター等で集団接種）

・持参するもの 予診票(接種券)、母子健康手帳

財源

その他(個人負担金)	1,310 万円
市の負担額	8,541 万円

ヒブ・肺炎球菌予防接種　3,364 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業補助により、乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するために生後２ヵ月から5歳未満を対象にヒブ・小児用肺炎球菌予防接種を行います。

○ ヒブ予防接種委託料	1,419 万円
○ 肺炎球菌予防接種委託料	1,939 万円
○ 事務費（郵便料、印刷代等）	6 万円

・接種場所　市指定医療機関

・持参するもの　予診票(接種券),母子健康手帳

財源

国県支出金	1,669 万円
市の負担額	1,695 万円

感染症予防費　933 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

結核の発生と蔓延を防止するために、市内各公民館、保健センター等で、検診車による胸部レントゲン検診を実施しています。市民の皆さんの身近な場所で受けやすい体制をしています。

・胸部レントゲン検診

【対象】南砺市に住所を有し、胸部レントゲンを受ける機会のない６５歳以上の方。

【期日】５月末から１１月上旬

【案内】対象者の方には、５月～９月に順次個人通知します。

【検査の内容】　問診

胸部Ｘ線検査

主な経費

通信費	30 万円
委託料	883 万円
事務費	20 万円

保健センター運営費　1,208 万円

（担当：健康課　福光保健センター　問合せ先　52-1767）

南砺市が所有する８保健センター（福光・福野・城端・井波・井口・平・上平・利賀）の維持経費です。今後も市民の皆さんが利用しやすい施設となるように、適切な管理運営に努めます。

お気軽に健康に関するご相談にお越しください。

主な経費

光熱水費等の維持経費	462 万円
一般修繕料	80 万円
通信費	110 万円
空調等の設備管理保守経費	234 万円
事務費	83 万円
工事請負費	120 万円
管理備品購入費	119 万円

子宮頸がん予防ワクチン接種　1,320 万円

（担当：井波庁舎　健康課　　問合せ先　23-2027）

将来の子宮頸がんの発症を予防するために接種します。子宮頸がんはHPVウイルスに感染することで発症しますが、サーバリックスは16型と18型、ガーダシルは6型、11型、16型、18型のウイルスに対するワクチンで、子宮頸がんの約7割を予防することができます。
（すべてを予防できるわけではないので、20歳以上は子宮がん検診を受けてください。）

○対象者
- 中学1年生から高校1年生相当の女子
- 高校２年生は平成24年3月31日までに接種を開始した者

○接種回数
- サーバリックス：1か月後・6か月後の3回
- ガーダシル：2か月後・6か月後の3回

○接種場所　委託医療機関

○主な経費

予防接種委託	1,313万円
事務費	7万円

財源

国県支出金	656万円
市の負担額	664万円

受動喫煙対策事業　135 万円

（担当：井波庁舎　健康課　　問合せ先　23－2027）

喫煙が多くの疾病に影響を及ぼしていることから、受動喫煙防止を進める健康なまちづくりをめざして、講演会や相談会を行い禁煙応援のポスターやステッカーを作成して禁煙応援の気運を高めます。

○ 市内事業所を対象に講演会や個別相談
　市内事業所の取組状況の発表
　禁煙グッズの体験、市内禁煙外来の紹介など

○ 禁煙ポスターやゆるキャラステッカー作成
　市内小中学校に禁煙ポスターを募集し、市内事業所や公共施設等に掲示する。また、ゆるキャラが入った禁煙ステッカーを作成し、事業所や公共施設等に掲示して禁煙を応援する。

○ 健康教育講義及び個別健康相談	30万円
禁煙ポスターの募集	31万円
禁煙ステッカー制作	74万円

疾病予防対策費　6,364 万円

（担当：井波庁舎　健康課　　問合せ先　23－2027）

市民のみなさまが健康で長生きできるように、主に成人の方を中心とした各種がん検診、健康診査、健康相談・教育・訪問などの事業を行っています。

○がん検診事業

- 対象者
  胃：40歳以上の男女　　子宮：20歳以上の女性
  乳：40歳以上の女性　　肺：40歳以上の男女
  大腸：40歳以上の男女　　前立腺：50歳以上の男性
  ﾍﾘｶﾙCT：50～70歳の男女
- 実施方法
  集団検診（胃・子宮・乳・肺・ヘリカルCT）
  各地域で、がん検診車による集団検診を行っています。
  施設検診（胃・子宮・乳・大腸・前立腺）
  指定医療機関でのがん検診も実施しています。

○健康教育、健康相談、訪問指導等事業

- 健康教育
  保健師や管理栄養士等が地域に出向き、自分の健康を守ることができるよう支援します。
- 健康相談
  生活習慣病や心身の健康について、個別相談を受けます。
- 訪問指導
  ご自宅に訪問し、健康づくり等に関して助言を行います。
- 栄養教室
  食生活や栄養について学ぶ教室を開催しています。
- ヘルスボランティア養成講座
  地域の健康づくりの原動力となるﾍﾙｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱを養成しています。

○健康診査事業

＊ 39歳以下健診
- 対象者及び実施方法
  19歳～39歳の方を対象に、集団検診にて実施
- 受診料･･･1,000円

＊ 肝炎ウイルス検診
- 対象者及び実施方法
  新40･50･60･65歳の方を対象に、特定健診と併せて血液検査にて実施
- 受診料･･･無料

＊ 口腔疾患検診
- 対象者及び実施方法
  40・45・50・55・60・65・70歳の方を対象に歯科医療機関にて実施
- 受診料･･･無料

＊ 生活保護健診
- 対象者･･･年度内40歳以上の生活保護者

財源

国県支出金	680万円
その他（個人負担金）	943万円
市の負担額	4,741万円

母子保健対策費　387 万円

（担当：健康課 福光保健センター　問合せ先　52－1767）

妊娠や出産後の育児をサポートするため、母子保健に関する各種教室、相談会、訪問指導等を行っています。

○主な内容
- 母子健康手帳交付
- マタニティ教室
- 離乳食教室
- 食育教室
- 育児や発育・発達に関する相談
- 新生児訪問　など

○周知方法

広報「健康カレンダー」やHP等で日時や会場をお知らせしています。

主な経費

看護師、管理栄養士、事務補助賃金等	１７４万円
助産師等謝礼	６９万円
事務費	１４４万円

財源

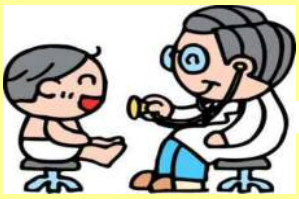
国県支出金	166 万円
市の負担額	221 万円

母子健康診査事業　4,077 万円

（担当：健康課 福光保健センター　問合せ先　52－1767）

健やかなお子様の誕生と妊婦さん自身の健康保持・増進のために14回の妊婦一般健康診査と必要な方に産婦一般健康診査を受けていただくよう受診券を交付しています。また、3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査を実施し、疾病・運動機能、精神発達障害等の早期発見、適切な治療や療育を促しています。

- 医師等謝礼　171万円
- 事務費　22万円
- 妊婦・乳児健診費委託料、手数料　3,884万円



財源

国県支出金	1,006 万円
市の負担額	3,071 万円

むし歯予防対策事業　299 万円

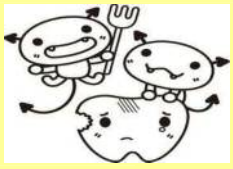
（担当：健康課 福光保健センター　問合せ先　52－1767）

妊婦歯科健康診査の実施、幼児のフッ化物塗布及び園児・小中学生のフッ化物洗口並びに歯科保健教育で口腔衛生の向上を図ります。

- 歯科医師等謝礼　１４９万円
- 事務費（滅菌手数料含む）　１１１万円
- 妊婦歯科健康診査費委託料　３９万円

財源

国県支出金	76 万円
その他の財源（個人負担金）	35 万円
市の負担額	188 万円



不妊治療費助成事業　700 万円

（担当：健康課 福光保健センター　問合せ先　52－1767）

子を希望する夫婦に対して治療費を助成します。

また、富山県不妊治療費助成制度との併用も可能です。

○助成を受けられる方

日本国内の医療機関において医師による不妊治療を行っており、市に引き続き1年以上居住している夫婦

○助成される金額

診療日から起算して1年間で30万円

○助成対象となる治療

体外受精ならびに顕微授精、および人工授精などの不妊治療

○申請の手続き

受診された医療機関に不妊治療費医療機関受診証明書を記載してもらい、1年以内に保健センター窓口に提出

○申請に必要なもの
- 不妊治療費助成金交付申請書兼請求書
- 不妊治療費医療機関受診証明書
- 領収書
- 健康保険証の写し
- 同意書

市営墓地の維持管理　1,212 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

市営墓地３ヶ所（城端、井波、福野）の運営維持管理をしています。また井波墓地の取得済み用地に墓地区画を造成するための工事と墓地管理のため必要な図面等の作成を行います。

市営墓地維持管理費	92万円
井波墓地管理図作成委託	420万円
井波墓地造成工事	700万円

財源

その他（市営墓地永代使用料）	460 万円
市の負担額	752 万円

斎場の維持管理　4,949 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

４斎場（福野・福光・上平・利賀）の運営管理をしています。今年度は福野斎場の火葬炉台車などの補修工事を予定しています。

斎場管理業務委託料	2,237万円
その他委託料	885万円
維持管理経費	1,603万円
火葬炉修繕工事費	224万円

火葬件数(平成22年度)　７２５件

財源

その他（斎場・霊柩車使用料等）	1,973 万円
市の負担額	2,976 万円

ごみ処理費　5億77 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

一般家庭から排出されるごみの収集、運搬業務や広域圏で運営されているごみ処理施設の経費です。可燃ごみは、クリーンセンターとなみ管内（井波、福野、利賀地域）では焼却し、南砺リサイクルセンター管内（城端、福光、平、上平、井口地域）では固形燃料にしてボイラーの燃料として再利用されています。

不燃ごみは、リサイクルするために分別し、資源ごみは専門業者に売却するなどごみの減量化を図っています。環境にやさしいきれいなまちづくりにより一層のご協力をお願いいたします。

ごみ袋代	1,106万円
ごみ袋取扱手数料	1,270万円
ごみ収集委託料	1億7,019万円
クリーンセンターとなみ分担金	1億1,645万円
南砺リサイクルセンター分担金	1億8,946万円
事務費	91万円

※南砺リサイクルセンター管内の一般家庭から排出される可燃ごみは、１０月１日から富山地区広域圏クリーンセンターで処理することになるため、ごみの分別方法が変わります。

財源

その他（ごみ袋販売手数料等）	4,130 万円
市の負担額	4億5,947 万円

資源回収奨励金　916 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

一般廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図るため、町内会や地区などの団体で集団的に資源回収を行い、回収業者に引き渡した団体に対し奨励金を交付します。

資源集団回収奨励金　916万円

・対象となる団体

南砺市内において、住民の組織する営利を目的としない団体で、年2回以上の資源回収に取り組むことができる団体

・奨励金の額

新聞・紙パック・布類	⇒5円/kg
金属類(アルミ缶・小型家電)	⇒5円/kg
ダンボール	⇒7円/kg
雑誌	⇒10円/kg
天ぷら油	⇒20円/ℓ

(平、上平、利賀地域の天ぷら油以外の奨励金単価は、各品目3円増しとなります。)

・登録について

資源回収奨励金の交付を希望される団体は、年1回団体登録が必要です。

生ごみ処理機購入助成金　67 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

家庭から出される生ごみの減量と資源化の促進、ごみ処理意識の高揚を図るため、生ごみ処理機を購入された世帯に補助金を交付しています。

生ごみ処理機購入補助金　67万円

〇補助を受けられる方
・南砺市内に住所を有し、生ごみの減量を実施できる世帯(事業所は除きます)
・市税を完納している世帯
・処理機を他人に貸与、譲渡、又は売却しないこと

〇補助の内容
補助率は購入価格の1/2で、補助金額の上限は次のとおりです。

密閉式	埋込式	電動式
3,000円	5,000円	25,000円

砺波地方衛生施設組合分担金　1億6,738 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

広域で整備された処理施設の運転及び維持管理に係る経常費及び建設分担金です。

市内から収集されたし尿、浄化槽汚泥は、砺波地方衛生施設組合（構成市　南砺市、砺波市、小矢部市、高岡市）で運営する「クリーンシステムとなみ」に持ち込まれ、水分は臭いや細菌の無い清澄な処理水として適性に処理されてから放流され、脱水された汚泥は発酵させて堆肥として有効利用しています。

経常費分担金（運営費）　4,694万円
建設費分担金（借入償還金）　1億2,044万円

環境調査費　337 万円

（担当：井波庁舎　住民環境課　問合せ先　23－2035）

豊かな南砺市の自然環境を守り、未来に引き継ぐため、市内の様々な環境（水質、大気、臭気、土壌等）の状況について調査測定をするものです。

飲料水理化学検査手数料　43万円
河川等水質調査業務委託　86万円
・河川11箇所、工場排水4箇所、沼湖3箇所
臭気調査　29万円
ダイオキシン類等測定業務委託　130万円
その他委託料等　49万円

環境基本計画策定　314 万円

（ 担当:井波庁舎　住民環境課　 問合せ先　23－2035）

良好な環境の保全と創造に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するため、長期的な展望にたって目指すべき環境像と環境保全に向けた取り組みを示す環境基本計画を策定します。

環境審議会委員報酬　24万円
環境基本計画策定業務委託料　290万円

住宅用太陽光発電設置事業補助金　450 万円

（ 担当:井波庁舎　住民環境課　 問合せ先　23－2035）

地球温暖化防止に対する意識を高めていただくために、家庭で住宅用太陽光発電システムを設置した方に対して、設置費用の一部を補助します。

住宅用太陽光発電設置事業補助金　450万円

〇補助を受けられる方
・市内の自ら居住する住宅に、発電容量が2kw以上の太陽光発電システムを設置し電力会社と系統に関する契約を締結された方
・市税を完納している方

〇補助の内容
補助額は1件当たり5万円です。

〇申請に必要なもの
・設置したシステムを記載したカタログなど
・工事契約書及び領収書の写し
・電力会社との系統連系及び電力供給に関する確認書の写し
・発電システムの設置後の写真
・住民票(原本)　など
・住宅付近地図
※市以外にも、国は1kwあたり4万8千円、県は1件あたり5万円の補助金交付制度があります。

農業委員会費　910 万円

（担当：城端庁舎　農業委員会　問合せ先　23－2020）

農地法の許可申請や農地に関する相談業務を行います。

農業者年金事務を行います。

○農業委員会費　798 万円

○農業者年金事務費　8 万円

○農地制度実施円滑化事業費　104 万円

財源

国県支出金	574 万円
市の負担額	336 万円

農業振興対策　2,413 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

農業の振興に係る各組織・団体への活動支援や、土地利用及び地域振興作物への支援を行います。

○農業振興に係る負担金・補助金　237 万円

○農地再生活性化対策補助金　300 万円

補助額　組織30,000/箇所：10,000円/10a

○営農指導事業補助金　156 万円

○麦・大豆等振興事業補助金　720 万円

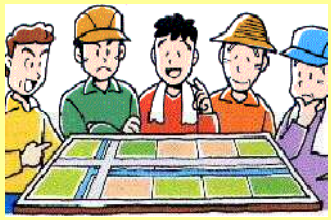
補助額　大豆・球根＋地力増進作物 3,000円/10a

○園芸作物等特産振興事業補助金　1,000 万円

補助額　野菜・花き　8,000円/10a

果樹　16,000円/10a

担い手加算　5,000円/10a



財源

国県支出金	1,798 万円
市の負担額	615 万円

農地流動化推進費　2,200 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

農地を担い手（認定農業者等）に集積し、経営効率を上げ、低コスト化により、農業経営の安定を図るものです。

そのため、農地利用集積円滑化団体等を介して、新たに6年以上利用集積された農地に対して支援を行う制度です。

(県単事業)

○利用集積支援事業

個人経営：21haまで（30a以上）

10,000円/10a当たり　100 万円

法人経営：42haまで

10,000円/10a当たり（30a以上）　100 万円

(国庫事業)

○規模拡大助成

農地利用集積円滑化団体が、所有者からの委任を受けて、意欲のある農業者へ貸付する事業です。

（自作地を含め、１ha以上の面的集積が必要です。）

20,000円/10a当たり　2,000 万円

※規模拡大助成は国から直接農家に支払われます。

財源

国県支出金	2,100 万円
市の負担額	100 万円

集落営農・担い手育成事業　1,353 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

農業の新規就農者や営農組織や認定農業者等の育成・確保に係る方への支援を実施します。

○新規就農支援　96 万円

就農支援資金償還助成

○集落営農・認定農業者等機械等支援　980 万円

富山ブランド米条件整備事業

生産調整担い手推進事業

水田農業生産振興対策推進事業

経営体育成交付金事業

○法人化支援（推進費助成）　80 万円

集落営農の法人化支援事業

○農業経営基盤強化資金利子助成　167 万円

○農業経営短期融資利子助成　30 万円

財源

国県支出金	928 万円
市の負担額	425 万円

米消費拡大・地産地消費対策　237 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

米の消費減少の中で、今後とも安全・安心な良質米をはじめとした農産物の総合的な需要拡大推進事業を実施します。

○元気とふれあいの学校給食づくり事業
　地場産品の普及,食材の理解を深める　160 万円
○とやま食材ふれあい講座事業
　子どもたちへの食育推進　30 万円
○学校給食米粉食品利用助成事業
　学校給食への米粉食品の普及　5 万円
○米消費拡大事業
　都市消費地への地元産品の普及推進　42 万円

学校での田植え

食材ふれあい講座

財源

国県支出金	95 万円
市の負担額	142 万円

鳥獣被害防止対策事業　884 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

近年、イノシシをはじめとする鳥獣害の農作物被害が拡大しています。

南砺市では平成21年に鳥獣被害防止対策協議会を設立し、有害鳥獣の捕獲をはじめ、捕獲の担い手となる人材育成や、箱わな、電気柵設置支援、各種講習会を開催しています。

○電気柵の設置支援　356 万円
※自治会において電気柵を設置する場合、１５%の負担が必要です。
○専門職員の設置　463 万円
○鳥獣被害対策協議会運営費補助　28 万円
※上記は市費のみで、別に国県費分は鳥獣被害防止対策協議会へ直接支払いがあります。
○有害駆除隊員への捕獲技術向上支援　27 万円

捕獲したイノシシ

電気柵

「みんなで農作業の日」ｉｎ五箇山事業　81 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

都市との交流を深めるため、また耕作放棄地対策として、「みんなで農作業の日」in五箇山事業を展開しています。利賀地域では「そば」の種まきから刈り取り、そば打ち体験が味わえる「そばオーナー事業」を、平地域では、世界遺産の相倉合掌造り集落内での「棚田オーナー事業」、上平地域では、特産の「赤かぶ」の栽培を体験できる「赤かぶオーナー事業」を展開し、五箇山地域の農業体験を切り口にこれからも都市住民との交流を深めてまいります。

合掌集落内での田植えの様子

県特産物振興対策事業　609 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

県産園芸作物の生産を拡大を図るため、新たな担い手の育成・確保や、産地間競争に耐えうる生産基盤の強化、県産野菜の生産拡大を促進するための支援を行います。

○とやまの園芸ブランド産地強化事業　517 万円
○チューリップ球根産地活性化対策事業　92 万円

チューリップ

財源

国県支出金	406 万円
市の負担額	203 万円

なんとの農産加工ブランド品認定制度　170 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

市の特色ある農産加工食品を「なんとの農産加工ブランド品」として認定することで、消費者の評価向上及び需要拡大を図り、市の農業及び食品産業の振興に資することを目的としています。

制度実施費	94 万円
なんとの農産加工ブランド育成事業	76 万円

認定マーク

市単独特産物振興対策事業　248 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

多様化した消費者ニーズに即応した産地づくりや、地域の特色を活かした新規作物、南砺市ブランドの育成に対して支援をします。

○新規特産ブランド開拓支援事業	40 万円
○地域特産飛躍支援事業	10 万円
○地域特産ブランド化推進支援事業	50 万円
○地域農産加工食品開発支援事業	20 万円
○地域振興連動事業	87 万円
・赤かぶ	
・そば	
○花卉球根原種導入支援事業	41 万円
・チューリップ球根	
・ユリ球根	

赤かぶ

都市農村交流対策費　290 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

地域活性化のため、南砺市の自然、農業体験等を通じて都市農村交流や都市住民の定住化を推進します。

○とやま都市農村交流化支援事業　260 万円

都市農村交流を推進するため、山村の伝承食を体験できる講座、自然と共生する暮らしを学ぶ塾等を開催します。（実施地域：利賀村中央・豆谷地域）

○とやま帰農塾推進事業　30 万円

田舎暮らし体験事業「とやま帰農塾」を南砺市で開催し、都市農村交流を通じた就農・定着を推進します。

とやま「帰農塾」

財源

国県支出金	130 万円
市の負担額	160 万円

自遊の森管理費　1,180 万円

（担当：城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

桜ヶ池の周辺には、公園、展望台等施設があり、その中核をなす宿泊施設「自遊の森」の管理を行うものです。

桜ケ池農産物直売所の公衆トイレの管理を行うもの。

○自遊の森指定管理料（トナミグリーン・富山岸グリーンサービス企業体）	1,070 万円
○農産物直売所指定管理料（株式会社リーフ）	110 万円

桜ヶ池

中山間地域対策事業　3,654 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

五箇山地域の耕作放棄地対策を目的として、農業公社を担い手と位置づけ、農作業の集約化を図るために、計画的な大型機械等の導入・更新について支援を行います。

○農業用機械整備事業　3,654 万円
（コンバイン、トラクター、軽四トラックなど）

中山間地の農作業

財源

起債	3,280 万円
市の負担額	374 万円

中山間地域等直接支払　1億5,949 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

中山間地域は耕作不利な条件から、農業生産性が低い状態となっています。しかしながら農業生産、自然環境保全、保健休養、景観など、多面的機能を有している重要な地域です。

そのために、5年間以上この地域において、農業経営を行う農業者の所得の一部を補償することを目的として、交付金を支払う制度です。

基礎交付金	1億5,582 万円
土地利用調整加算	27 万円
小規模・高齢化集落支援加算	198 万円
市事務費	142 万円

基礎交付金単価

	急傾斜	緩傾斜
田	21.0	8.0
畑	11.5	3.5

（単位：円/㎡）

財源

国県支出金	1億1,926 万円
市の負担額	4,023 万円

農地・水保全管理支払交付金　5,652 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

農業・農村の基盤となる農業用水等の資源の保全を図ることと、農業が有する自然循環機能を維持・増進することが必要です。

そのために、地域の共同活動による農業用水路等の保全管理活動及び、老朽化が進んでいる農業用水路等の長寿命化のための補修等の活動に、交付金を支払う制度です。

共同活動支援	4,537 万円
向上活動（長寿命化）支援	958 万円
協議会事務費	86 万円
事務費	71 万円

※上記は市費のみで、別に国県費分は協議会から直接支払いがあります。

単価

	共同活動	長寿命化
田	4.4	4.4
畑	2.8	2.0

（単位：円/㎡）

※5年経過地区は上記単価の75%が上限

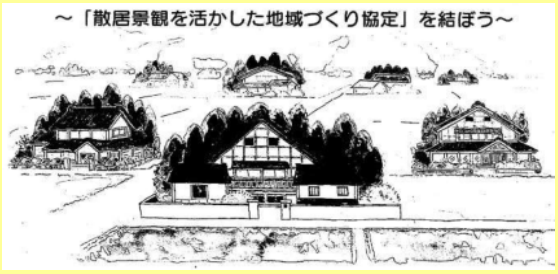
散居景観保全事業費　306 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23－2016）

散居景観をつくる屋敷林は、防風林として生活のなかで生かされていましたが、人々の意識や生活習慣の変化により伐採や過度の枝打ちで減少してきております。

そのために、散居での暮らしに誇りを持ち、この景観を次世代に伝えるため、「地域づくり協定」を結ばれた地区に対して、屋敷林を管理・保全するための、伐採・枝打ちの経費の一部を補助します。

補助額
経費の１／２又は１５万円のうち、少ない額



財源

国県支出金	153 万円
市の負担額	153 万円

県営ほ場整備事業負担金　1,540 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23-2016）

県が農家に代わって、ほ場の大区画化、農道の整備、用水路、排水路の整備などを総合的に実施するものです。市では、農家の負担金を軽減するために一部負担金を拠出しています。

（事業費）

北山田中部東地区　8,000万円
北山田中部西地区　6,000万円

財源

起債	1,460 万円
市の負担額	80 万円

土地改良区償還金補助金　454 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23-2016）

土地改良区が施行する農業農村基盤整備（ほ場整備、用排水路整備等）事業の多くは、金融機関からの融資を受けて施行しています。整備完成後の金融機関への借入金の償還は、農家から負担金を徴収しながらおこなっています。この補助金は、市が農家の負担金を軽減するために一部補助金を交付するものです。

（福光地域）

県営農地開発事業南蟹谷地区　454万円

地域用水環境整備事業　1,345 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23-2016）

土地改良施設等の維持管理費の節減やポンプ場から出る二酸化炭素の排出節減を図ることを目的として、既存の農業水利施設を利用した小水力発電施設の整備を行う事業です。小矢部市と南砺市では、地元の負担金を軽減するために一部負担金を拠出しています。

（事業費）

山田新田地区　1億5,000万円

財源

起債	1,270 万円
市の負担額	75 万円

県単土地改良事業負担金　1,443 万円

（担当:城端庁舎　農政課　問合せ先　23-2016）

この事業は、公共（国庫補助）事業の採択基準に適合しない末端小規模な土地改良施設の整備及びその周辺の整備を行うほか、無雪害農地を建設するための整備、市街地周辺の農業用用水路の整備、排水施設の正常な機能の維持と環境保全を目的とした整備、農村地域の水辺空間を活用した生活環境の整備などを行う事業です。市では、農家の負担金を軽減するために一部負担金を拠出しています。
※土地改良区のない五箇三村は、市が事務を請負っています。

地元負担率（農道、用排水路整備の場合）
- 平　地　40%
- 中山間地　30%

※事業メニューによって地元負担率が異なります。

事業費計	２４件	7,579万円
福光地域	９件	2,649万円
城端地域	３件	1,470万円
井波地域	３件	520万円
福野地域	２件	440万円
緊急予備費		2,500万円

環境保全型農業直接支援対策　416 万円

（ 担当:城端庁舎　農政課　 問合せ先　 23－2016）

地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献することが農業分野でも求められております。そのために化学肥料・農薬の５割以上の低減、緑肥のすき込み、有機農業等の環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者に交付金を支払う制度です。

環境保全型直接支払交付金	400 万円
事務費	16 万円

単価　4,000円/10a

※上記は市費のみで、別に同額国費分として、直接支払いがあります。

財源

国県支出金	215　万円
市の負担額	201　万円

南砺市小水力発電普及事業　710 万円

（ 担当:城端庁舎　農政課　 問合せ先　 23-2016）

南砺市には、全国でも有数な小水力資源が存在しています。中でも農業用排水路が豊富にあり、それを利用して新(再生)エネルギーを創出し、「家庭内の電気」や「防犯灯」などに供給して、「地域の資源で地域のエネルギーを補う」ことを目的に、「南砺市に見合う水車の開発研究」や「情報収集・制度研究」などを行っている機関に対して補助していく事業です。

南砺市利賀村上百瀬（南端養魚場内）発電実験

エコビレッジ推進費　200 万円

（ 担当:城端庁舎　農政課　 問合せ先　 23-2016）

国では、自律分散型の新（再生）エネルギーを活用し、「農産物の地産地消の促進」や「自然環境の活用」が検討されています。南砺市は、全国有数の豊富な小水力発電資源や世界遺産、散居村などの伝統文化、そして豊富な自然観光資源を有していることから下記のことを目標にエコビレッジ構想を立ち上げて、将来的には、市内各所で展開していく事を目標に調査・研究し、計画策定を行います。

１）新（再生）エネルギーの利活用と省エネ化の推進

２）新（再生）エネルギー関連技術・基盤づくりと産業と雇用の創出

３）第１次産業と観光産業の振興

４）里山資源の活用による地域活性化

林業振興対策費　1,445 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

林業に関係する業務を円滑に進めるために、林業関係団体、森林組合職員の育成のために補助をしています。

また、植樹活動を実施する企業やＮＰＯ団体を支援しています。さらに、今年度は、南砺市で第１３回とやま森の祭典が開催されるため、その実行委員会に対して助成します。

企業による植樹活動

- 第13回とやま森の祭典補助金　470万円
- 森林組合育成対策費補助金　385万円
- 各種団体負担金　455万円
- 事務費　135万円

昨年の森の祭典

ﾍﾟﾚｯﾄｽﾄｰﾌﾞ等設置事業　198 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

間伐材など、森林資源の有効利用のため、薪や木質ペレットを燃料として使用するストーブを設置する費用に対して、予算の範囲内において補助金を交付します。

また、ＰＲ用に城端庁舎2階に1台設置します。

〇補助金の対象
- ペレットストーブ等本体の購入、設置及び配管費用
- ひとつの建物につき１回のみ

〇補助金額
- 設置費用の2分の1以内（10万円を上限）

〇提出書類
- ペレットストーブ等設置事業補助金交付申請書
- 設置の内訳がわかる見積書の写し
- 購入ペレットストーブ等のカタログの写しなど
- 設置終了後、実績報告を提出して下さい。

ﾍﾟﾚｯﾄｽﾄｰﾌﾞ

木質ﾍﾟﾚｯﾄ

森林育成対策費　4,080 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

森林の持ついろいろな機能の維持・増進を図ることを目的とし、森林を計画的に整備するために、森林の境界を明確にし集約化を進めます。これにより効率的に造林公共事業等を実施するとともに、カシノナガキクイムシや松くい虫による森林病害虫被害の広がりを防止し、森林環境の保全と林業の活性化のために事業を進めています。

- 森林整備地域活動支援交付金事業　1,741万円
- 森林吸収源対策モデル事業　471万円
- 地域森林管理整備事業　45万円
- ｶｼﾉﾅｶﾞｷｸｲﾑｼ対策事業　104万円
- 松くい虫対策事業　171万円
- 公共造林事補助金　399万円
- 県単独森林整備事業　645千円
- 森林境界明確化支援事業補助金　504万円

森林整備地域活動確認

枝打ちをしたスギ

財源

国県支出金	2,691 万円
市の負担額	1,389 万円

南砺市の木利用促進事業　300 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

南砺市産木材の住宅等への利用を促進することにより、市内林業の活性化を図るため、市内で木造住宅を建築（新築、増築、又は改築）する場合に、南砺市産木材を使用する木材数量に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。

〇補助金の対象
- 木造住宅等に南砺市産木材を３㎥以上使用。
- 建築士が設計した建物。
- 一棟の木造建物等において１回のみ補助の対象。

〇補助金
- １㎥当り2万円を助成し、50万円を上限とします。

〇提出書類

申請時
- 南砺市の木利用促進事業補助金交付申請書
- 事業計画書
- 南砺市産木材伐採証明書など

完成後
- 建物が完成したら実績報告 などを提出してください。

この事業は、南砺市定住奨励金制度などとの併用も可能です。

市有林造成費　761 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

市有林の木を成長させるため、枯れた木を伐ったり、下草刈りをしたりして、市有林を管理しています。

また、市と木の収益を分配する契約をしている団体などに、木の売上金を分配しています。

利賀地域では、市有林において山菜採取をする場合、入山料金をもらい林道維持などの管理をしています。

- 公共造林事業山林所有者負担金　140万円
- 特産林道整備・利用規制業務　50万円
- 松枯損木伐倒処理費　135万円
- 重点分野雇用創造事業　412万円
- 伐採補償分収金　10万円
- 森林国営保険料　4万円
- 事務費　10万円

スギの木を伐採

財源

国県支出金	412 万円
その他（施設使用料）	71 万円
市の負担額	278 万円

里山再生整備事業費（水と緑の森づくり税）　2,379 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

○里山を再生させるために、広葉樹林や竹林を明るい里山林になるように整備し、地域住民が維持管理作業を行います。

- 里山再生整備事業　1,280万円
- 県民参加の森づくり事業　125万円

○台風や雪害によりスギが折れる被害を受けた森林や、整備がされていない過密人工林を伐採・整理するために調査をします。

- みどりの森再生推進事業　78万円

○ｶｼﾉﾅｶﾞｷｸｲﾑｼの被害にあい枯れてしまった木が、道路や住宅に倒れてこないように伐採します。

- ｶｼﾉﾅｶﾞｷｸｲﾑｼ枯損木除去事業　896万円

伐採後明るくなった竹林

住民による除伐

財源

国県支出金	2,378 万円
市の負担額	1 万円

森林総研造林事業費　949 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

森林総合研究所と南砺市の間で、４０地区の分収造林契約を締結し、森林を育てています。

また、この契約地において成長した木を伐採し販売して、売上金を森林総合研究所と南砺市で分配しています。

販売される搬出材

- 造林事業費　９３０万円
- 森林国営保険料　５万円
- 伐採収益分収金　８万円
- 富山県水源林造林協議会負担金　６万円

間伐をした人工林

財源

その他（受託収入）	948 万円
市の負担額	1 万円

林道整備事業負担金　1,615 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

富山県が事業主体で施工する利賀、平、上平地区の林道の開設及び改良事業で、事業費の１０％を市が負担し、各路線を継続で実施しています。森林施業の効率化、林業従事者の就業環境の改善等を図ることを目的としています。

〈主な事業〉

林道開設工事負担金　1,615万円

- 利賀　ふれあいの森線
- 平　高成１号線
- 上平　高成２号線

財源

起債	1,610 万円
市の負担額	5 万円

林道維持費　5,427 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

市が管理する林道沿線の草刈りや既設舗装の補修、山開きや登山・観光シーズン前の春山除雪、法面崩壊による崩土除去や、路肩修繕等を実施し、森林施業の効率化、観光地へのアクセスや緊急時の迂回路に利用するため、通行の安全確保を図ります。

草刈り作業

地元要望修繕工事

〈主な事業〉

- 林道崩土除去
- 春山除雪
- 幹線草刈り　140 km　（委託等）
- 管理道草刈り　148 km　（委託等）
- 小規模林道草刈り　63 km　（地元等）
- 林道修繕工事（舗装補修等）
- 林道維持用原材料支給
- 市民要望実現工事

財源

その他（合併まちづくり基金）	2,000 万円
市の負担額	3,427 万円

団体営林道整備事業　1億5,550 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

採択条件から国・県補助対象となる事業で、地域森林計画に位置付けられた路線の開設及び改良等の事業です。森林施業の効率化、林業従事者の就業環境の改善等を図ることを目的としています。

林業専用道・細島線開設

〈主な事業〉

林道

- 高草嶺線開設工事
- 尾洞山線開設工事
- 祖山大明神線開設工事
- 高清水線舗装工事

林業専用道

- 細島線開設工事

財源

国県支出金	1億　750 万円
起債	4,450 万円
市の負担額	350 万円

山のみち地域づくり交付金林道費　482 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

旧緑資源公団から富山県が引き継いだ幹線林道上平福光線の福光工区を改良する事業で、事業費の５％を市が負担し継続で実施してきましたが、H24年度（含繰越）で一旦完了となります。大平線（刀利ダムから）と城福線が接続され、森林施業の効率化、林業従事者の就業環境の改善等を図ることを目的としています。

〈主な事業〉

工事負担金

上平福光線　福光工区

財源

国県支出金	39 万円
起債	400 万円
市の負担額	43 万円

県単治山費　1,127 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

規模の大きい治山事業は県が事業主体で施工しますが、小規模なものについては、市が県の補助を受けて実施します。

蓑谷蝋山山腹工事

〈主な事業〉

- 蓑谷蝋山山腹工事
- 大崩島吉谷山腹工事

財源

国県支出金	500 万円
起債	440 万円
その他（地元負担額）	30 万円
市の負担額	157 万円

県単林道整備事業　3,450 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

採択要件が国・県補助対象事業にならない小規模な開設及び改良等の事業を、市が県の補助を受けて実施するものです。森林施業の効率化、林業従事者の就業環境の改善を図ることを目的としています。

樋瀬戸線舗装

〈主な事業〉
- 樋瀬戸線舗装工事
- 奥孫線改良工事
- 丸山線改良工事
- 小二又線改良工事
- 袴腰線改良工事
- ホラの谷線改良工事
- 吉見線改良工事

財源

国県支出金	1,700 万円
起債	1,610 万円
市の負担額	140 万円

自然保護費　2,459 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

国・県立自然公園のトイレ等、施設の維持管理や遊歩道の草刈り等を委託しています。また、クマ・イノシシ・カラス等の有害鳥獣捕獲に要する費用です。

医王山三千坊展望台補修

イノシシわなによる捕獲

〈主な経費〉

医王山展望台外整備工事費	310 万円
公園施設等管理費	620 万円
特定外来生物調査・除去	1,060 万円
有害鳥獣捕獲関係費	469 万円
内訳 ・有害鳥獣捕獲隊活動補助	150 万円
内訳 ・イノシシ捕獲報奨金	120 万円
内訳 ・捕獲隊傷害保険料	77 万円
内訳 ・狩猟免許試験手数料補助	5 万円
内訳 ・事務費	117 万円

財源

国県支出金	1,598 万円
その他（地元負担額）	21 万円
市の負担額	840 万円

地籍調査費　9,332 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

登記所にある地図は明治初期につくられたものが多く、測量の精度が低く現地と大きく食い違っているものがたくさんあります。

地籍調査により、地球上の座標値と結びつけた一筆ごとの正確な測量を行い、その成果に基づき登記所にある登記簿と地図を書き改めます。

〈地籍調査のメリット・利活用〉
◎災害で現地が変化しても、あなたの土地の境界を復元できます。
◎土地の境界に関するトラブルが減ります。
◎地理情報システム（ＧＩＳ）の基盤図として利用され、固定資産管理、農家台帳管理などの行政業務に活用されます。

〈主な経費〉

地籍調査等業務委託料	8,954万円
筆界杭等購入費	173万円
事務支援システムリース料	94万円
事務費	111万円

財源

国県支出金	6,950 万円
その他（手数料）	1 万円
市の負担額	2,381 万円

緑化推進費　1,445 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

花と緑の銀行南砺支店への事業支援をし、市内に花と緑を普及するため、補助するものです。

- 花と緑の銀行南砺支店活動推進事業　1,242万円
- 出生記念樹配布　34万円
- 花とみどりの少年団補助金　57万円
- 花と緑のフェスティバル補助金　85万円
- 関係団体補助金・負担金　27万円

花の道

財源

その他（銀行交付金）	618 万円
市の負担額	827 万円

園芸植物園管理運営費　3,542 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

キクなどの四季折々の植物の情報を発信し、市民の生活の中に花文化を取り入れ、訪れる人が身近に楽しめることを目的とする園芸植物園の管理を行うものです。

また、スプレー菊の品種改良に取り組むと共に、各種園芸講座も開催しています。

- 園芸植物園施設管理　2,423 万円
- 樹木管理　288 万円
- 栽培・育成作業　688 万円
- 企画展　24 万円
- 園芸講座　119 万円

スプレー菊品種選抜

財源

その他（生産品販売代外）	527 万円
市の負担額	3,015 万円

ｶｲﾆｮと椿の森管理費　2,168 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

いのくち椿館と併設の原種椿園・育成温室及びつばきの園の管理運営費です。

いのくち椿館は原種椿を80種以上植栽する国内随一の施設です。平成24年度は、その原種椿を集約した図鑑を発行する予定です。

- ｶｲﾆｮと椿の森施設管理　1,608 万円
- 芝生・樹木管理　180 万円
- 栽培・育成作業　282 万円
- 椿、花づくり講座　24 万円
- 原種椿の図鑑印刷　74 万円

いのくち椿館

財源

その他（使用料）	85 万円
市の負担額	2,083 万円

花いっぱいのまちづくり事業　299 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

市内の道路、駅前、商店街などに花を植え、訪れる人をいっぱいの花で出迎えるために「花いっぱいのまちづくり事業」に取り組むものです。

- 福野駅前ハンギングバスケット設置　67万円
- 福光駅前苗植替え、ハンギングバスケット設置　26万円
- 国道304号線福光ＩＣ付近芝桜植栽　30万円
- 城端ハイウェイオアシス花いっぱい　50万円
- 城端駅前ハンギングバスケット設置　55万円
- 福野街中プランター花苗配布　25万円
- 南砺市８庁舎ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ、ﾌﾟﾗﾝﾀｰ設置　46万円

福野駅前ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ

林間施設管理費　162 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

市内にある、小谷川森林公園(下出)・利賀ふれあいの森(坂上)など、森林の中での体験や木を利用した活動のできるフィールドを管理しています。

- 小谷川森林公園管理料　27万円
- 利賀ふれあいの森管理料　21万円
- 利賀ふれあいの森歩道修繕　90万円
- 林間施設土地賃借料　24万円

小谷川森林公園

緑地広場等管理費　169 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

福野地域にある安居緑地広場を、気持ちよく利用していただくために、草刈や掃除、樹木や遊具の管理をしています。

安居緑地広場

- 緑地広場維持管理料　89万円
- 植栽管理料　80万円

林業構造改善費　3,208 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

山林から、間伐などで伐採したスギの木を効率よく搬出するための高性能林業機械の購入に補助を出しています。

- 高性能林業機械等整備補助金
  （富山県西部森林組合）　3,184万円
- 林構施設土地賃借料　24万円

ﾌｫﾜｰﾀﾞによる搬出

ﾌﾟﾛｾｯｻｰによる伐倒・枝払い

財源

国県支出金	2,943 万円
その他（施設使用料）	65 万円
市の負担額	200 万円

利賀ふるさとの森林指定管理料　367 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

利賀ふるさとの森林の指定管理者『富山県西部森林組合』への委託料です。

めんめん館では、そうめんやうどんを生産しており、手打ちうどん作りなどの体験ができます。

また、やまびこ工房では木工体験ができ、周辺には、そば畑やきのこ園があり、散策もできます。

木工体験

うどん作り体験

めんめん館

つくばね森林公園指定管理料　391 万円

（担当：城端庁舎　林政課　問合せ先　23-2033）

つくばね森林公園の指定管理者『つくばね森林公園管理組合』への委託料です。

ここは、眼下に広がる散居村の景観や水芭蕉の群生地、夫婦滝といった見どころに囲まれており、市内から３０分ほどで行ける、本格的なウッディライフが体験できる場所です。

近くには、高落場山、高清水山、ブナの原生林もあり、登山やトレッキングの休憩地点として最適です。

シイタケの植菌体験

ｺﾃｰｼﾞ

商工会補助金　5,890 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

商工業の振興と地域経済の安定を目的に指導的役割を担う商工会に対して、経営改善普及事業や地域総合振興事業、商工会管理運営経費の一部を補助します。

主な事業

○経営改善普及事業　4,120万円

商工会が行う小規模事業者の技術改善等の指導事業等に要する経費の一部を補助。

○地域総合振興事業　1,770万円

商工会が行う商工業の振興及び安定を図るための事業に要する経費の一部を補助。

福野のごっつお里いもまつり

中小企業融資制度等　7億7,800 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

市内の中小企業者に必要な事業資金について指定金融機関と協調融資を行うと共に、保証料の助成を行い、商工業の振興や地域経済の活性化を推進します。

主な事業

○中小企業振興保証料助成　2,620万円

市内中小企業者が、市の融資制度等を利用した場合に信用保証料の一部を助成します。

○マル経融資利子補給金　280万円

市内小規模事業者が経営改善資金としてマル経融資制度を利用した場合の利子の一部を助成。

○県小口事業資金、中小企業融資資金等預託金　7億,700万円

市内の中小企業者の必要な事業資金について、市融資制度を利用する場合に指定金融機関と協調融資（指定金融機関が、自己資金に市の預託金を合わせて融資）を行い、有利な融資制度を推進します。

○勤労者融資対策費　4,200万円

市内の勤労者の必要な資金について、北陸労働金庫等と協調融資を行います。

財源

その他（元利収入）	7億4,922 万円
市の負担額	2,878 万円

商工施設管理委託料　5,454 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

市の商工関連施設について、指定管理制度により管理委託を実施します。

主な施設

- 福光会館（ふくみつ光房）　７６８万円
- 井波彫刻伝統産業会館　２０４万円
  （南砺市シルバー人材センター）
- 井波彫刻総合会館　1,６２０万円
  （井波彫刻協同組合）
- 五箇山和紙工芸研究館　９６０万円
  （五箇山和紙工芸研究協会）
- 起業家支援センター(NPO創藝)　３９７万円
- 城端織物会館「織館」　８６０万円
  （南砺市商工会）
- 井波物産展示館　９５万円
  （南砺市観光協会井波支部）
- 井波商業観光施設「よいとこ井波」
  （まちづくり井波）　５５０万円

城端織物会館「織館」

井波商業観光施設「よいとこ井波」

雇用支援事業　3,660 万円

（担当：城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

【震災等緊急雇用対応事業】

東日本大震災等の影響による失業者について次の雇用までの短期雇用・就業機会のを創出、又は地域の企業等で就業するために必要な知識・技術を習得させ、市内企業の雇用の確保に努める交付金事業。再就職者の人件費や研修費等を企業に委託費として支援します。

○南砺市企業等人材育成事業　３，２６０万円

【就活・雇用促進事業】

市内企業等の優秀な人材確保やU・Iターン者等の増加を促進する目的で、市内の中小企業等に対して、企業採用情報掲載サイト登録料等の一部支援やサイト登録した学生に企業情報や合同説明会等の情報提供に係る経費の一部を支援。

○就活・雇用促進事業　４００万円

財源

国県補助金	3,260万円
市の負担額	400万円

空き店舗対策・起業家育成支援事業　1,430 万円

（担当:城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

【空き店舗対策支援事業】　1,200万円

都市計画法に規定する商業地域又は近隣商業地域に指定された地域内において、空き店舗等を活用し中心商店街の活性化を図る事業について支援します。

主な事業

○空き店舗等改装事業

商店街組合等の団体や個人が空き店舗を購入又は、賃貸借した場合で、店舗を改装する場合の経費の一部を支援します。（補助率；1/2以内　限度額；団体300万円、個人200万円）

○空き店舗等借上事業

商店街組合等の団体や個人が事業をするため空き店舗を賃貸借する場合の借上料の一部を支援します。（補助率；1/2以内　限度額；2.5万円/月（3年以内））

○店舗誘致事業

商店街組合等が空き店舗入居希望者を誘致し、商店街の活性化を推進した場合に奨励金を交付します。（限度額；10万円　1団体　1回/年）

【起業家育成支援事業】　230万円

市内で新規に事業を始めようとする起業家に対して、事業所等の開設費用等の必要な経費の一部を支援します。

○事業所等開設事業

事業所・設備購入費、改修費（ただし、50万円以上）（補助率；1/2以内　限度額；200万円）

○事業所等借上事業

事業所等の賃借料（補助率；1/2以内　限度額；2.5万円/月（3年以内））

○販売促進事業

広告宣伝等費用　（補助率；1/2以内　限度額；40万円）

井波地域　八日町通り

がんばる商店街支援事業　170 万円

（担当:城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

商店街を活性化するための創意と工夫を凝らした取組みに必要な経費を補助するものであり、県と連携して支援します。

主な事業

○商店街レシートでサポート事業　84万円

市内の商店街で買い物した場合のポイントを基に、事前に登録された青少年スポーツ団体等に寄付金として贈呈し、活動費等を支援します。

○その他事業　86万円

（補助率；県・市　1/3以内）

商店街レシートでサポート事業

元気なまちづくり関連事業　511 万円

（担当:城端庁舎　商工課　問合せ先　23-2018）

元気で活力ある南砺市を目指すための施策である「なんと元気なまちづくり事業」のうち商工業関連の事業について支援します。

主な事業

○買物弱者対策支援モデル事業　311万円

五箇山地域をモデル地域として、高齢者等の買物弱者の日常生活に必要な買物等について事業参加地元商店と宅配業者の協力により、買物代行宅配サービスを実施し、その経費の一部を支援します。

○ブライダル商品開発支援事業　100万円

市内で利用されるブライダル商品等について、南砺市の地域資源等を活用した商品開発や新企画等について調査し、事業化を推進します。

○ビジネスマッチング等出展補助事業　100万円

市内中小企業者が、展示会や見本市、商談会等に出展する場合の会場費等を支援します。

（補助率；1/2以内　限度額；10万円）

展示会の様子

企業立地基本構想策定業務　90 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　問合せ先　23-2017）

福光インターチェンジ周辺における企業の立地環境整備について、既存立地企業の今後の事業展開や、インターチェンジ周辺における諸条件の資料収集と現況分析を行い、企業誘致を推進する候補地を抽出するとともに、誘致に向けた課題や取組み工程等の基本構想を策定する。

福光IC周辺企業立地基本構想策定業務委託料　９０万円

企業立地推進事業　3,680 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　問合せ先　23-2017）

スマートインターチェンジの新設や北陸新幹線の開業など、交通の利便性の向上と災害の少ない地域性をアピールしながら、積極的な企業誘致活動を行っていきます。

また、企業が求める光ファイバーなどの超高速ネットワークの整備促進を図っていきます。

・企業立地PR用DVD制作業務委託料　１６０万円

・とやま企業立地セミナー開催経費負担金　２０万円

・光ファイバー通信網整備負担金　3,５００万円

とやま企業立地セミナー会場

企業立地奨励事業等助成金　1億2,410 万円

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　問合せ先　23-2017）

地域産業の振興及び雇用機会の拡大を図っていくことを目的として、工場等を新規立地又は増設した場合に、南砺市企業立地振興条例に基づき助成します。

○企業立地奨励事業助成金　　９,５７５万円

工場等の立地のため、用地・建物・設備を取得した場合に助成が受けられます。

・対象業種　製造業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、情報提供サービス業、デザイン業
　インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業など
・助成割合　新規立地の場合：投下固定資産額の　７．５％
　増設の場合　　：投下固定資産額の　５．０％

○物流業務施設立地奨励事業助成金　２,４８５万円

倉庫、配送センターなど物流業務施設の立地のため、用地・建物・設備を取得した場合に助成が受けられます。

・対象業種　製造業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業、小売業
・助成割合　新規立地の場合：投下固定資産額の　５．０％
　増設の場合　　：投下固定資産額の　２．５％

○雇用創出事業助成金　　３５０万円

新規立地又は増設に伴って、南砺市民を新規雇用した場合に、一人につき２０万円の助成金が受けられます。

財源

国県支出金	3,040万円
市の負担額	9,370万円

※企業立地奨励事業助成金及び物流業務施設立地奨励事業助成金の新規立地の場合の助成割合と、雇用創出事業助成金の額は、条例及び規則の改正により平成２４年４月以降に操業を開始した工場等が対象となり、それより前に操業を開始した工場等は、従前の割合と額になります。

カターレ富山「南砺の日」事業　70 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

Ｊリーグ・カターレ富山のホームゲームの１試合を「南砺の日」として、南砺市から応援バスを運行し、カターレ富山を応援します。また、会場では南砺市の特産品販売や観光ＰＲを行い、南砺市への誘客を図ります。

カターレ富山南砺の日負担金　　７０万円

テレビ・ラジオ放送企画負担金　263 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市の観光スポットや最新の話題をはじめ、歴史や伝統文化、そこに携わる人々などを紹介する特別番組を制作し、県内外に南砺市を広く紹介します。

番組企画制作放送負担金　　263万円

PRアニメを活用した南砺市のイメージアップ事業　2,000 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

南砺市は「アニメの聖地」として注目されており、市をPRするオリジナルアニメーションを制作・活用します。市内限定の配信と、国内外の広いエリアへの配信を合わせて展開することにより、南砺市のイメージアップと誘客を進めます。

PRアニメーション製作委託料　　2,000万円

ディスカバー・ジャパン特集企画掲載負担金　430 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

日本の魅力、地域の魅力を再発見する雑誌「ディスカバー・ジャパン」に、ガイドブックには載らない、ありのままの南砺市を掲載します。普段どおりの何気ない南砺の風景・食・人を紹介することで、新しい旅の情報を求める本物志向の方をターゲットに誘客を図ります。

「ディスカバー・ジャパン」企画掲載負担金
４３０万円

富山市・南砺市・立山町シティプロモーション事業負担金　100 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

富山市・南砺市・立山町の３市町が連携して、東京で開催され注目を集めている「丸の内朝大学」を誘致します。地域振興をテーマに、東京側と富山側で講座を開講し、首都圏の若者の視点による地域起こしの提案や富山ファンの形成、地域資源（人・地域）の磨き上げを推進します。

シティプロモーション事業負担金　　１００万円

観光協会補助金　6,810 万円

（担当：城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

南砺市観光協会は、マーケティングやプロモーションによる誘客、旅行商品の開発、受け入れ態勢の強化など、南砺市の戦略的な観光振興を進めるため、平成２２年４月に市内の６協会が合併して一本化しました。民間団体として、スピード感と柔軟性を活かした事業展開を目指します。

事務局費　　４,１８５万円
事業費　　２,６２５万円
・南砺ブランド向上
・観光客誘客促進　　など

南砺里山博補助金　500 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

～古き良きニッポン　里山文化まるごと体験～をテーマに、南砺市全体を屋根のない博覧会場に見立てて、南砺の魅力ある自然、文化、産業資源を再発見、再構築、再整備し、中長期的な視点から育て、熟成させていく継続的なまちづくり事業です。

南砺里山博補助金　５００万円

イベント開催補助金　7,005 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市には、歴史と伝統のある祭りや個性と魅力にあふれたイベントが多数あります。これらを観光誘客や地域振興につなげるため、主催団体に補助金を交付して支援しています。

城端むぎや祭補助金	1,330万円
福光ねつおくり七夕祭り補助金	1,140万円
南砺菊まつり補助金	980万円
南砺利賀そば祭り補助金	870万円
南砺いのくち椿まつり補助金	510万円
四季の五箇山ほか12事業補助金	2,175万円

ふくみつ雪あかり

いなみ太子伝観光祭

歴史と文化が薫るまちづくり補助金　730 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

善徳寺を中心として栄えた城端は、歴史的な建物や路地、旧街道など寺内町（門前町）としての趣が残り、伝統芸能や伝統文化の保存活用も盛んに行われている地域です。また、商店街には、呉服店、和菓子店、履物店、和食処、仏壇店など、昔からの城端特有のお店が多くあります。この城端で「観光客を街中へ引き込む仕掛け」づくりを進め、多様なニーズに対応した幅広く深みのあるまちづくりを目指します。

事業費　７２５万円

携帯情報端末による案内システム構築

事務費　5万円

城端むぎや祭り

善徳寺

財源

国県支出金	375　万円
市の負担額	355　万円

なんとＢ級グルメ事業補助金　390 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

「なんとB級グルメ選手権」で決定したグランプリや上位入賞メニューを、一体感のある真の南砺のグルメ商品として市内外へ発信し、南砺市をPRしていくために、普及活動団体の育成や専門家によるメニューのブラッシュアップを行います。

なんとＢ級グルメ事業補助金　３９０万円

コンベンション支援事業　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

南砺市内の文化・体育施設の有効利用や宿泊施設の活用を目指すとともに、南砺市を訪れた方々に南砺市の魅力に触れていただき、交流人口を拡大し、南砺ファンやリピーターの確保につなげるため、南砺市を主会場に開催される学会、大会、会議、合宿等のコンベンションの経費の一部を助成します。

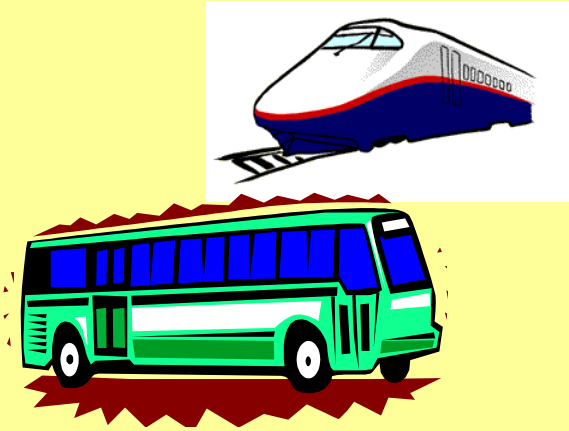
コンベンション支援補助金　３００万円

二次交通バス運行実証実験事業　708 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

平成２６年度の北陸新幹線開業を見据え、二次交通網の整備促進を図るため、金沢及び高山発着のツアーバスを実験運行します。また、高山と城端間を運行する２つの路線バスを１枚のきっぷで利用できる乗り継ぎきっぷを設定し、観光客のニーズを掘り起こし、動向を調査します。

バス運行実証実験事業負担金　６６８万円
路線バス乗り継ぎきっぷ事業負担金　４０万円



なんとツーリズムサポート事業　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

多様化する観光ニーズに幅広く柔軟に対応するため、民間のノウハウや機動性を活用します。南砺里山博を通じた着地型旅行商品の造成や、コンベンションの誘致など、観光協会や商工会等と連携して推進します。

なんとツーリズムサポート業務委託　300万円

城端線活性化協議会負担金　300 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

平成26年度の北陸新幹線開業を見据え、城端線沿線の自治体やＪＲ西日本が連携して、城端線の利便性向上や魅力アップ、周辺地域の情報発信を行い、新規利用者の増加や沿線地域の活性化を目指します。

協議会負担金　３００万円

なんと温泉ＰＲ事業　177 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市内に数多くある温泉と、食・ヘルス・スポーツ・産業観光等を連携した新たな企画開発、調査・研究を行い、インターネットやフリーペーパーによるＰＲを実施して誘客を図ります。

なんと温泉ＰＲ事業補助金　１７７万円

南砺市観光戦略マスタープラン策定事業　480 万円

（担当：城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

東海北陸自動車道の全線開通をはじめ、北陸新幹線の開業予定や南砺スマートインターチェンジ開設、越中飛騨観光圏等の広域連携など、観光を取り巻く環境が劇的に変化しています。これに対応するため、平成18年策定の観光マスタープランを見直し、観光戦略マスタープランとして、持続可能で実効性のある計画を策定します。

観光戦略マスタープラン策定業務　４８０万円

城端伝統芸能会館事業費　4,517 万円

（担当：城端伝統芸能会館　問合せ先　62-5050）

城端伝統芸能会館管理費　2,859 万円

城端伝統芸能会館「じょうはな座」は、伝統芸能の継承と、現代文化の創造を通して、まちの賑わいを育む多目的ホールです。城端の伝統的な町屋の様式や芝居小屋の意匠を、たくみに採り入れた施設は、風情あふれるまちなみと溶け合って、城端に新しい表情を描き出しています。

○ 維持管理に必要な経費

施設運営スタッフ経費、電気料等の維持経費、空調等の設備管理保守点検経費、清掃業務等委託料など

城端伝統芸能会館「じょうはな座」

財源

その他（使用料など）	1,090 万円
市の負担額	3,427 万円

城端伝統芸能会館自主事業費　1,658 万円

「じょうはな座」では、より多くの人々に感動の輪を広げていくために、住民参加による企画・運営の試みなど、観る人、演じる人の垣根を越えた新しい文化発信・文化創造に積極的にチャレンジしています。

○特色

当館のような小規模ホールでは公演の招致が難しく、都市部の大ホールでしか観ることのできなかった人気演目や大掛かりな舞台を、デジタル映像として実演に匹敵する臨場感を再現でき、多種多様な演目の上映が可能となっています。（名画・歌舞伎・アニメなど）

ホール収容客数　４００　席

○平成２４年度自主事業の予定

4月～11月（月2回）　庵唄・むぎや踊りの定期公演
5月～ 3月（6回）　「じょうはな名画座」上映
7月29日（日）　山崎バニラ活弁公演
11月15日（木）　「長唄と笛の演奏会」
日程未定　「ゲゲゲの鬼太郎」人形劇公演
年間（２回）　シネマ歌舞伎（弁当付き）上映

スキー場管理費　3億4,607 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有するスキー場施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、たいらスキー場、タカンボースキー場、スノーバレー利賀スキー場、閑乗寺スキー場、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場の5箇所のスキー場の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。平成２４年度は、タカンボースキー場圧雪車修繕、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場仮設排水管敷設替え測量設計業務委託、スノーバレー利賀スキー場山腹法面・谷筋水路災害復旧工事、たいらスキー場第１リフト握索機更新工事、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場第１調整池排水施設下法面等治山工事、閑乗寺公園ログハウス屋根修繕工事を行います。また、ＩＯＸ-ＡＲＯＳＡスキー場において圧雪車１台の更新と指定管理者の建物資産に係る長期借入償還金に対して補助を行い、スキー場の経営統合に向けた条件整備を行います。

主な経費

タカンボースキー場圧雪車等修繕料	３９０万円
たいらスキー場指定管理料（株式会社長田組）	3,４００万円
タカンボースキー場指定管理料（上平観光開発株式会社）	１,０００万円
スノーバレー利賀スキー場指定管理料（財団法人利賀ふるさと財団）	4,０６０万円
閑乗寺公園・スキー場指定管理料（医王アローザ株式会社）	１,５１７万円
IOX-AROSAスキー場指定管理料（医王アローザ株式会社）	9,４００万円
スキー場管理事務費	２万円
IOX-AROSAスキー場仮設排水管敷設替え測量設計業務委託	７８０万円
スノーバレー利賀スキー場 山腹法面・谷筋水路災害復旧工事	2,１４０万円
たいらスキー場第１リフト握索機更新工事	７７９万円
IOX-AROSAスキー場第１調整池排水施設下法面等治山工事	4,３８０万円
閑乗寺公園ログハウス屋根修繕工事	１８０万円
IOX-AROSAスキー場圧雪車更新購入	4,０００万円
スキー場及び広告看板土地賃借料	５７９万円
IOX-AROSAスキー場施設長期借入償還補助金	2,０００万円

財源

起債	8,650 万円
その他（施設使用料など）	80 万円
市の負担額	2億5,877 万円

温泉施設管理費　6,516 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有し、市民や観光される方々が利用される宿泊施設等を併設する温泉施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、桜ヶ池クアガーデン、天竺温泉の郷、ぬく森の郷の３箇所温泉施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

また、周辺施設等に温泉を供給している福光温泉及びアローザ温泉の源泉井戸２箇所の維持・管理を行っています。平成２４年度は、天竺温泉源泉ポンプ・ケーブル等入替工事及び渡り廊下屋根修繕工事、ぬく森の郷受付・レストラン空調機器更新及び排水ポンプアップ水槽修繕工事、桜ケ池クアガーデン男女脱衣室床改修及びエレベーターロープ取替工事などを行います。

主な経費

アローザ温泉源泉光熱水費	６３万円
温泉施設修繕料（施設及び源泉施設）	７０万円
福光温泉源泉管理業務委託	８４万円
アローザ温泉源泉管理委託	５１万円
桜ヶ池クアガーデン指定管理料（株式会社ジェイウイング）	2,４００万円
天竺温泉の郷指定管理料（財団法人利賀ふるさと財団）	2,３６０万円
ぬく森の郷指定管理料（株式会社ぬく森の郷）	０円
桜ヶ池クアガーデンAED購入	４４万円
桜ヶ池クアガーデン 男女脱衣室床改修工事	１００万円
同上エレベーターロープ取替工事	６７万円
ぬく森の郷受付・レストラン 空調機器更新工事	４５０万円
同上排水ポンプアップ水槽修繕工事	８１万円
天竺温泉源泉ポンプ・ケーブル等入替工事	５８０万円
同上渡り廊下屋根修繕工事	８２万円
同上大広間宴会場畳入替修繕料	４４万円
福光温泉源泉光熱水費負担金	４０万円

財源

起債	550 万円
その他（温泉使用料）	241 万円
市の負担額	5,725 万円

桜ヶ池クアガーデン

天竺温泉

たいらクロスカントリー場管理費　2,956 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、クロスカントリーコース、管理棟、クラブハウス等の施設を有するたいらクロスカントリー場の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、通常の運営・維持・管理に加え、平成２５年２月２日より６日にかけて開催予定の全国中学校体育大会に向け、既存コースの改修修繕や緊急時避難路設置に係る測量設計と工事、降雪により支障となる立木枝伐採など、コース及び大会会場の運営・管理も行います。

主な経費

既存コース改修修繕及び緊急時避難路設置等測量設計業務委託	１７６万円
たいらクロスカントリー場指定管理料（株式会社長田組）	３５０万円
全国中学校体育大会会場運営委託	３９０万円
緊急時避難路開設工事	４９０万円
コースブロック積幅員拡幅工事	４９５万円
分岐コース幅員拡幅工事	３５５万円
コース切土幅員拡幅工事	５９万円
山留フトン篭工事	６４１万円

たいらクロスカントリー大会

財源

起債	2,090 万円
市の負担額	866 万円

ささら館管理費　793 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、上平自然環境活用センター「ささら館」の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、排煙オペレーター修繕、プロパン庫地盤沈下修繕及びパッケージ型消火設備改修設置工事を行います。

主な経費

ささら館指定管理料（上平観光開発株式会社）	５６５万円
排煙オペレーター修繕料	３２万円
プロパン庫地盤沈下修繕工事	１３２万円
パッケージ型消火設備改修設置工事	６４万円

道の駅上平「ささら館」

合掌の里管理費　2,772　万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、五箇山合掌の里の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、合掌コテージ２棟の屋根軒雪害修繕工事及び合掌宿泊施設の避難梯子等設置工事などを行います。

主な経費

合掌の里指定管理料（財団法人五箇山合掌の里）	2,000万円
新田家屋根軒雪害修繕工事	４１０万円
松与門家屋根軒雪害修繕工事	２７０万円
合掌宿泊施設避難梯子等設置工事	４５万円
生活館前工作物等解体整理工事	４７万円

五箇山合掌の里

財源

その他（建物災害共済金）	680 万円
市の負担額	2,092 万円

桂湖施設管理費　1,349 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、桂湖レクリエーション施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、ボート艇庫転落防止柵改修工事及びオートキャンプ場トイレ自動感知器修繕を行います。

主な経費

桂湖施設指定管理料（上平観光開発株式会社）	1,２００万円
オートキャンプ場トイレ自動感知器修繕料	３２万円
ボート艇庫転落防止柵改修工事	１１７万円

桂　湖

財源

その他（基金繰入金など）	506 万円
市の負担額	843 万円

イオックスアローザ交流施設管理費　1,408 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、オートキャンプ場、レストランワイスホルン、資料館、体験交流センター、ふれあいセンター、白兀展望塔のイオックスアローザ交流施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、オートキャンプ場トレーラー屋根及び内装修繕工事、体験交流センター外壁塗装等工事、白兀展望塔太陽光電源システム更新工事などを行います。

主な経費

イオックスアローザ交流施設指定管理料（医王アローザ株式会社）	６２０万円
医王山東屋休憩施設屋根修繕料	１１万円
オートキャンプ場トレーラー屋根及び内装修繕工事	３４０万円
体験交流センター外壁塗装等工事	２０７万円
白兀展望塔太陽光電源システム更新工事	２３０万円

財源

その他（土地貸付料など）	115 万円
市の負担額	1,293 万円

道の駅いなみ木彫りの里振興費　3,878 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

国、県、市と民間企業等が出資して設立された第３セクター株式会社井波木彫りの里が所有する物産展示・販売ホール、レストラン、浴場、体験彫刻・多目的創作工房、イベントホール、観光情報コーナー等からなる創遊館及び木彫り技術者の創作・製造の場である匠工房施設の円滑な運営のための振興支援を行っています。

主な経費

施設土地賃借料	４６６万円
施設建設借入金元利償還補助金	４０８万円
施設運営支援補助金	2,８３４万円
施設修繕工事補助金	１７０万円

井波彫刻

道の駅井波「いなみ木彫りの里」

財源

その他（返済金）	500 万円
市の負担額	3,378 万円

イオックスヴァルト管理費　369　万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、４人用コテージ８棟、６人用コテージ７棟、２０人用コテージ１棟、バーベキューハウス、管理棟等からなるイオックスヴァルトの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、４人用コテージ４棟のボイラー・油タンク及び基礎更新工事、６人用コテージ５棟の油タンク及び基礎更新工事を行います。

主な経費

イオックスヴァルト指定管理料（イオックスヴァルト企業組合）	０円
４人用コテージボイラー・油タンク及び基礎更新工事	２７０万円
６人用コテージ油タンク及び基礎更新工事	９９万円

コテージ

国見公園管理費　408 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市と金沢市の県境に位置し、砺波野散居村の風景が望める医王山に国見公園があり、国見ヒュッテ、コテージ２棟、バーベキュー棟、キャンプ場、トイレ、展望東屋等の施設が点在し、その運営・維持・管理を行っています。

平成２４年度は、キャンプ場炊事場・トイレ・看板等解体整理工事、バーベキュー棟屋根等修繕工事を行います。

主な経費

国見公園内施設管理委託料	１５５万円
光熱水費等施設管理経費	８０万円
キャンプ場炊事場・トイレ・看板等解体整理工事	９７万円
バーベキュー棟屋根等修繕工事	７６万円

コテージ

国見公園

財源

その他（施設使用料）	10 万円
市の負担額	398 万円

その他施設管理費　282 万円

（担当:城端庁舎　観光課　　問合せ先　23-2019）

市内の観光に関連する施設、公衆トイレ６箇所、駐車場２箇所、案内看板７箇所、モニュメント等の維持・管理を行っています。

主な経費

光熱水費・修繕料等施設管理経費	１４９万円
施設清掃委託	１０２万円
土地賃借料	３１万円

丸山展望台

上梨公衆トイレ

財源

その他（販売機設置料）	3 万円
市の負担額	279 万円

道の駅福光「なんと一福茶屋」管理費　860 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、道の駅福光「なんと一福茶屋」及び、福光紹興友好物産館の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

道の駅福光「なんと一福茶屋」
指定管理料　８６０万円
（道の駅福光株式会社）

道の駅福光「なんと一福茶屋」

五箇山和紙の里管理費　1,450　万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

国道１５６号線平地域東中江地内に複合施設道の駅たいら「五箇山和紙の里」があり、道の駅情報交流センター、展示・販売コーナー和紙の里、五箇山特産品販売物産館、公衆トイレ、たいら郷土館、たいらビジターハウス「おたに荘」、たいらマウンテンスクール等からなる施設の運営・維持・管理を行っています。

平成２４年度は、郷土館入口階段踊り場舗装修繕工事を行います。

主な経費

施設運営管理費	９１０万円
郷土館入口階段踊り場舗装修繕工事	４０万円
施設清掃・設備保守点検等委託	１１６万円
光熱水費・消耗品等施設管理経費	３３１万円
観光協会等負担金	５３万円

道の駅たいら

紙すき体験

財源

その他（施設使用料など）	250 万円
市の負担額	1,200 万円

みどりの一里塚施設管理費　78 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、いっぷく茶屋、東屋、公衆トイレ等の施設を有する利賀みどりの一里塚サービスステーションの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

みどりの一里塚サービス
ステーション指定管理料　７８万円
（道の駅利賀「いっぷく茶屋」）

道の駅利賀「いっぷく茶屋」

赤祖父レイクサイド管理費　627 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、赤祖父公園、パットゴルフ場、テニスコート、展望台、湖畔あかそぶ、バーベキュー場等の施設を有する赤祖父レイクサイドパークの運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、施設の安全性向上のため、湖畔あかそぶ前広場階段法面・排水管修繕工事を行います。

主な経費

赤祖父レイクサイド指定管理料（トナミグリーン株式会社）	５１０万円
土地賃借料	３万円
湖畔あかそぶ前広場 階段法面・排水管修繕工事	１１４万円

赤祖父公園

赤祖父湖

利賀観光施設管理費　3,056 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、そばの郷、瞑想の郷、国際キャンプ場等の利賀観光施設の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、国際キャンプ場管理棟屋根修繕工事、飛翔の郷建物施設解体整理工事などを行います。

主な経費

そばの郷そばの館入口改修修繕料	３７万円
利賀観光施設指定管理料（財団法人利賀ふるさと財団）	１,７７０万円
利賀国際キャンプ場管理棟屋根修繕工事	２５０万円
飛翔の郷建物施設解体整理工事	２５０万円
武蔵野館明り窓外壁雨漏修繕工事	６４万円
財団派遣職員給与等負担分補助金	６８５万円

国際キャンプ場

財源

その他（施設使用料）	1 万円
市の負担額	3,055 万円

アミュー広場管理費　130 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

福野地域寺家新屋敷地内に催し物等の開催場所及び市民の憩いとふれあいの場所として整備されたアミュー広場があり、清掃や樹木剪定、外灯等施設の維持・管理を行っています。

主な経費

光熱水費・修繕料等広場管理経費	２７万円
広場清掃委託	２２万円
広場樹木剪定・伐根処理委託	６７万円
消雪装置維持管理業務委託	１４万円

アミュー広場

民謡の里管理費　180 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、合掌造り家屋３棟、公園、東屋、公衆トイレ、水車小屋等の施設を有する民謡の里の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

主な経費

民謡の里指定管理料（小原地区振興会）	１８０万円

民謡の里

国民宿舎管理費　1,970 万円

（担当:城端庁舎　観光課　問合せ先　23-2019）

市が所有する観光施設の設置目的をより効果的、効率的に達成するため、民間の技術や能力を活用する指定管理者制度を導入し、国民宿舎「五箇山荘」の運営・維持・管理等の業務を指定管理者に委託して行っています。

平成２４年度は、男女浴場濾過機入替、露天風呂ボイラー入替、男女浴室修繕、浴室天井修繕工事及びエレベーター制御用機器等交換工事を行います。

主な経費

国民宿舎「五箇山荘」指定管理料（株式会社長田組）	０円
男女浴場濾過機入替工事	７３０万円
露天風呂ボイラー入替工事	６４０万円
男女浴室修繕工事	２９０万円
浴室天井修繕工事	２５０万円
エレベーター制御用機器等交換工事	６０万円

国民宿舎「五箇山荘」

財源

起債	1,290 万円
市の負担額	680 万円

道路新設改良事業（補助）　4億6,900 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

南砺市の道路網を構築する幹線市道の整備を、国の補助金を活用して進めています。

○整備路線

- 高堀太美山線（福野）
- 二日町広安線（福野）
- 高屋井口線（井波）
- 是安信末線（城端）
- 小坂岩木線（福光）
- 高畠城端栄町線（福光）
- 七ツ屋荒木町線（福光）
- 舘市野沢線（福光）
- 竹林宮後線（福光）
- 下出入谷線（平）
- 新屋成出線（上平）
- 坂上上百瀬線（利賀）

下出入谷線

竹林宮後線

財源

国県支出金	2億8,040 万円
起債	1億7,690 万円
市の負担額	1,170 万円

道路新設改良事業（単独）　4億1,950 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

除雪等の生活環境の改善や、他事業の実施を支援する市道の整備を起債及び受託金を活用して進めています。

○整備路線

- 高堀専勝寺線（福野,井波）
- 安居七村線(福野)
- 二日町広安線（福野）
- 北野児童公園線（城端）
- 高宮１３号線（福光）
- 小坂才川七線（福光）
- 宗守２号線（福光）
- 中の平線（平）
- 上村口線（平）
- 西赤尾小瀬形線（上平）
- 上梨小原線（上平）
- 皆葎猪谷線（上平）
- 豆谷菅沼線（利賀）

小来栖線

財源

起債	3億9,820 万円
市の負担額	2,130 万円

スマートIC設置検討業務　100 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

東海北陸自動車道城端サービスエリアに要望しているスマートインターチェンジの設置に向けて検討を行います。

城端SAスマートIC設置検討業務委託　100 万円

城端サービスエリア

県道整備事業負担金　3,000 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

富山県が単独費で実施する県道の道路改良事業、道路舗装事業、雪寒対策施設事業に対して事業費の10～20%を負担金として納入します。

一般県道才川七法林寺線

一般県道小森谷庄川線

財源

起債	2,850 万円
市の負担額	150 万円

道路橋梁維持費　2億2,818 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

南砺市には約1,330ｋｍの市道があります。道路や橋を常に良好な状態に保ち、歩行者や交通車両に支障が出ないように舗装補修、安全柵修繕、照明灯電気代などや自治会より要望のあった事項への対応にかかる費用です。

道路落石対応

修繕作業

安全施設管理

財源

その他（基金繰入等）	1億8,590 万円
市の負担額	4,228 万円

道路橋梁施設整備費　1億4,010 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

南砺市の道路網を構築する重要な路線の維持や施設整備について国の補助金や起債によって整備を進めています。

市道祖山線	（落石防護柵新設）
市道小山舘線他	（ガードレール新設）
中の平来栖線	（落石防護柵新設）
岩渕百瀬川線	（落石防護柵新設）
堀之内１号線他	（側溝改修）
中ノ江岩木線他	（舗装路盤修繕）
大島東間線	（排水路改修）
市民要望実現工事	

写真
祖山線
（落石防護柵）

財源

国県支出金	2,860 万円
起債	3,800 万円
その他（基金繰入等）	5,600 万円
市の負担額	1,750 万円

除雪対策費　1億9,276 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

冬季間の交通確保のため車道７４０ｋｍ、歩道８０ｋｍの機械除雪を市内９の除雪企業体に委託し、南砺市所有と民間建設業者が所有する計１４７台の除雪車で除雪作業を行っています。

市の除雪車両の車検整備費やチェーン・凍結防止剤などの消耗品・企業体への委託経費です。

平成２２年度、平成２３年度と２年続きで大雪に見舞われました。今後もよりよき除雪となるよう努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

除雪機械購入費　1億872 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

南砺市所有の除雪車１１３台のうち老朽化した車両を国の補助金により更新を進めてまいります。

ロータリー除雪車2.6m級	（１台）
除雪ドーザー　１３ｔ級	（１台）
除雪トラック　７ｔ級	（２台）
保険料	（上記４台）

除雪ドーザー

ロータリー除雪車

財源

国県支出金	7,200 千円
起債	3,420 千円
市の負担額	252 千円

地域ぐるみ除排雪機械購入費　1,904 万円

（担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　23-2021）

富山県が実施する富山県地域ぐるみ除排雪促進事業を活用し小型除雪機械を除雪活動を行う団体（自治会・協議会等）へ貸し出ししています。
負担割合　県1/3、地元1/10、市残り17/30
（上限額があります）
貸し出し後は、団体において保管・保険・修理費が必要です。

H24年度は５団体を予定しています。
写真：機械活用状況

財源

国県支出金	600 万円
その他（地元負担金）	284 万円
市の負担額	1,020 万円

小型除雪車運転講習会事業　12 万円

（担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　23-2021）

地域ぐるみ除排雪促進事業を推進するにあたり、団体（自治会・協議会等）での除雪作業を安全におこなっていただくために運転講習会を行います。

タイヤショベルなどの建設機械系の除雪機械を運転する場合は講習会受講が義務付けられています。
※本事業費では会場準備費・機械リース代を計上しています。
※受講にあたっては14,000円の個人負担が必要です。

*小型除雪車運転は講習会受講が必要です

消雪融雪装置管理費　5,029 万円

（担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　23-2021）

地下水や河川水を利用した消雪・融雪装置に必要な電気代やポンプ取替え、散水管の点検費用です。

融雪の電力は第２融雪電力として安価な契約をしているため、１１時～１２時・１３時～１４時までは散水できませんのでご理解をお願いいたします。

消雪電気　及び監視装置電話代	2,730 万円
修繕・工事代	495 万円
点検委託料	1,767 万円
その他	37 万円

消融雪施設整備費（補助）　8,120 万円

（担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　23-2021）

消雪・融雪装置の新設や設備の更新工事を、国の補助金を活用して整備を進めています。

二日町野尻川原1号線他	（新設）
山見3号線	（更新）
出村道犬藪線他	（新設）

財源

国県支出金	4,212 万円
起債	3,710 万円
市の負担額	198 万円

消融雪施設整備費（単独）　7,400 万円

（ 担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　 23-2021）

補助事業の対象とならない消雪・融雪装置の新設や古くなった設備の更新工事を、まちづくり基金と起債を活用して整備を進めます。

消雪貯水槽新設設計（井波：新規）
八日町庚申塚線（井波：更新）
田尻２号線他（福野：更新）
栄町山本線他（福光：更新）
市民要望実現工事

財源

その他（まちづくり基金）	4,200 万円
起債	3,040 万円
市の負担額	160 万円

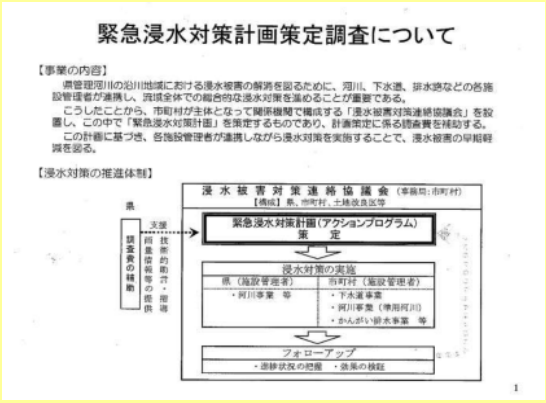
緊急浸水対策計画策定業務　300 万円

（ 担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　 23-2021）

各施設管理者と地元関係者で構成する「浸水被害対策連絡協議会」を設置し、総合的な浸水対策を進めるための「緊急浸水対策計画」を策定します。

この計画に基づき、各施設管理者が連携し浸水被害の早期軽減を進めます。

城端市街地を予定しています。



財源

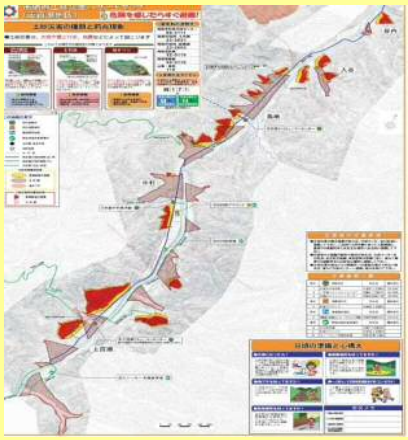
国県支出金	225 万円
市の負担額	75 万円

土砂災害ハザードマップ作成　400 万円

（ 担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　 23-2021）

安心で災害のない街づくりの一つとして、土砂災害での人的被害が発生しないよう危険箇所を記したハザードマップを作成し、周知に努めています。

H24年度は福野・井波・井口地区を
予定しています。



財源

国県支出金	175 万円
市の負担額	225 万円

河川環境公園管理費　485 万円

（ 担当:福光庁舎　土木課　　問合せ先　 23-2021）

水辺空間を活用し、市民の憩いの場となるダム湖畔や河川の桜並木など、公園施設の電気代、修繕、樹木の管理費用です。

刀利ダム親水公園
臼中ダム親水公園
西赤尾河川公園
下梨砂防公園
利賀川砂防公園
利賀川ダム公園
城端ダム公園
井波大門川桜並木樹木
七福の森砂防公園

写真　刀利ダム親水公園

市道クリーンアップ補助金　350 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

市道の草刈りや清掃活動を行う自治振興会に活動経費の一部を補助金として交付します。（１団体年１回分）

事業内容
- 道路路肩・道路法面・植樹帯等の草刈り
- 歩道・道路路肩・植樹帯等の草むしり
- 歩道・道路路肩の清掃、土砂上げ

申請団体
- 自治振興会

補助金額
- 申請年度の４月１日現在の世帯数×200円

南砺市生活基盤整備事業補助金　200 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

地域の生活道路や生活用雑排水路の整備に対して、住民自治組織が行う土木工事に補助金を交付します。（農業用施設や林道は除きます。）

対象事業
- 法定外公共物（道路・水路）の整備
- 上記に準ずる公共性の高い施設（道路・水路）の整備

補助対象経費・補助率
- １００万円以下の事業

補助率
- ４０%以内

※申請書類
申請書、位置図、写真、見積書

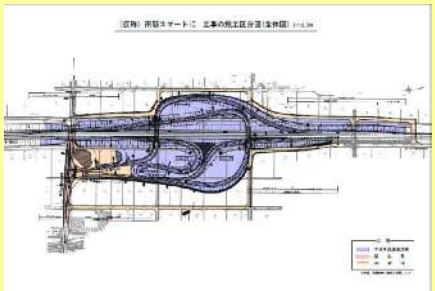
写真：生活道路の舗装、水路整備など

（仮称）南砺スマートＩＣ関連事業　7億1,000 万円

（担当:福光庁舎　土木課　問合せ先　23-2021）

福野北部地域に、東海北陸道に連結する（仮称）南砺スマートＩＣを設置します。市では、スマートＩＣの設置により、高速道路利用者の利便性向上、一般道の混雑軽減、救急医療機関への所要時間短縮を図るほか、企業誘致や観光振興を進め、市の発展につなげます。

事業内容
- インターチェンジの用地買収・物件補償
- 中日本高速道路株式会社への設計負担金



財源

国県支出金	1億800 万円
起債	6,840 万円
その他（受託金）	5億3,000 万円
市の負担額	360 万円

都市計画街路事業　3億5,300 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

南砺市施行の事業実施中および事業着手予定の都市計画道路建設費です。快適で利便性の高い道路網を形成するため、幹線道路と生活道路の整備を進め、市街地での交通環境の整備充実を図ります。

○(都)百町二日町線(百町地内ほか)１億5,000万円

○(都)荒木小林線ほか（荒木地内）２億300万円

財源

国県支出金	１億8,000 万円
起債	１億6,150 万円
市の負担額	1,150 万円

都市公園管理費　5,383 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

都市公園等の管理については、市民に開かれた緑豊かで潤いのあるレクリエーションやコミュニケーション、憩いの場として良好な維持管理に努めます。また利用者ニーズへの対応も図ります。

主な都市公園

城端地域：桜ヶ池公園、城南公園ほか
井波地域：井波児童公園、大門川河川公園ほか
福野地域：安居寺公園、猿ヶ辻緑地ほか
福光地域：福光公園、小矢部川公園ほか

（桜ヶ池公園）

県営都市計画街路事業負担金　2,865 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

富山県により事業実施中および事業着手予定の都市計画道路建設にかかる負担金です。市街地交通の円滑化と良好な市街地環境の整備を進めます。

○(都)谷今町線（東町地内ほか）　2,865万円

財源

起債	2,720 万円
市の負担額	145 万円

都市再生整備計画事業　2億9,500 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的として、市街地環境の整備を進めます。

○井波地区
(都)谷今町線ほか　２億9,500万円

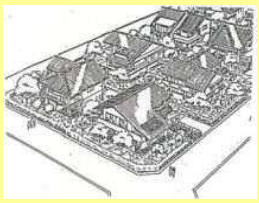
財源

国県支出金	１億1,680 万円
起債	１億6,640 万円
市の負担額	1,180 万円

景観づくり住民協定支援事業　80 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

“なんと元気なまちづくり事業”の一環として、住民が自主的・主体的に住宅団地の緑化、散居村集落におけるカイニョの植樹、ビオトープの整備など、魅力ある町内の景観づくりの話し合いなどの運営経費を南砺市景観づくり事業補助金交付要綱に基づき補助をします。



住宅団地の緑化

ポケットパーク整備

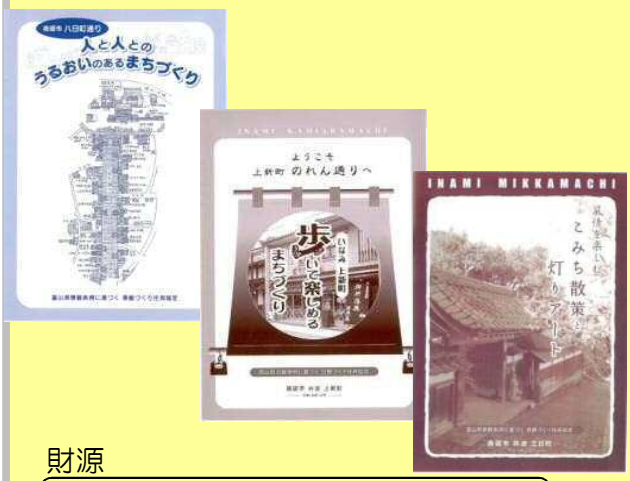
水辺空間の緑化

景観づくり住民協定推進事業補助金　300 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

地域の特性を生かした住民の自主的・主体的な景観づくりへの取り組みについて、景観づくり住民協定の締結に向けた取り組み又は、その協定に基づき住民が行う修景事業について、南砺市景観づくり事業補助金交付要綱に基づき補助をしています。

景観づくり住民協定は、井波区域の八日町、上新町、三日町地区で締結され、協定に基づき修景事業に取り組まれています。



財源

国県支出金	150 万円
市の負担額	150 万円

用途地域見直し業務　80 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

将来市街地のまちづくりの方向性や土地利用状況を踏まえ、良好な市街地環境をつくるため、住宅・店舗・工場などの適正な配置による機能的な都市活動の確保を目的として建築物の用途、容積率、建ペイ率などを定めています。

しかし、用途地域を定めてより年月が経過し、少子高齢化・人口の減少など社会情勢の変化により、用途規制がそぐわなくなっている地区について、見直しを図ります。

用途地域は、住居、商業、工業など市街地の大枠として土地利用を定めるものです。

優良住宅団地開発支援事業補助金　2,500 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先　23-2022）

民間住宅団地造成の誘導及び良好で質の高い、低価格な住宅団地の供給により、定住化の促進を図ることを目的として補助金制度を設けています。

H24年度より、補助金の交付要件を５区画以上の規模に緩和し（１区画の最低面積等の要件は従来のまま）、また、補助金の交付対象施設に、調整池施設を追加し、補助金算定基本額を集水面積１㎡当り５００円としました。

財源

国県支出金	1,125 万円
市の負担額	1,375 万円

（仮称）遊部住宅建築事業　3億388 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

平成１８年度住宅マスタープランに基づく新規供給戸数４２戸と老朽化した天神住宅（福光地域）２４戸を別地に建替え（全体計画６６戸）するものです。

福光地域の遊部地区に、第１期工事として２３～２４年度の継続事業で４４戸を建設しています。

鉄筋コンクリート３階建２棟の低所得者向け「公営住宅」であり、うち１０戸は高齢社会に対応したシルバーハウジングとし、また集会所にはライフサポートアドバイザーを配置した高齢者生活相談室を設けています。

住戸タイプは２DK，２LDK、３DKの種類があります。子育て世代から高齢者まで多様な世帯に対応した居住環境を整備します。

財源

国県支出金	7,509 万円
市の負担額	2億2,879 万円

克雪住宅普及事業　190 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

市では、市民の屋根雪下ろしの負担軽減と危険防止を図るため、平・上平・利賀の地域において克雪住宅を新築、改築又は改良する方に補助金を交付しています。

克雪住宅とは住宅の屋根雪を人力で下ろす必要のない落雪式又は融雪式の住宅です。落雪式は屋根を金属板でふき雪割を設けた構造で、雪が自然滑落する住宅です。融雪式は熱エネルギーを使用し、屋根融雪設備を設置した住宅です。

補助の対象となる工事費は、屋根施設（構造）の克雪住宅化に要する費用で、補助金の額は落雪式は対象工事費100万円以上のものに対し30万円、融雪式は対象工事費150万円以上のものに対し５０万円です。

主な経費

・克雪住宅普及事業補助金　190万円

財源

国県支出金	85 万円
市の負担額	105 万円

木造住宅耐震改修支援事業　300 万円

（担当:福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

市では、地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、木造住宅の耐震改修を行う方に県と連携してその経費の一部を補助しています。

対象となる住宅は、①木造の一戸建で、２階建て以下のもの②昭和56年5月31日以前に着工して建築されたもの③在来軸組工法によるもの一一以上の要件を全て満たす住宅です。

また、対象となる工事は、（財）日本建築防災協会による一般耐震診断、精密診断等により、耐震補強の必要性があるとされた住宅（診断結果、総合判定が1.0未満の場合）を耐震改修工事後、総合判定が1.0以上とする耐震改修工事です。

補助金の額は、耐震改修工事に要する費用の３分の２です。ただし、補助金額が６０万円を超える場合は６０万円となります。

主な経費

・木造住宅耐震改修支援事業補助金　300万円

財源

国県支出金	217 万円
市の負担額	83 万円

民間建築物アスベスト除去等支援事業　920 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

市では、市民の安全・安心を確保するため、民間建築物のアスベスト除去等を行う所有者等に国・県と連携してその経費の一部を補助しています。

対象となる建築物は、不特定多数の者が共同で利用する民間建築物で露出して吹付けアスベスト等が施工されているもの又は施工されている可能性のある建築物です。

また、対象となる事業は、吹付け建材について行うアスベスト含有の有無に係る調査、吹付けアスベスト等の除去、封じ込め又は囲い込み工事に要する経費です。

補助金の額は、アスベスト含有の調査については補助対象事業に要する経費を、アスベスト等除去、封じ込め又は囲い込み工事については補助対象事業に要する経費の３分の２です。

主な経費

・民間建築物アスベスト除去等支援事業費補助金
（井波社会福祉センター）　９２０万円

財源

国県支出金	692 万円
市の負担額	228 万円

南砺市で暮らしてみんまいけ事業　600 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

市では、定住人口の増加を図るため、市内民間賃貸住宅に新たに入居する方に補助金を交付します。

対象となる方は、平成24年4月1日以後に市内民間賃貸住宅に入居された転入世帯、新婚世帯又は学生世帯です。

補助金額は対象世帯の区分により①転入世帯は月額１万円（１年間）②新婚世帯は月額１万円（２年間）③転入世帯でかつ新婚世帯は月額２万円（２年目は１万円）④転入世帯でかつ学生世帯は月額２万円（２年間）を補助します。

補助要件（上記②を除く。）として１年以上市内に住所を有しない世帯で、かつ、市内民間賃貸に入居した日までの期間が１年未満の世帯です。

また、学生世帯は高等専門学校（第１年次から第３年次までを除く。）、専修学校の専門課程、短期大学又は大学（大学院を含む。）に在学する世帯です。

主な経費

・南砺市民間賃貸住宅居住補助金
６００万円

南砺市に住んでみんまいけ事業　1,500 万円

（担当：福光庁舎　都市計画課　問合せ先23-2022）

市では、定住人口の増加を図るため、市内に住宅用地及び新築住宅、建売住宅又は中古住宅を取得し、市内に定住しようとする方に奨励金を交付しています。

対象となる住宅は、居住部分の床面積が７０平方メートル以上で平成20年4月１日以降に取得した住宅です。

奨励金は２種類あります。５年以上市外に居住している方が住宅用地と住宅を取得した場合の「転入奨励金」は、新築住宅５０万円、中古住宅３０万円を交付します。さらに申請者以外の世帯員１人につき５万円を加算します。また、市内居住者が市内で新たな住宅用地と住宅を取得し入居した場合の「持ち家奨励金」は、新築住宅３０万円、中古住宅１０万円を交付します。

主な経費

・南砺市定住奨励金
1,500万円

財源

国県支出金	675 万円
市の負担額	825 万円

常備消防費　8億2,262 万円

（担当:福野庁舎　総務課　問合せ先　23－2003）

砺波地域消防組合の運営、消防車・救急車等資機材の維持管理・整備等に係る負担金です。

南砺市域には、南砺消防署を基幹署に、福野・城端・井波庄川・五箇山の各出張所、利賀分遣所の６箇所に消防署員が配置されています。

火災対応はもとより、救急搬送、救助活動などの常備消防業務を行っています。

また、火災予防活動、自主防災組織や各事業所の防火訓練、応急対策訓練にも出動し、市内の防災・防火活動、迅速な災害時初動体制の確保に努めています。

○ 砺波地域消防組合負担金　8億1,573 万円
○ 署所運営委託料、賃借料など　689 万円

H23.11.27
富山県総合防災訓練
城端会場
倒壊建物救助訓練
（消防隊・DMAT）

財源

その他（受託収入等）	716 万円
市の負担額	8億1,546 万円

消防団運営費・公務災害補償　1億430 万円

（担当:福野庁舎　総務課　問合せ先　23－2003）

南砺市消防団は、８方面団の３７分団、レディー分団及び音楽隊で組織され、団員定数は1,264人です。

消防団の諸事業（出初式・消防操法大会・訓練など）、団員の報酬・出動手当・災害補償費・福祉共済費・被服・定例表彰費のほか、幼年・少年消防クラブの報償費、婦人防火クラブ活動補助に係る経費です。

・ 消防団員報酬	3,144 万円
・ 幼年・少年消防クラブ報償費など	200 万円
・ 消防団員出動手当	2,473 万円
・ 出初式・操法・訓練経費	747 万円
・ 富山県消防協会他負担金	215 万円
・ 消防団福祉共済掛金	506 万円
・ 消防協会南砺支部補助金	120 万円
・ 婦人防火クラブ他活動補助金	37 万円
・ 消防団員公務災害補償負担金	2,988 万円

消防団施設費　5,791 万円

（担当:福野庁舎　総務課　問合せ先　23－2003）

消防団の施設（屯所・機械器具置場）や装備（車両、ポンプ等）の維持管理に係る経費です。

今年度の整備事業は、福光方面団に車庫２箇所、消防ポンプ車１台、積載車１台、小型動力付きポンプ１台の整備・購入や消防団員の安全対策として、防火衣などを車両に配備します。

また、井波方面団の分団再編に伴う屯所の改修を行います。

○ 施設・装備維持管理費	1,669 万円
○ 整備・更新に係る費用	
・車庫２棟の設計監理委託料	100 万円
・車庫２棟の工事費	1,040 万円
・消防ポンプ車　１台	1,400 万円
・積載車・小型ポンプ各１台	500 万円
・防火衣等購入（３８分団）	632 万円
・屯所改修１棟	450 万円

財源

国県支出金	100 万円
その他（助成金）	100 万円
起債	2,880 万円
市の負担額	2,711 万円

消防施設整備費　4,317 万円

（担当:福野庁舎　総務課　問合せ先　23－2003）

消防水利（消火栓、防火水槽、消防専用配管、水利看板など）の維持管理及び施設整備に係る経費です。

今年度の整備事業は、消防署再編の市街地対策として耐震性貯水槽（防火水槽）１００ｔ、４０ｔ級を各１２箇所と翌年度実施設計３箇所、消火栓（地上・地下式）新設5箇所、更新５箇所を計画しています。

尚、水道・簡易水道事業区域の消火栓は、事業管理者への負担金で整備し、消防専用配管は直営で整備しています。

○ 消防水利の維持管理費	1,041 万円
○ 整備・更新に係る費用	
・耐震性貯水槽実施設計委託料	132 万円
・耐震性貯水槽の工事費	2,300 万円
・消火栓新設負担金	440 万円
・消火栓更新負担金	264 万円
・消防専用配管消火栓更新	140 万円

財源

国県支出金	919 万円
起債	1,660 万円
市の負担額	1,738 万円

教育センター管理運営費　1,713 万円

（担当：井波庁舎　教育センター　問合せ先　23-2031）

市教育センターの管理運営にかかる経費です。

ここでは、教職員の資質向上を目指して、学習指導に関する資料や情報を提供したり、研修会を開催したりしています。

また、教育相談を行い、子どもや保護者、教職員の悩みや困難に対し、助言や解決の援助をしています。

さらに、小中学校の副読本を作成するなど、教材・資料等の開発にも努めています。

主な経費

教育センターの運営費	26 万円
教育相談の講師謝礼など	47 万円
教職員の研修費など	148 万円
南砺市分野別説明教材印刷費など	92 万円
学力分析ﾊﾟｿｺﾝ修繕など	100 万円
教師用ﾊﾟｿｺﾝ、校外学習バス賃借料など	1,050 万円
教育ﾈｯﾄﾜｰｸの保守点検	55 万円
パソコン購入	20 万円
各種研究会負担金など	175 万円

アーパス管理費　1,837 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

利賀複合教育施設「アーパス」（利賀小学校、利賀中学校、利賀公民館）の管理運営にかかる経費です。

ここでは、適切な維持管理や利用しやすい環境を整えることにより、子どもたちや地域の皆さんにとって居心地の良い施設づくりに努めています。

主な経費

施設運営費	1,328 万円
燃料、光熱水費、運営消耗品など	
施設等の修繕及び工事	299 万円
施設管理委託料	210 万円

財源

その他（施設使用料）	30 万円
市の負担額	1,807 万円

私立幼稚園補助費　2,026 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内の私立幼稚園3施設には、約170人の子どもたちが通っています。

子どもたちが、健康で安全な生活ができ、健やかに成長されるよう、市では幼稚園の運営を支援しています。

また、幼稚園教育の普及・充実と保護者の経済的負担を軽減するために、保育料の減免を援助します。

補助金の内訳

振興補助金	570 万円
就園奨励費補助金	1,322 万円
保育料軽減事業補助金	134 万円

市内にある私立幼稚園

聖徳幼稚園
福野青葉幼稚園
福光青葉幼稚園

財源

国県支出金	301 万円
市の負担額	1,725 万円

小中学校就学援助費　2,349 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

経済的に就学が困難な小中学校の児童生徒や東日本大震災により被災された児童生徒の保護者に、学用品などに係る経費の援助を行います。また、特別支援学級の児童生徒の保護者にも経済的負担を軽減するために援助を行います。

援助対象者は、世帯の収入額などにより認定されます。

主な経費

小学校援助費	986 万円
中学校援助費	1,363 万円

財源

国県支出金	35 万円
市の負担額	2,314 万円

スクールソーシャルワーカー配置事業　174 万円

（担当：井波庁舎　教育センター　問合せ先　23-2031）

児童生徒が問題行動等をおこす状況や背景には、心の問題や置かれている環境の問題（家庭、友人関係、地域、学校等）が、複雑に絡みあっていると考えられています。

この事業では、スクールソーシャルワーカーを配置し、問題を抱えている児童生徒やその保護者、学校等に対し、より実態にあった相談業務を通じて、問題に対する助言や解決に向けた援助を行います。

主な経費

スクールソーシャルワーカー　４人	
賃金など	174 万円

財源

その他（基金繰入金）	160 万円
市の負担額	14 万円

適応指導教室運営費　160 万円

（担当：井波庁舎　教育センター　問合せ先　23-2031）

さまざまな不安や悩みがあって学校に行けない児童生徒を支援するために、適応指導教室（いおう教室）を福光青少年センター内に設置しています。

ここでは、児童生徒に応じた相談や助言、指導を通じて、学校への復帰に向け支援を行っています。

主な経費

適応指導員　３人	
教室運営費	27 万円
指導員賃金など	133 万円

財源

国県支出金	20 万円
その他（基金繰入金）	124 万円
市の負担額	16 万円

外国語指導助手招致事業　3,424 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

現在、7名の外国語指導助手（ALT）を、小中学校18校に派遣しています。

児童生徒が、英語でコミュニケーションをとったり、外国の文化や習慣、考え方など多くのことを学んだりしています。

この事業では、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図り、”英語が使える児童生徒”が育つことを目標としています。

主な経費

外国語指導助手（ALT）7名	
賃金など	3,424 万円

外国語指導助手の授業の風景

小学校管理費　1億4,451 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内には、10校の小学校があります。

児童が、安全に学校生活を送り、安心して教育を受けることができるように、学校施設を適切に維持管理し、より良い教育環境を整えます。

主な経費

施設運営費（燃料、光熱水費、学校用品など）	8,770 万円
校務助手賃金など	991 万円
施設の修繕及び工事	2,570 万円
管理委託料	1,570 万円
管理備品購入	550 万円

財源

その他（施設使用料）	300 万円
市の負担額	1億4,151 万円

小学校健康管理費　1,415 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

児童や教職員が健康を保ち、元気に学校生活を過ごすことができるよう、学校保健安全法に基づく健康診断や検査などを行います。

主な経費

学校医の報償費など	454 万円
保健衛生、医薬材など	263 万円
健康診断、各種検査委託	210 万円
学校保健備品購入	31 万円
災害共済負担金	244 万円
医療費の給付など	213 万円

財源

その他（給付金など）	318 万円
市の負担額	1,097 万円

小学校施設整備費　4億8,975 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

小学校の耐震補強工事や老朽化が著しい校舎の大規模改修工事、統合小学校の建設工事を進めています。

小学校における現在の耐震化率は９２％であり、平成26年度末には耐震化工事を完了する計画です。

○福光東部小学校耐震補強等改修事業

事業年度：Ｈ２２～Ｈ２６

平成２４年度予定事業

大規模改造工事が必要な校舎の実施設計　900 万円

○平・上平統合小学校建設事業

事業年度：Ｈ２２～Ｈ２６

平成２４年度予定事業

平・上平統合小学校新築工事（継続事業）　４億８,０７５ 万円

財源

国県支出金	9,976 万円
起債	3億4,650 万円
市の負担額	4,349 万円

小学校給食費　3,163 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内には、8つの小学校単独校調理場と2つの小中学校共同調理場があります。

市では、給食施設の修繕や点検、調理機器の更新を適切に行うことで、きめ細かな衛生管理を行い、安心で安全な給食を児童においしく食べてもらえるよう努めます。

主な経費

臨時職員賃金など	1,046 万円
給食食器の更新や給食用品など	668 万円
調理場の燃料費	637 万円
調理場の修繕など	319 万円
調理機器の更新	340 万円
調理場の点検や調理員の検査など	153 万円

小学校教育振興費　8,078 万円

（担当:井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内10校の小学校には、約2,580人の児童が元気に通学しています。
この事業では、安心して教育を受けられる環境づくりや総合的な学習の支援、情報教育環境の整備、図書、教材備品の購入などを行い、より充実した学校教育ができるよう努めています。

臨任講師等配置事業　1,330 万円
小規模校の複式学級に対応できるよう臨任講師を配置し、よりよい学習環境づくりを支援します。
市内４校へ配置。

図書館司書助手配置事業　401 万円
全小学校に図書館司書助手を配置し、読書に親しむ機会づくりと、楽しんで読書ができるよう支援します。
市内10校へ配置。

外国語支援講師配置事業　121 万円
日本語に不慣れな児童に対し、読む・書く・聞く・話すなど学習や学校生活に適応できるよう支援します。
市内２校へ配置。

適応指導員・スタディメイト配置事業　2,014 万円
発達障害や不登校などの事情を抱える児童に対し、学校生活に適応できるよう支援します。
市内６校へ配置。

主な経費

教育ﾊﾟｿｺﾝ、施設使用料など	2,597 万円
児童用図書購入	490 万円
教育教材備品購入	350 万円
通学費支援	275 万円
各種大会出場補助	500 万円

財源

国県支出金	60 万円
その他(基金繰入金など)	2,537 万円
市の負担額	5,481 万円

なんと元気なまちづくり事業（小中学校分）　592 万円

（担当:井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

ふるさと教育推進事業交付金　216 万円

「ふるさと教育」を重点的に行い、子どもたちの〝ふるさと〟を思い愛する心を育みます。
将来、南砺市で働き、家庭を築こうとする若者を多く育てるため、小中学校の独自の取り組みを支援します。

小学校五箇山和紙卒業証書作成費　45 万円
中学校五箇山和紙卒業証書作成費　51 万円

小中学生の卒業証書を市の伝統的工芸品である「五箇山和紙」で作成します。
卒業式では、小学生、中学生が五箇山和紙の卒業証書を受け取ります。
子どもたちは、市の伝統工芸に触れ、〝ふるさと〟を思い愛する心を育みます。

小学校グリーンカーテン推進事業　26 万円

「南砺の偉人」作成事業　10 万円

今年度から２カ年をかけて、郷土の先人を調査・選考し、南砺の偉人としてまとめた冊子を作成します。
子どもたちに夢と希望を与え、故郷に対する理解と誇りが生まれ、ふるさと教育の推進につながります。

小学校なんとﾊｰﾄﾌﾙﾗﾝﾁ食材負担金　141 万円
中学校なんとﾊｰﾄﾌﾙﾗﾝﾁ食材負担金　81 万円

「なんとハートフルランチの日」に南砺市の地元食材で作った学校給食を食べます。
学校給食を通して「食育」を進め、地元の農産物などのおいしさを知り、生産者とのつながりを深めます。

中学校グリーンカーテン推進事業　22 万円

小中学校の校舎などにグリーンカーテンの設置を推進します。子どもたちは、植物の世話を通してエネルギー問題など、さまざまな学習をします。

中学校管理費　1億3,567 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内には、8校の中学校があります。

生徒が、安全に学校生活を送り、安心して教育を受けることができるように、学校施設を適切に維持管理し、より良い教育環境を整えます。

主な経費

施設運営費（燃料、光熱水費、学校用品など）	6,401 万円
校務助手賃金など	1,159 万円
施設の修繕及び工事	3,970 万円
管理委託料	1,527 万円
管理備品購入	510 万円

財源

その他（施設使用料）	300 万円
市の負担額	1億3,267 万円

中学校健康管理費　1,030 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

生徒や教職員が健康を保ち、元気に学校生活を過ごすことができるよう、学校保健安全法に基づく健康診断や検査などを行います。

主な経費

学校医の報償費など	260 万円
保健衛生、医薬材など	143 万円
健康診断、各種検査委託	177 万円
学校保健備品購入	12 万円
災害共済負担金	136 万円
医療費の給付など	302 万円

財源

その他（給付金など）	366 万円
市の負担額	664 万円

中学校施設整備費　2,760 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

中学校の耐震補強工事や老朽化が著しい校舎の大規模改修工事を進めています。

中学校における現在の耐震化率は79%であり、平成26年度末には耐震化工事を完了する計画です。

○福野中学校耐震補強事業

事業年度：Ｈ２２～Ｈ２６

平成２４年度予定事業

福野中学校Ａ棟・Ｂ棟耐震補強等改修工事実施設計　2,400 万円

福野中学校Ｃ棟・Ｄ棟耐震補強計画策定　360 万円

財源

起債	2,280 万円
市の負担額	480 万円

中学校給食費　8,110 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内には、6つの中学校に単独校調理場があります。

市では、給食施設の修繕や点検、調理機器の更新を適切に行うことで、きめ細かな衛生管理を行い、安心で安全な給食を生徒においしく食べてもらえるよう努めます。

主な経費

給食食器の更新や給食用品など	254 万円
調理場の燃料費	620 万円
調理場の修繕など	727 万円
調理機器の更新	82 万円
調理場の点検や調理員の検査など	43 万円
給食調理業務の民間委託	6,384 万円

城端中学校、井波中学校、福野中学校福光中学校、吉江中学校の給食調理業務を民間業者へ委託しています。

中学校教育振興費　7,004 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市内8校の中学校には、約1,440人の生徒が元気に通学しています。

この事業では、安心して教育を受けられる環境づくりや総合的な学習の支援、情報教育環境の整備、スポーツエキスパートの派遣、図書、教材備品の購入などを行い、より充実した学校教育ができるよう努めています。

図書館司書助手配置事業　150 万円

全中学校に図書館司書助手を配置し、読書に親しむ機会づくりと、楽しんで読書ができるよう支援します。

市内8校へ配置。

外国語支援講師配置事業　205 万円

日本語に不慣れな生徒に対し、読む・書く・聞く・話すなど学習や学校生活に適応できるよう支援します。

市内４校へ配置。

ｽﾎﾟｰﾂｴｷｽﾊﾟｰﾄ派遣事業　406 万円

中学校部活動へ地域の優れたスポーツ指導者を派遣し、運動能力や技術力の向上を支援します。

市内8校へ66名派遣。

適応指導員配置事業　597 万円

発達障害や不登校などの事情を抱える生徒に対し、学校生活に適応できるよう支援します。

市内６校へ配置。

主な経費

臨任講師、非常勤講師の配置	534 万円
教育ﾊﾟｿｺﾝ、施設使用料など	2,952 万円
生徒用図書購入	400 万円
教育教材備品購入	560 万円
通学費支援	40 万円
各種大会出場補助	1,160 万円

財源

国県支出金	186 万円
その他（基金繰入金等）	930 万円
市の負担額	5,888 万円

14歳の挑戦実施費　207 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

中学２年生が、身近な地域の会社や職場で１週間の職場体験活動や福祉ボランティア活動等に参加します。

社会での活動を通じ、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるたくましい力を身につけられるよう、事業を実施します。

主な経費

指導ボランティア謝礼	119 万円
報告書作成費など	39 万円
指導ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ保険料など	49 万円

財源

国県支出金	90 万円
市の負担額	117 万円

スクールバス運行費　4,880 万円

（担当：井波庁舎　教育総務課　問合せ先　23-2012）

市では、遠距離通学児童のためにスクールバスを運行しています。

利用できる児童は、低学年２㎞以上、高学年2.5㎞以上としています。

主な経費

燃料費	544 万円
スクールバスや	
スクールバス停の修繕料	503 万円
タイヤなどの消耗品	220 万円
運行委託料	2,700 万円
平スクールバス更新	700 万円
車検費用など	213 万円

財源

国県支出金	250 万円
起債	420 万円
市の負担額	4,210 万円

社会教育総務費　996 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

社会教育委員や社会教育指導員に関する経費と社会教育団体の助成費です。

- **社会教育委員設置費**　49万円
  16名委嘱。市社会教育事業に関し助言をします。
- **社会教育指導員報酬**　672万円
  7名配置。生涯学習講座の企画･運営、社会教育団体を育成します。
- **社会教育団体活動育成費**　275万円
  南砺市連合婦人会
  南砺市ＰＴＡ連絡協議会
  ボーイスカウト南砺市協議会
  南砺市ガールスカウト協議会
  青年団（平・上平・利賀地域）

青年団体の彫刻体験

社会教育推進費　367 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

社会教育推進大会や市民大学講演会の開催経費と砺波地区視聴覚教育協議会負担金です。

- **社会教育推進大会開催費**　121万円
  社会教育の推進に功労のあった個人や団体を表彰し、実践発表や講演会を行います。生涯学習講座活動報告会・作品展もあわせて開催します。
- **市民大学講演会開催費**　179万円
  様々の分野の著名な講師の講演を聴く機会を提供しています。

- **砺波地区視聴覚教育協議会負担金**　67万円

青少年育成費　548 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

市内の子どもたちが、豊かな自然と文化の中で心豊かで健やかに育つことを願って、体験活動や講座など様々な活動を行っています。

- **子ども体験活動事業**　145万円
  「子ども伝統芸能塾」「週末子ども文化塾」「チャレンジ自然塾」といった3分野の体験活動を実施します。
- **子育て講座事業**　50万円
  就学前のお子さん･保護者等を対象とした講座です。
- **成人式開催費**　268万円

井波会場の様子

- **青少年育成市民会議活動費**　85万円

財源

その他（参加費）	5 万円
市の負担額	543 万円

講座開設費　283 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

市民を対象に「南砺市民大学講座」や「なんと市民学遊塾」などを開講し、市民の学びたい心を応援します。

- **市民大学講座**　170万円
  専門的な知識を持った講師による教養講座や、生活の向上や潤いを持つための知識や技能を身につける講座です。
  ふるさとの歴史　（前期・後期）
  とやま自然の探訪（前期・後期）
  いなみ木彫りの講座　（通年）
  なんとを語る　（前期・後期）
  なんとを巡る　（前期・後期）
  体感！身近な美術と文化財（前期・後期）
  万葉集を探る　（後期）
  郷土の先人ものがたり（後期）
- **なんと市民学遊塾**　56万円
  市民の自主的､自発的な「学び」の場｡塾の運営をサポートします。
- **なんと陶芸講座**　57万円

財源

その他（受講料など）	92 万円
市の負担額	191 万円

五箇山自然文化解説員養成講座　69 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

昨年に引き続き「五箇山自然文化解説員養成講座」を開設します。

市民が五箇山地方の自然文化を学び、世界遺産「五箇山合掌造り集落」に対する理解を深めることにより、伝統文化の継承へつなげます。講座は基礎コースと実践コースで行います。

現地研修の様子

基礎コース
［市民対象］
開催場所　福野文化創造センター
講座回数　年間10回（現地研修1回含）

実践コース
［基礎コースを修了した方を対象］
開催場所　春光荘ほか
講座回数　年間6回（現地研修4回含）

財源

その他（受講料）	13 万円
市の負担額	56 万円

高齢者学級費　239 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

市民の学びたい心の応援や生きがいづくりの支援のため、講座や教室を開催しています。

- **緑の里講座開催費　147万円**
  市民を対象に、一般教養講座を年間20回開催。会場は、福光庁舎別館、ヘリオス、井波総合文化センター、じょうはな座です。

現地研修の様子

- **地域高齢者教室開催助成　92万円**
  高齢者が生活に生きがいを見出すため、教養、趣味、体験などの教室や交流の場を各地域で開催される経費を助成します。

財源

その他（受講料）	42 万円
市の負担額	197 万円

地域子ども教室推進費　539 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

小学生が、地域の中で安全に安心して活動できるよう「放課後子ども教室」を9小学校校区で11教室開設します。

この教室は、地域の方々の参画により勉強やスポーツ、文化活動等を行なっており、社会体育・教育施設や小学校の体育館等を利用し、平日の放課後や週末・休日に活動しています。

城端校区（2教室）	平校区　（1教室）
上平校区（1教室）	利賀校区（1教室）
井波校区（2教室）	井口校区（1教室）
福光中部校区（1教室）	福野校区（1教室）
福光南部校区（1教室）	

放課後子ども教室の様子

財源

国県支出金	356 万円
その他（保険料負担金）	3 万円
市の負担額	180 万円

公民館振興費　5,250 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

地区公民館は、地域の「憩いの場」「学びの場」「ふれあいの場」として身近な生涯学習の場所です。

31館の自主的な学習活動や運営、地域の絆づくりなどの公民館活動を支援します。

公民館長報酬（31名）	155万円
公民館主事報酬（31名）	140万円
公民館指導員報酬（31名）	2,976万円
地区公民館活動交付金（31館）	1,860万円
公民館連合会補助金他	119万円

南砺市公民館連合会
砺波地区公民館連合会
富山県公民館連合会

公民館活動の様子

公民館管理費　6,016 万円

(担当:井波庁舎　生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課　問合せ先　23-2013)

地区公民館31館と福野産業文化会館の施設管理費です。

公民館は、地区の活動の中で維持管理もお願いしており、維持管理交付金を公民館の面積や体育館の有無で算定して交付しています。

現在、地区公民館のバリアフリー化工事を計画的に行っています。

公民館維持管理費（平･上平･利賀地域等の公民館管理費）	541万円
地区公民館維持管理交付金	1,200万円
福野産業文化会館指定管理料（福野中部自治振興会）	469万円
公民館ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化工事（高瀬、高瀬西、西太美）	3,286万円
大鋸屋・蓑谷公民館耐震診断業務委託	520万円

財源

国県支出金	61 万円
起債	3,120 万円
その他(施設使用料等)	161 万円
市の負担額	2,674 万円

その他社会教育施設管理費　2,027 万円

(担当:井波庁舎　生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課　問合せ先　23-2013)

福光福祉会館、松村記念館、福光青少年センター、城端勤労青少年ホーム及び城端陶芸工房の施設管理費です。

福光福祉会館等管理費	1,464万円
城端勤労青少年ホーム	430万円
指定管理料（城端地区自治振興会）	
城端陶芸工房管理費	57万円
福光福祉会館周辺施設再編検討事業	26万円
協働のまちづくり提案事業（協働管理者制度を築くモデルケース）	50万円

福光福祉会館

財源

その他(施設使用料等)	252 万円
市の負担額	1,775 万円

図書館事業　8,107 万円

(担当:中央図書館　　問合せ先　　52-0317)

市立図書館は、生涯学習の拠点として中央館（福光）・４地域館（城端・平・井波・福野）、３サービスコーナー（井口・上平・利賀）体制で運営しています。

図書館では、図書や視聴覚資料の充実や手作り絵本教室などの自主事業の開催を通じて、市民の皆さんが読書に親しむ機会づくりを行ない、皆さんに親しまれる、利用しやすい図書館を目指しています。

○図書館管理運営費　5,750万円

賃金、光熱水費、清掃委託料等の維持管理費
手作り絵本教室や子ども会、お話し会の講師謝礼、材料代等の自主事業費

お話会の様子

○図書館資料整備費　2,357万円

一般書、児童書、視聴覚資料、新聞、雑誌購入費

財源

その他（コピー代など）	40 万円
市の負担額	8,067 万円

平成24年４月から、南砺市立図書館のホームページをリニューアルしました。

検索機能を充実させ、子ども向けのキッズページをもうけ、携帯電話からも図書の検索や予約ができるようになりました。

http://library.city.nanto.toyama.jp/www/index.jsp

社会体育施設管理費　5億1,001 万円

（担当：井波庁舎　生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課　問合せ先　23-2013）

市内の主な社会体育施設は、指定管理者に運営を委任しております。
弾力性や柔軟性のある施設運営を行い、利用者へのサービス、利便性の向上につなげます。
また、皆さんに安心して利用していただけるよう、日常管理と計画的な改修修繕により、安全な施設づくりに努めます。

城端西部体育館等体育施設指定管理料（ＮＰＯクラブJoy）	2,872万円
福野体育館等体育施設指定管理料（ＮＰＯふくのスポーツクラブ）	4,495万円
井波社会体育館等体育施設指定管理料（ＮＰＯアイウェーブ）	1,954万円
福光体育館等体育施設指定管理料（ＮＰＯ福光スポーツクラブ）	2,413万円
福光里山体育館等体育施設指定管理料（水口造園㈱）	460万円
木彫りの里テニスコート指定管理料（㈱井波木彫りの里）	250万円
城端温水プール指定管理料（安達建設㈱）	1,690万円
福光総合グラウンド等体育施設指定管理料（医王アローザ㈱）	6,571万円
桜ヶ池クライミングセンター管理業務委託料	173万円

利賀中村体育館改修工事	1億8,500万円
高瀬ふれあい体育館軒天・屋根修繕工事	884万円
福光体育館屋外階段修繕工事	240万円
福光プール新熱源棟建設工事	6,535万円
福光プールろ過材入替工事	430万円
福光プール採暖室改装工事	389万円
城南パーク暗渠新設工事	220万円
社会体育館管理費	649万円
テニスコート管理費	260万円
プール管理費	483万円
グラウンド管理費	642万円
その他施設管理費	891万円

財源

起債	2億3,770 万円
その他（施設使用料等）	243 万円
市の負担額	2億6,988 万円

南砺市体育協会補助金　4,300 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

市体育協会は、市民にスポーツを普及・推進し、市民の健康増進と体力の向上を図ります。

市体育協会の事業概要
- スポーツ行事の企画・運営
- 競技力の向上
- スポーツ団体の育成強化
- スポーツ指導者の養成
- スポーツに関する広報活動　等

南砺市体育協会補助金　4,300万円

市民体育大会開会式

スポーツ少年団入団式

青少年トップアスリート育成強化事業補助金　50 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

全国で競い合えるトップアスリートの育成強化に向け、対象とする競技種目を限定し、市体育協会を通じて才能あるジュニア選手の発掘育成をします。

青少年トップアスリート育成強化事業補助金
50万円

バドミントンの指導

水泳の指導

総合型地域スポーツクラブ育成費　910 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

総合型地域スポーツクラブは、市民が身近な地域でスポーツに親しむことができ、地域住民により自主的・主体的に運営されるクラブです。子どもから高齢者まで、また初心者でも、様々なスポーツを愛好する人々が、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できます。

いのくちスポーツクラブ補助金	175万円
利賀スポーツクラブ補助金	165万円
たいらスポーツクラブ補助金	165万円
五箇山スポーツクラブ補助金	165万円
４NPO法人スポーツクラブ補助金	200万円
スポーツクラブ連絡協議会補助金	40万円

健康教室

ちびっこサッカー教室

スポーツイベント開催補助金　90 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

スポーツイベントを通して運動やスポーツを継続して行うことの素晴らしさや大切さを知り、健康づくりの意識の高揚を図ることで、運動・スポーツ活動の習慣のきっかけをつくります。

また、目標に向かって団結し活動することで連帯感が生まれ、コミュニティづくりや地域の活性化につながります。

チャレンジデー補助金	60万円
スポレクデー補助金	30万円

チャレンジデー

スポレクデー

スポーツ全国大会開催補助金　260 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

スポーツの全国大会を誘致し、大会事業の助成をします。レベルの高いスポーツを間近で観ることにより、市民のスポーツへの関心が高まり、かつ競技力の向上につながります。

スポーツクライミングJOCジュニア オリンピックカップ大会補助金	175万円
西日本バイアスロン選手権大会補助金	85万円

スポーツクライミングJOC
ジュニアオリンピックカップ
大会

西日本バイアスロン
選手権大会

財源

その他（地域活性化センター助成金）	175 万円
市の負担額	85 万円

雪合戦なんと・全国小学生雪合戦大会開催補助金　350 万円

（担当：井波庁舎 生涯学習ｽﾎﾟｰﾂ課 問合せ先 23－2013）

雪を効果的に利用する屋外スポーツレクリエーションにより、冬季においても市民が明るく健康的な生活を送り地域コミュニティが活性するよう、「雪合戦なんと」の事業を助成します。本年度は、20回目の開催を記念し、小学生の全国大会が同時開催されます。

雪合戦なんと・全国小学生雪合戦大会補助金	350万円

雪合戦なんと

財源

その他（自治総合センター助成金）	200 万円
市の負担額	150 万円

指定文化財管理費　708 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

南砺市には239の指定文化財があります。文化財は、私たちの歴史、伝統、文化などを理解するために欠かせないものであると同時に、将来の文化の向上や発展の基礎となるものです。

市では、住民や所有者との協働によって文化財の適切な保存と活用を行い、未来へ守り伝えていけるよう努めます。

○指定文化財管理業務　641万円

維持管理謝礼
- 縄ヶ池ミズバショウ群生地（城端）の環境整備
- 梛谷の福寿草自生地（井口）の巡視　など

管理業務委託
- 福光城址栖霞園(福光)池尻中世石塔群(井口)の管理･除草等
- 巴塚の松（福光）樹木保護

修繕および工事
- 翁塚並に黒髪庵(井波)の芭蕉堂半解体修理

○指定文化財説明板更新　67万円

財源

国県支出金	24 万円
市の負担額	684 万円

◆南砺市の指定文化財　（単位：件）

種別			国指定	県指定	市指定
有形文化財	建造物		5	6	12
	美術工芸品	絵画	—	2	11
		彫刻	1	5	21
		工芸品	—	2	13
		書跡･典籍･古文書	2	1	34
		考古資料	—	—	6
		歴史資料	—	1	7
民俗文化財	有形民俗文化財		—	2	2
	無形民俗文化財		1	2	6
記念物	史跡		3	1	47
	史跡･名勝･天然記念物		—	—	1
	名勝		—	—	4
	名勝・天然記念物		—	—	4
	天然記念物		1	6	30
小　計			13	28	198
指定文化財　総　計					239

◆南砺市の国選定・選択・登録文化財　（単位：件）

選定文化財	2	伝統的建造物保存地区
選択文化財	2	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
登録文化財	3	建造物

善徳寺建造物等調査　124 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

城端別院善徳寺は本願寺八世蓮如が開き、永禄2年(1559)に城端に招致されて以来、町立てに大きく関わっただけでなく、現在も人々の心のよりどころとなっています。また、創建以来、一度の火災にも遭っていないめずらしい建造物です。

これらの建築物について、貴重な文化財として一層の保存と活用を図るため、正確に現状を把握し、善徳寺ならではの特徴を見出すよう詳細な調査を行います。

・調査計画

年度	調査計画
平成20年度	予備調査 調査委員会立上げ・調査計画策定
平成21年度	境内地測量・調査委員会
平成22年度	全体詳細調査・補足調査（文献調査） 調査委員会
平成23年度	個別詳細調査･補足調査(文献調査･比較調査) 調査委員会
平成24年度	補足調査(文献調査･比較調査)･写真撮影 報告書印刷製本（原稿作成・校正作業） 調査委員会

文化財保存修理事業補助金　3,241 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

○城端曳山等修理事業補助金　386万円

城端曳山祭保存会が国庫補助を受けて行う曳山等の修理について経費の一部を補助します。

○善徳寺本堂緊急震災対策事業補助金　2,000万円

善徳寺が県費補助を受けて行う、本堂の緊急震災対策のための修理工事について経費の一部を補助します。この修理は５年計画で行われます。

＜実施内容＞

善徳寺本堂の耐震補強を目的とした部分修理
- 屋根材の軽量化
- 軒周り、小屋組、床組の解体と柱の建て起こし
- 構造補強フレームの設置

○市指定文化財保存事業補助金　855万円

・井波別院瑞泉寺本堂屋根修理工事（2年次）

市指定文化財の所有者が行なう、文化財保存のための保護や修理に要する経費の一部を補助します(補助金額は経費の30%以内・3,000万円限度)。

※この補助制度を利用される場合は、着手の前年度の10月までに文化課へご相談下さい。

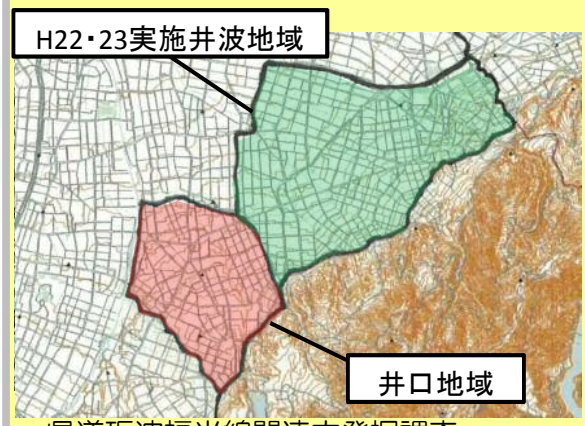
埋蔵文化財調査費　1,356 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

県営ほ場整備事業に先立って梅原胡摩堂遺跡の本発掘調査を行います。また、市内の井口・平地域において遺跡を探す調査を行います。

〈井口・平地域〉

埋蔵文化財詳細分布調査　130 万円



県道砺波福光線関連本発掘調査　158 万円

市内遺跡試掘調査　124 万円

事務費　223 万円

〈福光地域〉

県営ほ場整備に伴う本発掘調査　721 万円

北山田中部西地区690㎡

財源

国県支出金	1,057 万円
市の負担額	299 万円

世界遺産・合掌造り家屋保存事業　7,444 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

世界遺産「五箇山の合掌造り集落」や周辺地域の環境を維持、保全する事業です。

茅の葺き替え作業や家屋の修理、集落環境の整備等を支援しています。

世界遺産集落を次世代に引き継ぐためのマスタープランを策定します。

主な事業

世界遺産マスタープラン策定費 293 万円

国史跡合掌造り集落保存修理事業　2,212 万円

県単合掌造り集落保存修理事業 400 万円

国指定文化財管理事業補助金 1,250 万円

県指定文化財羽馬家保存修理事業補助金　284 万円

合掌造り家屋保護事業　3,005 万円

財源

国県支出金	4,375 万円
その他（所有者負担金）	73 万円
市の負担額	2,996 万円

世界遺産　菅沼合掌集落

南砺市美術展「市展」開催事業　349 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

南砺市美術展覧会を開催する経費です。
作品は、市内から広く一般公募することで、市民一人ひとりの芸術文化活動への自発的な参加と創作意欲の向上につなげます。
審査により入選・入賞作品を選抜します。

【部門】日本画・洋画・写真・彫刻・工芸・書
【賞】市展大賞･市展賞･奨励賞･努力賞･菊華賞
【応募資格】市内に在住または勤務、通学する人
【搬入日】11月4日(日)、5日(月)

入選作品と招待作品を一堂に展示します

【展示会場】福野文化創造センター･福光美術館
【観覧料金】無料
【展示期間】11月10(土)～18日(日)を予定

芸術文化振興事業　2,988 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

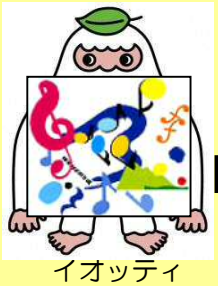
○アートで遊ぼう事業　35万円
福野文化創造センター・福光美術館で美術創作活動に親子参加してもらい作品を市展に展示。集客と新進作家育成を期待します。

○井波美術館木造部分改修工事　450万円
収納庫、倉庫、書庫、湯沸かし室、通路の改修をします。

○文化協会活動補助金　448万円
文化協会、美術協会を通じて、発表や伝統芸能保存活動にかかる経費を支援します。

○福光声楽サマーセミナー補助金 1,250万円
福光IOX-AROSAを会場に、声楽家志望者など全国的に受講生を募集し、声楽のみの体系的なセミナーを開催します。

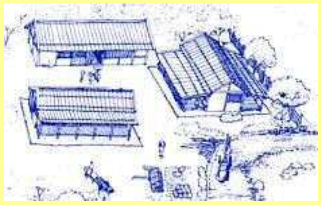
平成24年8月1日(水)～7日(火)
期間中、一般向けｺﾝｻｰﾄ開催予定。
3日　JA福光中央会館
5日　IOX-AROSA村体験交流ｾﾝﾀｰ


イオッティ

博物館運営費　2,722 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

○ 井波歴史民俗資料館管理運営費 915万円
1,200年前の役所跡である国指定史跡・高瀬遺跡の発掘成果と市内主要遺跡で発掘された出土品を展示しています。前年の発掘調査速報展と9月に文化財の展示を企画しています。
また、史跡公園の活用として、高瀬遺跡菖蒲まつりが開催されています。（平成24年6月23日、24日）


高瀬遺跡復元推定図

○ 城端曳山会館管理運営費　1,487万円

300年の歴史を誇る重要無形民俗文化財・城端曳山祭を華麗に演出する曳山・庵屋台・傘鉾を展示しています。山町6ヶ町のうち3ヶ町分を、毎年5月4、5日の祭礼を境に入れ替えて展示しています。

○ 城端曳山会館耐震診断委託料　320万円

財源

その他（施設使用料）	497 万円
市の負担額	2,225 万円

利賀芸術公園支援事業　2,524 万円

（担当：井波庁舎　文化課　問合せ先　23-2014）

○ 舞台芸術事業補助金　800万円
利賀サマーアーツプログラムをはじめとする舞台芸術公演を支援します。

○ 世界的舞台芸術拠点づくり推進事業　700万円
舞台芸術の拠点づくりを一層推進するために、次の事業を支援します。
- シンガポールなどの国家芸術評議会と共同制作する鈴木忠志氏演出作品の上演
- アジアの演出家が課題戯曲の上演を競うコンクール形式のフェスティバル
- アジアの演劇人と日本の若い俳優・演出家との交流プログラム

○ 利賀芸術公園指定管理料（富山県文化振興財団）　685万円

井波総合文化センター事業　1億1,030 万円

（担当：井波総合文化センター　問合せ先　82－5885）

井波総合文化センターは、生涯学習や文化活動、地域活動の場として、また活動成果の発表の場として、快適に安心して使用できるよう施設の管理・運営をしています。

平成24年度には、外壁・屋上防水改修工事とエレベーター設置工事をおこない、さらに安全で使いやすい施設をめざします。

メモリアホール

施設管理費	**2,542万円**
外壁・屋上防水改修工事	**5,670万円**
エレベーター設置工事	**1,534万円**

当センターでは、市民の皆さんが一流の芸術、文化、芸能に触れられるよう、自主事業公演を実施し、鑑賞の機会を提供しています。

平成24年度には、次の公演を予定しています。

自主事業費　1,284万円

児童演劇「おおかみと７ひきのこやぎ」（6月17日開催）
松竹特別公演「初蕾」（9月5日開催）
小椋佳コンサート
白鳥英美子＆中村由利子コンサート
プチコンサート

財源

起債	1,450 万円
その他(使用料･入場料等)	1,395 万円
市の負担額	8,185 万円

福野文化創造センター事業　1億1,841 万円

（担当：福野文化創造センター　問合せ先　22-1125）

福野文化創造センターは、芸術文化と社会教育の施設です。円形劇場「ヘリオス」や展示ホール「アートスペース」、会議室、練習スタジオ、福野図書館があり、設備点検や整備を行ないながら、安全に安心して利用していただける施設となるよう努めています。

平成24年度には照明設備などの改修工事を行います。

施設管理費	6,778万円
舞台照明改修工事	3,000万円
その他の営繕・修繕工事	403万円

元旦コンサート

「ヘリオス」では、円形劇場という特徴を生かして、印象的なコンサートや優れた芸術文化の鑑賞機会を提供する自主事業公演を実施しています。平成24年度は、次の事業を行います。

円形劇場「ヘリオス」

○ヘリオス事業（舞台芸術鑑賞）　1,266万円
自主公演（海外の特徴あるアーティストの公演）
第20回元旦コンサート（元日に開催しているｸﾗｼｯｸ音楽会）
グルーヴィーナイト（今、注目されている音楽ライブ）
ヘリオス・アットホーム（気軽に楽しめる音楽会シリーズ）

○アートスペース事業（美術鑑賞）　394万円
版画40年の潮流（多摩美大コレクション作品から展示）
こどもミニ版画展（アートで遊ぼうﾜｰｸｼｮｯﾌﾟと作品展示）
収蔵品展（［日本画］長崎莫人の作品を展示）
世界ポスタートリエンナーレトヤマ（県内巡回展）

財源

その他(使用料･入場料等)	1,948 万円
市の負担額	9,893 万円

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド事業等補助金　1,125 万円

（ 担当:福野文化創造センター　問合せ先　22-1125）

スキヤキはボランティアスタッフによって企画・運営されています。海外のアーティストによるコンサートや楽器演奏ワークショップなどを通して外国の文化と出会い、交流を楽しんでいます。また、新しい音楽を作り出し、世界へ発信しています。

○スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド事業補助金　1,000万円

【事前会期：平成２４年６月３日～８月２３日】
- キャラバン公演（市内での出前コンサート）
- ワークショップ、アーティスト滞在型事業

【本会期：平成２４年８月２４日(金)～２６日(日)】
- コンサート（フローラルやヘリオスなどの４つの特色あるコンサート）
- スキヤキパレード
- ワークショップ（楽器体験など）
- シンポジウム
- フリーマーケット、映画、カフェ

○スキヤキ・トーキョー事業補助金　125万円

日本の中心「東京」でスキヤキに出演したアーティストのコンサートを開催し、東京からスキヤキと文化創造都市〝南砺市〟を発信します。

【会期：平成２４年８月２７日～９月２日】

美術品整備　50 万円

（ 担当:福野文化創造センター　問合せ先　22-1125）

福野文化創造センターには過去からの収蔵品や作家の方からの寄贈など、さまざま美術品が収蔵されています。作品を展示するために必要な額装や整備をします。

これらの美術作品は市民の皆さんに鑑賞、親しんでいただくため、福野文化創造センターの常設展示や収蔵品展で公開しています。また、市外の美術館の展覧会に貸し出すこともあります。

「同居の庭」（平成22年に整備）
日本画家　齋藤清策先生から寄贈された作品です。
現在は平中学校で展示しています。

福光美術館事業　5,218 万円

（ 担当:福光美術館　問合せ先　52-7576）

福光美術館の企画展を実施する経費や電気料や冷暖房などの維持管理費です。

当美術館では、各種展覧会を開催し、市民の皆さんが気軽に美術に親しめる機会を提供しています。ぜひお越し下さい。

- 施設管理費　2,434 万円
- 美術館増築検討事業　56 万円
- 常設展示室空調機器更新事業　1,010 万円
- 展示用LEDスポットライト購入　46 万円
- 自主事業費　1,672 万円

《平成24年度の企画展等》
雪梁舎美術館コレクション棟方志功展
墨華-現代女流水墨画展-
日本のふるさとを描く向井潤吉展
第11回なんと版画年賀状公募展
第2回ザ・セッション！Artの俊英展
マンスリーアート展(市民ギャラリー)

財源

その他（入館料等）	904 万円
市の負担額	4,314 万円

棟方志功記念館事業　667 万円

（ 担当:福光美術館　問合せ先　52-7576）

棟方志功記念館「愛染苑」や隣接する「鯉雨画斎」、「青花堂」の電気料や冷暖房などの維持管理費です。

当館では、棟方志功の作品や南砺地域の民芸品等を四季に応じて展示しています。

- 施設管理費　628 万円
- 作品展示用ガラスケース他購入　39 万円

財源

その他（入館料等）	270 万円
市の負担額	397 万円

特別会計
企業会計

国民健康保険事業特別会計

（担当：井波庁舎　健康課　　問合せ先　23-2011）

国民健康保険事業特別会計の概要　（特別会計全体）　57億6,650 万円

国民健康保険（国保）は、病気やけがに備えて加入の皆さんがお金（国民健康保険税）を出し合い、医療機関にかかるときの医療費の補助などにあてる助け合いの制度です。

【主な経費内訳】

・療養給付費等（医療機関等支払金）	34億3,126万円
・高額療養費	3億9,143万円
・出産育児一時金・葬祭費	2,041万円
・後期高齢者支援金	6億7,079万円
・介護保険納付金	3億　961万円
・国保税賦課徴収事務費	551万円
・カード型保険証一斉更新経費	319万円
・保健事業費	645万円
・特定健康診査等事業費	7,431万円
・特定保健指導事業費	317万円

医療費の一部負担割合

０歳～義務教育就学前	２割
義務教育就学～６９歳	３割
７０歳以上	２割 ※

※　平成25年3月31日までは1割
　　現役並み所得者は3割

財源

国民健康保険税	12億9,493万円
国県支出金	12億8,206万円
支払基金からの交付金	20億4,965万円
その他（共同事業交付金など）	7億3,138万円
一般会計からの繰入金	4億　848万円

＊平成２４年度から国民健康保険税の税率が変わります。
　詳しくはちらし、ホームページなどでお知らせする予定です。

特定健康診査等事業費　7,431 万円

40歳から74歳以下の方で南砺市国民健康保険の加入者を対象に、糖尿病、高血圧、脂質異常症、動脈硬化などの生活習慣病を予防するために特定健康診査を行っています。

○対象者
・南砺市国民健康保険に加入している方
・年度内に40歳以上になる方から74歳以下の方

○実施方法
　特定健診：南砺市指定医療機関による個別健診
　人間ドック：厚生連高岡健康管理センター又は南砺市民病院・南砺中央病院における人間ドック検診

○個人負担金
　特定健診：無料
　人間ドック：男性　14,000円
　　女性　15,000円

○主な経費

・委託料	7,220万円
・その他事務費	211万円

財源

国県負担金	2,284 万円
人間ドック個人負担金	1,092 万円
その他（健康診査受託料など）	739 万円
一般会計からの繰入金	3,316 万円

特定保健指導事業費　317 万円

特定健康診査の結果から、メタボリックシンドローム該当者に対して生活習慣を見直し、生活習慣病を予防するために保健指導を行います。

○対象者
　特定健康診査の結果、「積極的支援」及び「動機づけ支援」に該当された方

○実施方法
・保健師や管理栄養士による個別面接や訪問指導
・高血糖予防教室
・健康運動指導士による運動教室や糖尿病予防教室

○個人負担金
　無料（材料等を徴収する場合があります）

○主な経費

・委託料	60万円
・備品購入費	33万円
・事務費	224万円

財源

国県負担金	212万円
一般会計からの繰入金	105万円

後期高齢者医療事業特別会計

（担当：井波庁舎　健康課　　問合せ先　23-2011）

後期高齢者医療事業特別会計の概要　（特別会計全体）　14億3,540 万円

７５歳（一定の障がいがあるときは６５歳）以上の方は後期高齢者医療制度を受けることになります。後期高齢者医療制度は、「富山県後期高齢者医療広域連合」が運営していますが、保険料の納付や窓口業務は市がおこなっています。

【主な経費内訳】

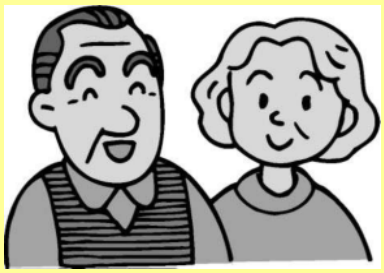
・広域連合納付金	13億8,634万円
（内訳）	
・療養給付費分	6億5,694万円
（給付の市公費負担分）	
・事務費分	3,723万円
・基盤安定分（保険料軽減分）	1億6,098万円
・保険料分	5億3,119万円
・保険料徴収事務費	561万円
・保健事業費	3,571万円

財源

後期高齢者医療保険料	5億3,119万円
広域連合からの受託収入	3,366万円
その他（償還金など）	224万円
一般会計からの繰入金	8億6,831万円

医療費の一部負担割合

1割負担
※現役並み所得者は3割負担



保健事業費　3,571 万円

後期高齢者医療制度の被保険者（主に75歳以上）を対象に、健康診査を実施しています。

・対象者　後期高齢者医療保険に加入している方

・実施方法　南砺市指定医療機関での個別健診

・受診期間　６月～９月

・個人負担金　無料

主な経費

健康診査委託料	3,425 万円
事務費	146 万円

財源

広域連合からの受託収入	3,366 万円
一般会計からの繰入金	205 万円

医療費の増加を食い止めるために

皆さんがお医者さんにかかったときの医療費は年々増え続けています。医療費が増えればそれに見合った保険料が必要となります。少しでも、医療費の増加を食い止めるために、また、安心して医療が受けられるように、お医者さんにかかるときや薬局で薬の処方を受けるときには、加入者一人一人が以下のことに心がけましょう。

1 かかりつけの医師を持ち、気になることがあったらまずは相談しましょう。

2 医師を信頼し、指示を守りましょう。

3 同じ病気で複数の医療機関を受診することは、控えましょう。
重複する検査や投薬により、かえって体に悪影響を与えてしまう心配があります。

4 薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。

5 後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と同等の効果をもち、費用も安くすみます。医療機関や薬局で利用について相談しましょう。

国民健康保険診療所事業特別会計

（担当：南砺家庭・地域医療センター　医療局　　問合せ先　　23－1003）

国民健康保険診療所事業特別会計の概要

（特別会計全体）　3億6,050 万円

南砺市では地域住民の健康を守る拠点として、国民健康保険診療所を市内の4箇所に設置しています。この特別会計では、この４診療所の運営費等を計上しています。

なお、南砺市の診療所、特に南砺家庭・地域医療センターでは富山大学付属病院総合診療部・南砺市民病院との連携の下、家庭医/総合医育成施設としての取り組みをおこなっています。

【経費内訳】

- ４診療所の職員給与　1億3,257万円
- ４診療所の運営費用　8,171万円
- 診療所往診車両購入　150万円
- 医薬品及び診療材料　8,818万円
- 医療用機械器具購入　780万円
- 市債元金償還金　4,382万円
- 市債利子償還金　392万円
- 予備費　100万円

財源

国県支出金	390 万円
起債	370 万円
その他（診療収入など）	1億9,825 万円
一般会計からの繰入金	1億5,465 万円

○南砺市が設置している診療所
南砺家庭・地域医療センター
南砺市平診療所
南砺市上平診療所
南砺市利賀診療所

訪問看護事業特別会計

（担当：南砺家庭・地域医療センター　医療局　　問合せ先　　23－1003）

訪問看護事業特別会計の概要

（特別会計全体）　2億2,510 万円

南砺市では、平地から山間地域まで、地域住民の皆様が希望される在宅療養のサービスを提供するため、訪問看護ステーションを設置しております。訪問看護事業特別会計では、訪問看護ステーションを運営するための経費等を計上しています。

【経費内訳】

- 訪問看護事業に従事する職員の給与費　1億8,186万円
- 訪問看護事業　1,925万円
- 訪問看護車両購入　230万円
- ナースプラクティショナー的ナース養成講習会費用　24万円
- 市債元金償還金　144万円
- 市債利子償還金　60万円
- 基金積立金　941万円
- 予備費　1,000万円

※ 基金積立金は何年後か、訪問看護事業が予算不足となった場合に備え貯金を積み立てるものです。

財源

起債	210 万円
その他（手数料など）	2億2,300 万円

介護事業特別会計

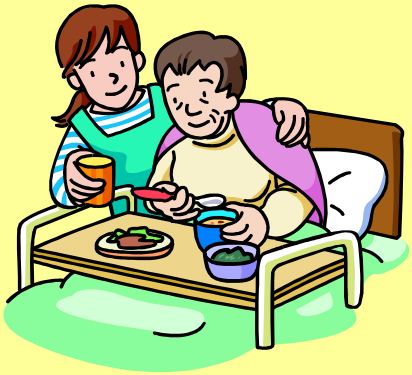
（担当　介護福祉支援センター　問合せ先　82-7774、井波ホームヘルプステーション　問合せ先　82-0524）

介護事業特別会計の概要　（特別会計全体）　3億3,910 万円

南砺市（介護福祉支援センター）では、介護が必要な方々を支援する、各種事業を実施しています。

【経費内訳】

- 居宅介護支援事業　8,317万円
- デイサービス事業　1億9,380万円
- ホームヘルプ事業　3,287万円
- 生活支援ハウス事業　596万円
- 介護事業市債償還金　2,250万円
- 予備費　80万円



財源

使用料及び手数料	1億9,892万円
起債	900万円
その他（受託事業収入など）	1,601万円
一般会計からの繰入金	1億1,517万円

デイサービス事業　1億9,380 万円

介護が必要な方に、日帰りで入浴や食事、日常動作訓練、レクリエーションの介助サービスを行っています。

高齢者が自立した生活ができるよう、必要な日常生活上の介助や機能訓練を行い、社会的孤立の解消、身体機能の維持、家族介護の軽減を図るための施設として井口、平、上平、利賀の各デイサービスセンターを開設しています。

デイサービスセンターでは看護師や介護職員、生活相談員等の専門職員が、利用者の健康状態の確認、入浴、給食、各種身体介護、送迎などのサービスを行っており、年間14,000人のご利用をいただいております。

ご利用を希望される場合は介護認定が必要で、最寄りの行政センターまたは、各デイサービスセンターにお問い合わせ下さい。

○問い合わせ先

井口デイサービスセンター　℡６４－８８０１
平デイサービスセンター　℡６６－２８６６
上平デイサービスセンター　℡６７－３００３
利賀デイサービスセンター　℡６８－２３１６　まで

財源

起債	900万円
その他（手数料など）	1億3,540万円
一般会計からの繰入金	4,940万円

介護事業特別会計

（担当　介護福祉支援センター　問合せ先　82-7774、井波ホームヘルプステーション　問合せ先　82-0524）

居宅介護支援事業　8,317 万円

介護が必要な方のケアプラン（居宅サービス計画書）を作成し、通所・訪問等の介護保険施設や関係機関との連絡調整、介護保険情報をお知らせします。

介護支援専門員（ケアマネジャー）は、利用者家族の意向を聞きながらケアプランを立て、また介護保険施設への紹介を行います。

井波在宅介護支援センターでは毎月250件、五箇山在宅介護支援センターでは毎月70件のプランを担当し、年間約200件の相談を受けています。

○お問合せ先
井波在宅介護支援センター　℡ 82-7773
五箇山在宅介護支援センター　℡ 66-2808

財源

その他（手数料など）	5,775 万円
一般会計からの繰入金	2,542 万円

ホームヘルプ事業　3,287 万円

介護が必要な方のお宅に、ホームヘルパーや介護福祉士が訪問し、健康チェック、排泄介助、食事介助、清拭・入浴介助、体位変換などの身体介護や、調理、買い物、ベットメーキング、掃除などの日常生活のお手伝いをします。また、介護に関する相談も行っています。

現在、井波ホームヘルプステーションでは約４０名、五箇山ホームヘルプステーションでは約１０名の方が週１回～ほぼ毎日、ホームヘルプサービスを受けておられます。

ホームヘルパーのサービスを利用される場合は、介護認定が必要で、最寄りの行政センターへお申込み下さい。

財源

その他（手数料など）	2,026 万円
一般会計からの繰入金	1,261 万円

生活支援ハウス事業　596 万円

南砺市に住所を有する、おおむね６５歳以上の方で、高齢等のため独立した生活に不安があると認められ、自立して日常生活ができる方が対象となります。

【入居の要件】
・ひとり暮らしの方　・高齢者のみの世帯の方
・家族による援助を受けることが困難な方
・経済的に他の施設などの利用が困難で独立生活が難しい方の一時的な入居施設です。

【サービス内容】
・居室の提供
・利用者に対する各種相談と助言、緊急時の対応
・利用者の虚弱化などに伴う介護サービスや保険福祉サービスなどの援助を行います。

なお、利用者の所得に応じ、居室の使用料のほか、食材料代や日常生活用品の実費相当の負担が必要になります。

【入居のご相談は】
・南砺市福祉課　℡ ２３－２００９
・平つつじ荘　℡ ２３－２０３４

財源

その他（使用料）	73 万円
一般会計からの繰入金	523 万円

介護事業市債償還金　2,250　万円

○介護事業市債元金償還金　2,063万円
○介護事業市債利子償還金　187万円

南砺市が運営するデイサービスセンターの建設費や福祉車両・介護備品等を購入するために公的機関から借りた金額を、計画的に返済する元金とその利子です。

財源

一般会計からの繰入金	2,250 万円

バス事業特別会計

（担当:井波庁舎　住民環境課　　問合せ先　23-2035）

バス事業特別会計の概要

（特別会計全体）　1億3,140 万円

市営バス事業は、バス事業特別会計で運営されています。バスの運行に必要な経費などを計上しています。

【主な経費内訳】

- 職員給与・賃金等　3,032 万円
- 市営バス運行委託料　3,825 万円
- 時刻表作成等事務費　231 万円
- 車庫等維持管理費　17 万円
- 車両整備等　901 万円
- 車両燃料代　1,284 万円
- 地方債元利償還金　380 万円
- 予備費　100 万円

財源

国県支出金	3,718 万円
起債	1,240 万円
その他（利用料など）	1,613 万円
一般会計からの繰入金	6,569 万円

【新規事業など】

- 協動のまちづくり提案事業補助金
  市民と行政による協働のまちづくりを進めるために平成25年度以降の市営バス時刻表作成の調査費等の経費　90万円

- 市営バス車両購入
  老朽化した市営バス車両の更新を行います。
  更新する予定の車両
  ２９人乗りマイクロバス　１台
  ３３人乗りノンステップバス　１台
  3,280万円

工業用地造成事業特別会計

（担当:城端庁舎　企業誘致推進室　　問合せ先　23-2017）

工業用地造成事業特別会計の概要

（特別会計全体）　6億2,760 万円

南砺市内の企業の育成や、市外からの企業を誘致していくために、工場等を立地するための用地の確保と工業用地の造成をするための経費を計上しています。

【経費内訳】

- 二日町工業用地造成設計業務委託料　777 万円
- 二日町工業用地造成工事　1億8,334 万円
- 二日町工業用地取得費及び物件補償費　4億310 万円
- 一般会計へ繰り出す金額　3,146 万円
- 事務費等　193 万円

【新規の事業】

- 平成２４年度は、福野地域にある企業の工業施設用地の確保と造成を行います。
- 経費については、経費内訳のとおり。

財源

土地売り払い収入	6億2,645 万円
その他（繰越金）	10 万円
一般会計からの繰入金	105 万円

簡易水道事業特別会計

（担当:福光庁舎　上下水道課　　問合せ先　23-2023）

簡易水道事業特別会計の概要　（特別会計全体）　3億4,650 万円

簡易水道事業は、自己水源から水道水を供給している五箇山地域と福光地域の一部を対象として、簡易水道事業に係る歳入・歳出を一般会計と区分して特別会計を設置し、管理運営しています。

施設の概要
- 管路延長　約108Km
- 配水池　５３箇所

【経費内訳】

・簡易水道管理費（給与費）	1,522万円
・福光簡易水道管理費	202万円
・五箇山地域簡易水道管理費	4,829万円
・五箇山地域簡易水道施設整備費	1億6,390万円
・簡易水道事業元金償還金	9,278万円
・簡易水道事業利子償還金	2,249万円
・消費税支出金	30万円
・予備費	150万円

財源

簡易水道加入金	32万円
簡易水道使用料	6,065万円
国県支出金	4,681万円
起債	1億1,140万円
その他（受託事業収入など）	1,039万円
一般会計からの繰入金	1億1,693万円

統合簡易水道事業（上平地域）　1億1,272 万円

平成１９年度から上平地域の水源を良質な打越トンネルの水に切り替える事業を行っています。

平成２４年度は新屋橋及び赤尾橋に水管橋を敷設、また、赤尾配水池への送配水管を整備し、新屋・東赤尾地区への給水を開始します。

○ 事業費
- 設計業務委託料　600万円
- 配水管敷設工事費　1億672万円

財源

国県支出金	2,520 万円
起債	8,740 万円
一般会計からの繰入金	12 万円

統合簡易水道事業（平中央）　3,200 万円

平成２２年度にジアルジアが検出された大崩島専用水道について、高草嶺水源からの送水に切替えることにより、安全・安心な浄水の供給を行います。

○ 事業費
　送水管敷設工事費　3,200万円

財源

国県支出金	800 万円
起債	2,400 万円

病院事業会計

（担当：南砺家庭・地域医療センター　医療局　　問合せ先　23－1003）

病院事業会計の概要

（事業費用と資本的支出の合計）　79億727 万円

南砺市の病院事業は、南砺市民病院と公立南砺中央病院の２病院により対応しており、２病院を統括する部門として医療局があります。

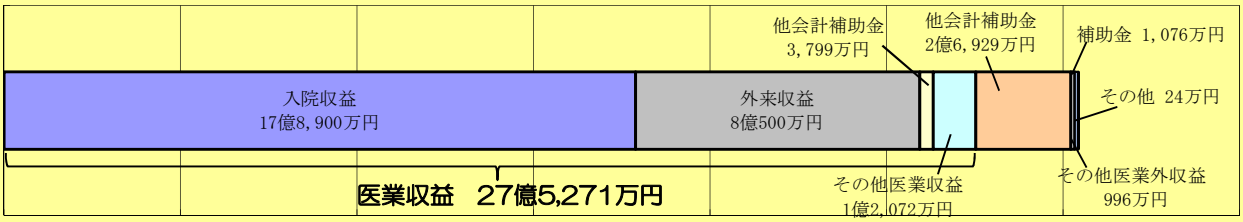
２つの病院は、民間病院と同様に診療収入で経費を賄う企業会計として運営していますが、公立病院の使命として、へき地医療の確保や救急医療、高度医療、在宅医療の支援といった民間病院での対応が難しい内容の業務に取り組んでいることから、それらの費用の財源として一般会計からの繰入金を充ててその経営を維持しています。

また、公営企業として、１年毎に費用として処理する収益的収支と当年度の費用とせず翌年度以降数年間の費用として期間配分されるべき建設改良費等の費用を資本的収支として区分して執行管理を行っています。

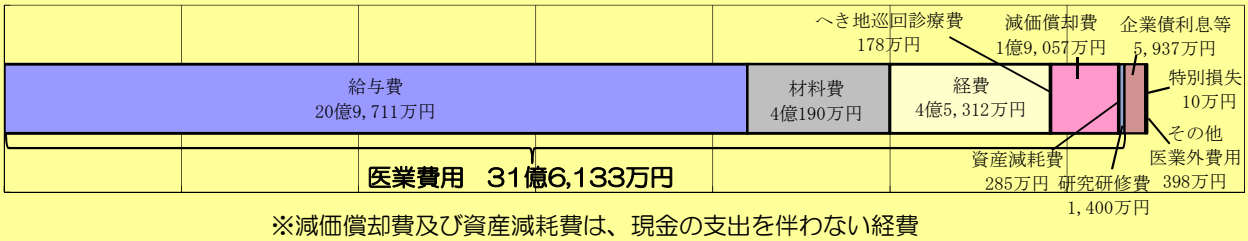
南砺市民病院　収益的収支

（事業費用）32億2,478 万円

事業収益 30億4,296万円



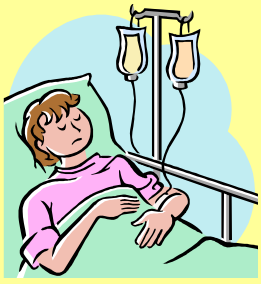
事業費用 32億2,478万円



※減価償却費及び資産減耗費は、現金の支出を伴わない経費

南砺市民病院の一般病床は180床あり、平成24年度の診療の予定は、入院患者50,000人（1日当たり137人）外来患者91,000人（1日当たり371人）を予定しています。

事業収益から事業費用を差し引いた約1億8,182万円の赤字予算となっておりますが、事業費用の中には現金の支出を伴わない経費が約1億9,342万円含まれています。

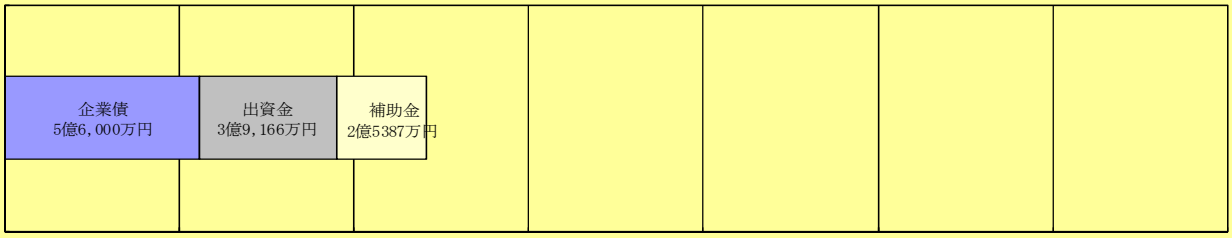


病院事業会計

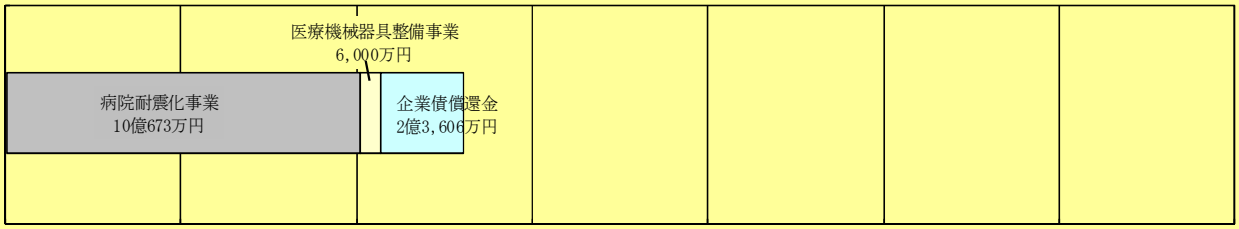
（担当：南砺家庭・地域医療センター　医療局　　問合せ先　23－1003）

南砺市民病院　資本的収支　（資本的支出）　13億279 万円

資本収入　　12億553万円



資本的支出　13億279万円



※資本的収入が、資本的支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補填します。

【建設改良費等の主な内容】

病院耐震化事業(平成24年度事業分)　※人件費を除く	9億9,950万円	医療機械器具整備	6,000万円
		企業債元金償還金	2億3,606万円

病院耐震化事業　9億9,950 万円

南砺市民病院は、昭和45年に現在地に移転して以来、４回の増築が行われてきましたが、昭和56年以前に建築された１号棟と２号棟を新しい耐震基準で改築しています。

平成２２年度から工事を開始し、平成２６年に完成する予定で、３年半にわたる大規模な工事となっています。平成２４年度はいよいよ本格工事となります。

総事業費	19億8,000万円
平成２３年度までの支払見込額	3,970万円
平成２４年度予算額	9億9,950万円
平成２５年度予定額	8億1,000万円
平成２６年度予定額	1億3,080万円

財源

国庫支出金	2億4,694万円
起債	5億　700万円
一般会計出資金	2億4,511万円
自己資金	45万円

医療機械器具整備　6,000 万円

○一般医療機器整備

耐震化工事に伴い、建設する「西棟」に透析センターを移設し、病床も増加するため、追加機器などを購入します。

・人工透析装置
・低床電動ベッド
・スケールベッド　など

○地域医療再生臨時特例交付金事業

市立砺波総合病院を中心に砺波医療圏で取り組んでいる電子カルテ連携事業のため、パソコンやプリンターなどの更新をします。

財源

国庫支出金	693万円
起債	5,300万円
自己資金	7万円

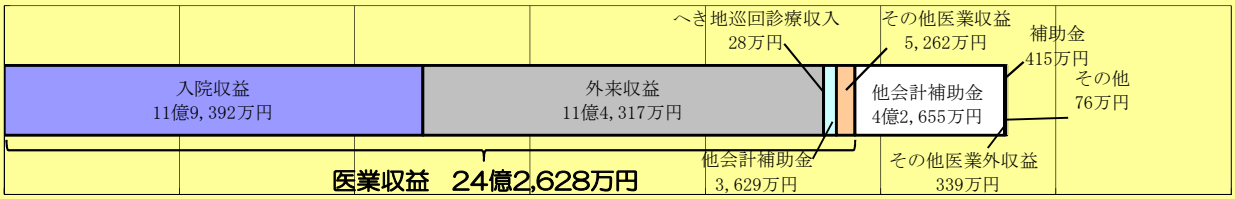
病院事業会計

（担当：南砺家庭・地域医療センター　医療局　　問合せ先　23－1003）

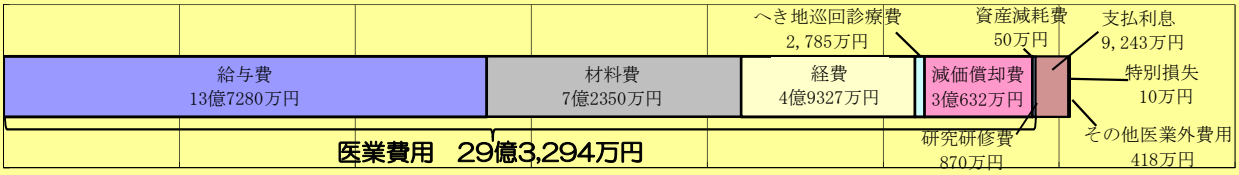
公立南砺中央病院　収益的収支

（事業費用）30億2,965 万円

事業収益　28億6,113万円



事業費用　30億2,965万円



※減価償却費及び資産減耗費は、現金の支出を伴わない経費

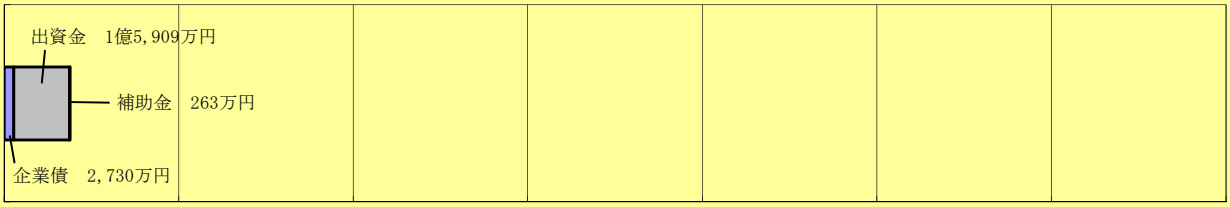
公立南砺中央病院の病床は一般・医療型病床が166床、介護型療養病床が24床あります。平成24年度の診療の予定は、入院患者が一般・医療型病床で34,700人(1日当たり95人)、介護型療養病床で8,400人（1日当たり23人）、外来患者で78,000人（1日当たり318人）を予定しています。

事業収益から事業費用を差し引いた約1億6,852万円の赤字予算となっていますが、事業費用の中には現金の支出を伴わない経費が3億682万円含まれています。

公立南砺中央病院　資本的収支

（資本的支出）　3億153 万円

資本収入　1億8,902万円



資本的支出　3億153万円

※資本的収入が、資本的支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補填します。

【建設改良費等の主な内容】

医療機械器具整備	3,000万円	企業債元金償還金	2億4,893万円
他会計からの長期借入金償還金	2,260万円		

医療機械器具整備

3,000　万円

南砺中央病院の開院から、９年を経過し、修理部品の調達ができなくなった医療機器の更新をします。また、安全な医療を提供するため、眼科・内視鏡検査など医療機器を整備します。

- 超音波白内障手術装置
- 内視鏡室ＮＢＩ（狭帯域光観察機）
- 眼科フーリエドメインＯＣＴ　　など

財源

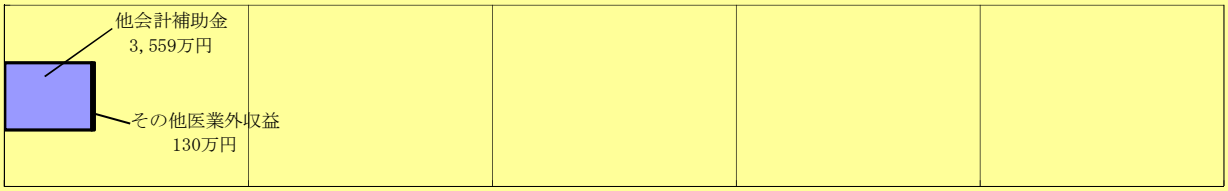
国庫支出金	263万円
起債	2,730万円
自己資金	7万円

病院事業会計

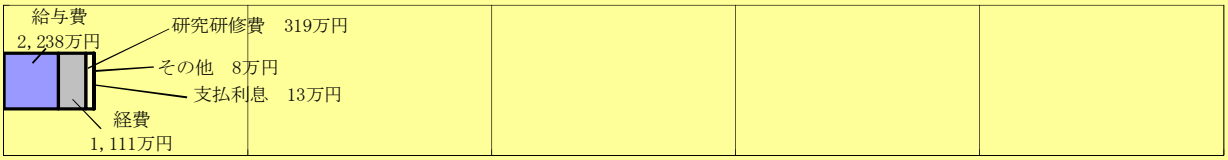
（担当:南砺家庭・地域医療センター　医療局　問合せ先　23－1003）

統括事業　収益的収支　（事業費用）　3,689 万円

事業収益　3,689万円



事業費用　3,689万円



統括事業では、南砺市の２病院を統括する費用が計上されます。そのため費用の事業費の約6割が人件費となっております。また、富山大学協力の下で、住民参加の講座等費用を研究研修費に計上しています。

なお、費用の財源は大半が一般会計からの補助金となっています。

【主な内容】

医療局管理費　3,542万円　　地域医療再生ﾏｲｽﾀｰ養成事業　88万円

南砺の地域医療を守り育てる会事業　59万円

地域医療再生マイスター養成事業　88 万円

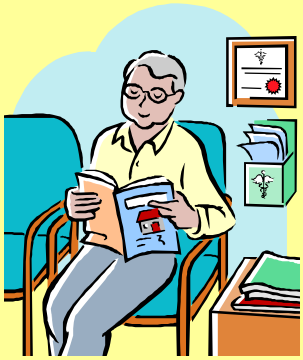
南砺市では、富山大学附属病院総合診療部の協力を得て、地域医療再生への取り組みを進めています。

地域医療の課題の発見から、具体的な解決策の検討、地域医療の再生方法まで、地域住民や地域の団体などが中心となって、自主的な地域医療の再生をすすめるためのノウハウを、講義とグループワークショップ演習を通じて学んでいただきます。

南砺の地域医療を守り育てる会　59 万円

「南砺の地域医療を守り育てる会」では住民参加型の地域医療システムの構築を目指し、医療・福祉分野等で活躍されている講師による講演や、地域医療に取り組むグループの発表や討論を実施しています。

みなさんと南砺市の地域医療を考える場となっています。



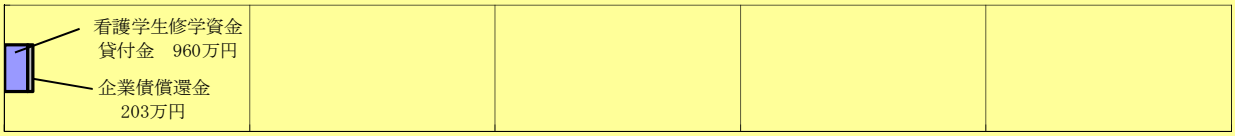
病院事業会計

（担当:南砺家庭・地域医療センター　医療局　問合せ先　23－1003）

統括事業　資本的収支　（資本的支出）　1,163 万円

資本収入　1,163万円

資本的支出　1,163万円



【建設改良費等の主な内容】

看護学生修学資金貸与　960万円　　企業債償還金　203万円

看護学生修学資金貸与　960 万円

将来、南砺市立医療機関に助産師又は看護師として勤務しようとする看護学生に対して、奨学資金を貸与することにより、その修学を支援するものです。また、支援した看護学生が資格取得後、南砺市立医療機関に勤務することにより看護職員の確保及び資質向上を図るものです。今回、南砺市に加え、新たに砺波市並びに小矢部市にお住まいの（または、住まわれていた）方も貸与を受けられるようになりました。

1　資金の貸与を受けることができる方

・資金の貸与を受ける方は、次に掲げる要件を備えていなければなりません。

（1）　南砺市、砺波市並びに小矢部市内に1年以上居住する方または居住していた方。

（2）　健康かつ品行方正であって学業成績が優秀であること。

（3）　在学する養成施設の長の推薦があること。

（4）　他の奨学資金の給付又は貸与を受けていない方。

2　貸与の額

・月額50,000円

3　貸与の期間

・資金を受けるに至った月から、奨学生が在学する養成施設の正規の修学期間を終了する月までの期間

4　利息

・貸与した修学資金には、利息を付けません。

5　資金の返還

貸与決定者が、卒業後直ちに助産師又は看護師として南砺市立医療機関に採用された場合、返還を猶予することができます。

なお、採用後、5年間業務に従事した場合は貸与された修学資金の返還を免除する制度を設けています。

水道事業会計

（担当:福光庁舎　上下水道課　　問合せ先　23-2023）

水道事業会計の概要

（事業費用と資本的支出の合計）17億3,067万円

水道事業は、民間企業と同様に使用料収入で経費を賄う企業会計で運営しています。予算を収益的収支と資本的収支に分けて執行管理を行っています。

水道事業では、主に砺波広域圏事務組合水道事業所から浄水を受水しているほか、自己水源を複数持っており、いずれの水源においても十分な取水量が確保されています。

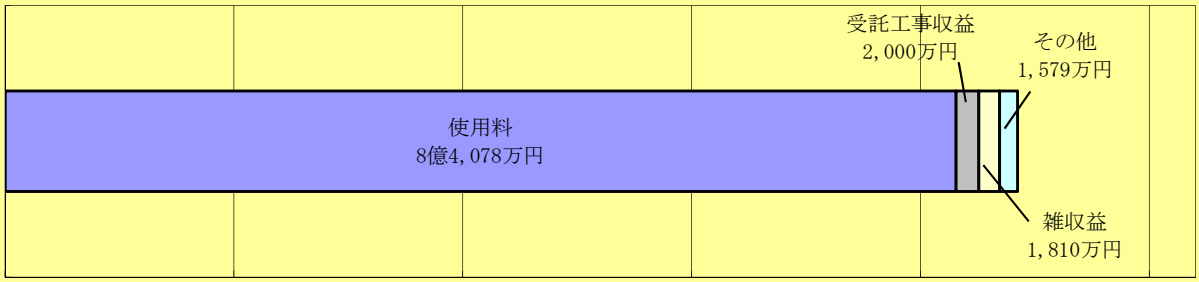
施設の概要

- 管路延長　約635Km
- 配水池　34箇所

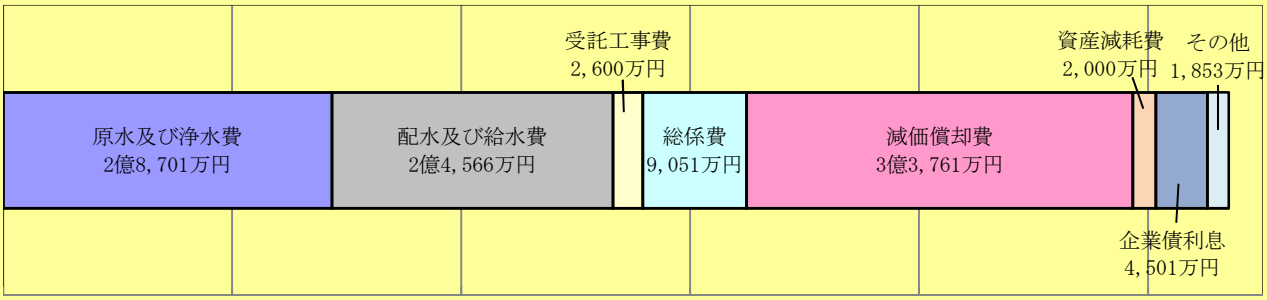
収益的収支

（事業費用）10億7,033万円

事業収益　8億9,467万円



事業費用　10億7,033万円



※減価償却費及び資産減耗費は、現金の支出を伴わない経費（損益勘定留保資金）

平成24年度の水道事業の業務予定量は、給水戸数17,600戸、年間総給水量515万㎥、一日平均給水量14,110㎥としています。

事業費用の内訳

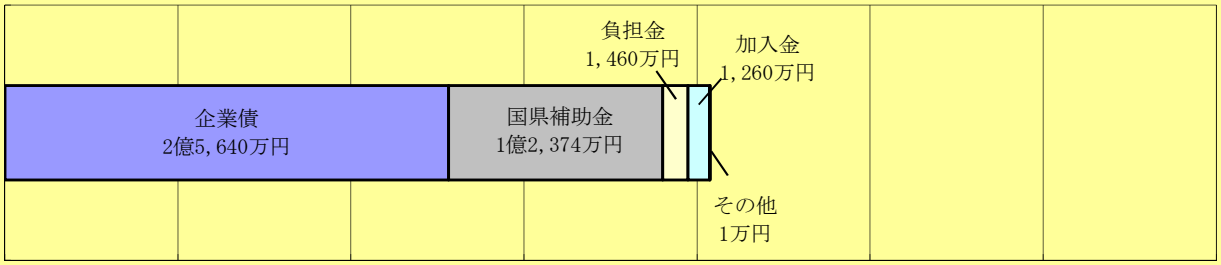
水質検査委託料	1,760万円
受水費	2億6,083万円
量水器取替委託料	873万円
漏水調査委託料	930万円
鉛給水管取替工事費	9,200万円
検針委託料	2,117万円
企業債利子償還金	4,501万円
職員給与費	8,469万円
配水管等施設修繕費	6,250万円
動力費	1,471万円
受託工事費	2,600万円
減価償却費	3億3,761万円
資産減耗費	2,000万円
その他維持管理費	7,018万円

水道事業会計

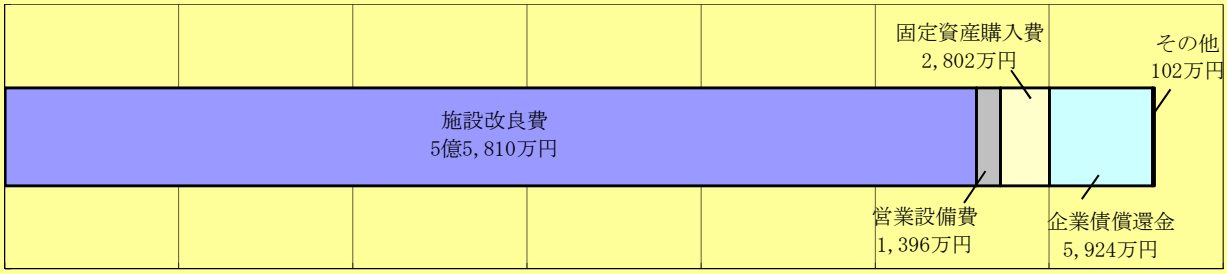
（担当：福光庁舎　上下水道課　　問合せ先　23-2023）

資本的収支　（資本的支出）6億6,034 万円

資本的収入　4億735万円



資本的支出　6億6,034万円



※資本的収入が、資本的支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補填します。

○ 施設改良費の主な内容
- 高度浄水施設整備事業　3億5,600万円
- 道路改良関連等工事　6,460万円
- 石綿セメント管更新工事　1,000万円
- 老朽管更新工事　8,721万円

○ 営業設備費の内容
- 量水器購入費　1,396万円

○ 固定資産購入費の内容
- 福光系送水管及び大井川水管橋　2,802万円

高度浄水施設整備事業　3億5,600 万円

福光地域の小山配水区（槍ヶ先水源）において、砺波広域圏事務組合水道事業所からの浄水に切り替える事業を平成１９年度から計画的に実施しています。

平成２４年度は計画の最終年度となり、送水管の敷設、水管橋及び送水ポンプの整備を行います。

○ 事業費
- 高度浄水施設整備工事費　3億5,600万円

財源

国庫支出金	1億1,867万円
起債	1億6,610万円
自己資金	7,123万円

川合田地区配水管敷設事業　3,000 万円

福光地域の川合田地区において簡易水道から上水道への切替をするもので、平成２４年度から配水管整備を行います。

整備期間は平成２７年度までの予定としています。

○ 事業費
- 川合田地区配水管敷設工事費　3,000万円

財源

国庫支出金	250万円
起債	1,920万円
自己資金	830万円

下水道事業会計

（担当:福光庁舎　上下水道課　問合せ先　23-2024）

下水道事業会計の概要

（事業費用と資本的支出の合計）　59億4,372万円

下水道事業は、民間企業と同様に使用料収入で経費を賄う企業会計で運営しています。しかし南砺市は平野部は散居村、山間部は集落が点在し、管渠（下水道の汚水を流す配管）や処理場の整備コストが割高であることなどから、一般会計からの繰入金を充てています。

また、整備手法の異なる公共下水道事業、農業集落排水事業、林業集落排水事業、個別合併浄化槽設置事業を１つの会計とし、予算を収益的収支と資本的収支に分けて執行管理を行っています。

下水道事業の業務予定量は排水件数16,325戸、年間総排水量694万㎥、一日平均排水量19,024㎥としています。

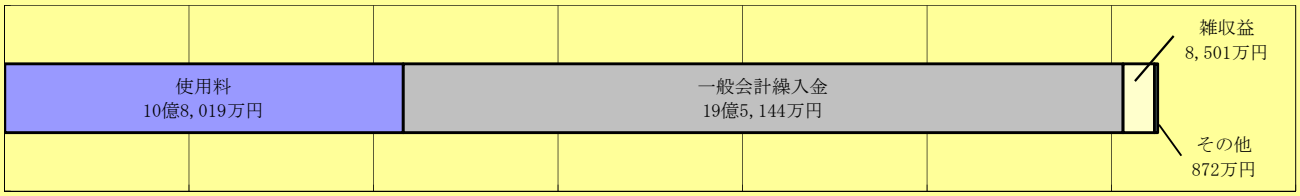
【施設の概要】

- 管渠延長　約892Km
- 汚水処理場　40箇所
- 汚水中継ポンプ　216箇所
- 合併処理浄化槽（市設置）　90基

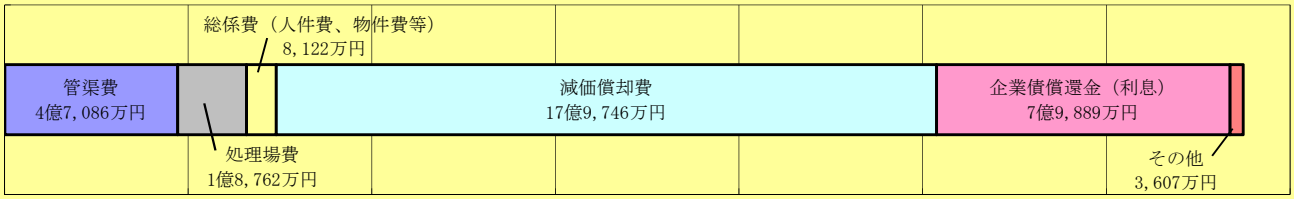
収益的収支

（事業費用）33億7,212 万円

事業収益　31億2,536万円



事業費用　33億7,212万円



※減価償却費は、現金の支出を伴わない経費（損益勘定留保資金）

減価償却費と企業債の利息の支払が費用の約77%を占めていますが、管渠や処理場の維持管理費には、およそ7億4,000万円の経費がかかっています。

管渠費　4億7,086 万円

○公共下水道管渠管理費	6,713万円
○小矢部川流域下水道維持管理負担金	3億7,528万円
○農業集落排水管渠管理費	2,678万円
○林業集落排水管渠管理費	147万円
【主な経費の内容】	
・不明水、老朽管対策	（2,150万円）
・ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ保守点検	（1,880万円）
・管渠マンホール等修繕	（2,390万円）

管渠補修

浄化センター・処理場費　1億8,762 万円

○公共下水道処理場管理費	5,598万円
○農業集落排水処理場管理費	1億1,733万円
○林業集落排水処理場管理費	773万円
○個別合併浄化槽管理費	658万円
【主な経費の内容】	
・処理場維持管理委託	（7,046万円）
・処理場汚泥処理費	（3,948万円）
・処理場修繕費	（3,078万円）

下水道事業会計

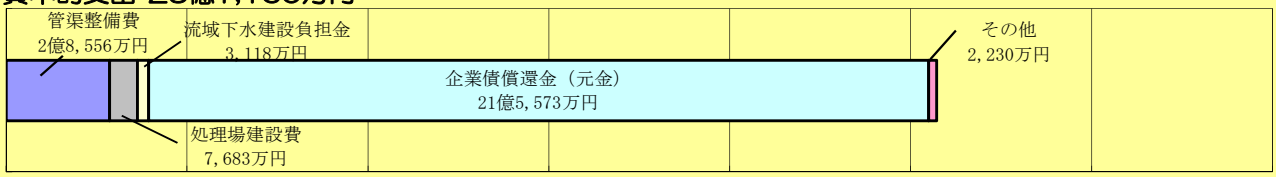
（担当:福光庁舎　上下水道課　　問合せ先　23-2024）

資本的収支　（資本的支出）25億7,160 万円

資本的収入　8億7,756万円

※資本的収入が、資本的支出に対して不足する額は損益勘定留保資金で補填します。

資本的支出 25億7,160万円



下水道の整備はほぼ完了しており、下水道接続率は平成２２年度末で88.3%となっています。
しかし、下水道の整備にはたいへん大きな事業費が必要であり、過去の建設費の財源として借り入れた企業債の償還金の支払が支出の約90%を占めています。今後数年は企業債の元利償還金のピーク期間であり厳しい経営環境にあります。

【資本的支出の主な内容】

○管渠整備費

公共下水道管渠整備費	2億6,226万円
農業集落排水管渠整備費	2,280万円

○処理場建設費・合併浄化槽設置費

公共下水道処理場整備費	230万円
農業集落排水処理場機能強化対策費	5,500万円
個別合併浄化槽整備費	400万円

管渠整備費　2億8,556 万円

下水道未整備地区に管渠を延伸します。また市街地の浸水対策として雨水管渠の整備を実施します。そのほか、マンホールポンプの長寿命化に向けた計画を策定します。

･汚水管渠整備	1億3,750万円
･浸水対策雨水管渠整備	6,300万円
･北野橋汚水管橋梁添架	1,000万円
･ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ長寿命化計画策定	500万円
･長寿命ﾎﾟﾝﾌﾟ更新	3,000万円

マンホール
設置状況

財源

国庫補助金	7,750万円
起債	1億4,960万円
自己資金	5,846万円

農業集落排水処理場機能強化　5,500 万円

新屋地区（上平地域）の処理場の処理槽のコンクリート防食被覆を施し、マンホール蓋の改良、設備配管の更新を実施します。

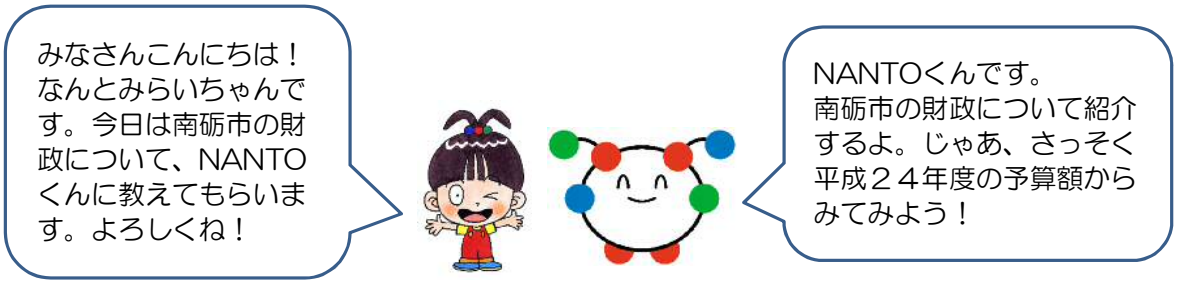
･処理場機能強化対策	4,920万円
･機能強化設計施工管理委託	580万円

農業集落排水処理場

財源

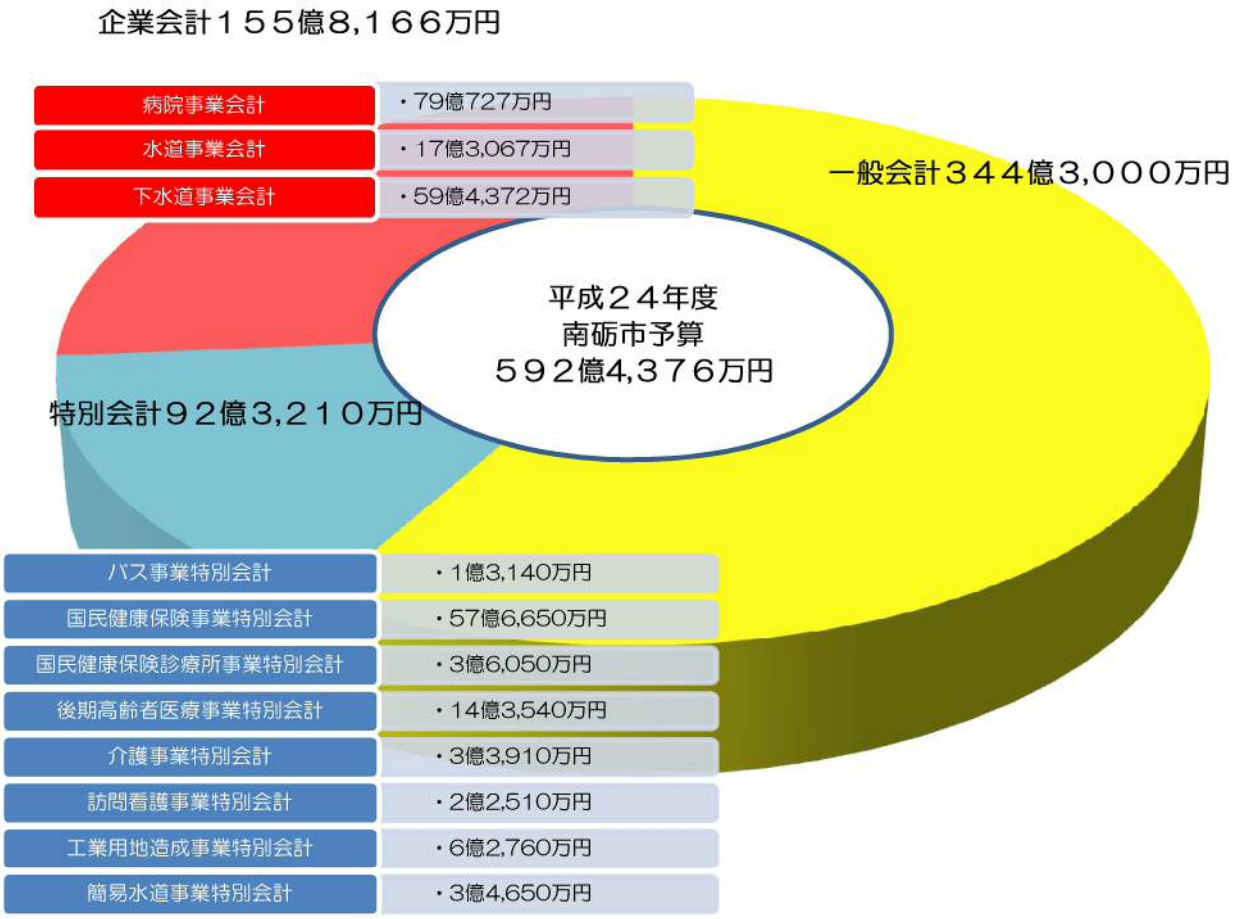
国庫補助金	2,700万円
起債	2,430万円
自己資金	370万円

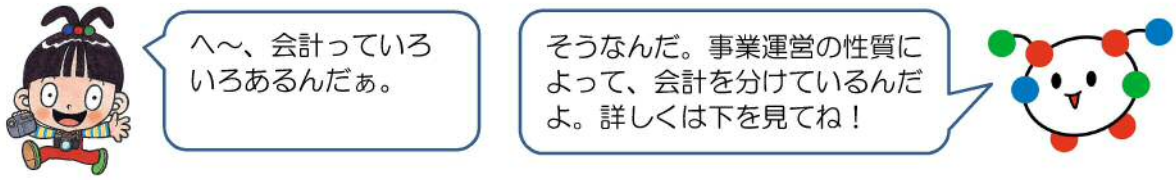
資料編



Q南砺市の今年の予算額は？

一般会計・特別会計・企業会計合わせて５９２億４,３７６万円となっています。



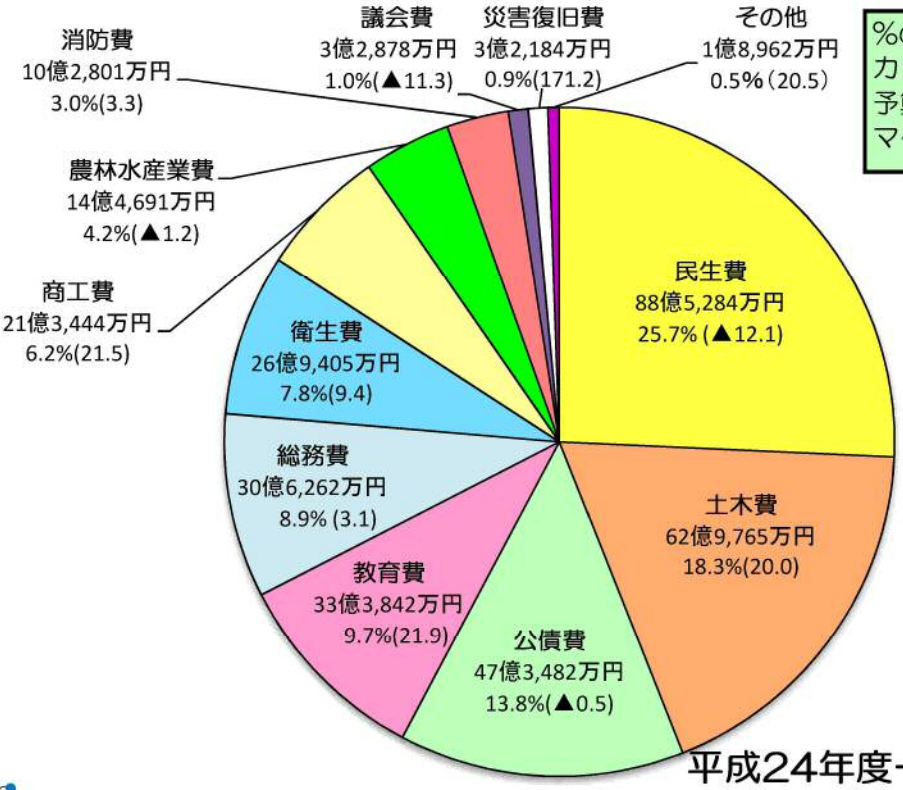


○一般会計とは　市の基本的な仕事のための会計です。市民の皆さんに納付していただく市税や国や県の補助金などが財源となります。

○特別会計とは　特定の収入（使用料や保険料など）がある事業を、収支を明確にするため一般会計から独立させた会計です。

○企業会計とは　病院・水道・下水道など民間企業のように事業の収益で運営される会計です。

Q平成24年度一般会計予算344億3,000万円はどう使うの？



%の数字は構成比。
カッコ内の数字は23年度当初予算額に対する伸び率(%)
マイナスは▲

平成24年度一般会計予算　歳出

平成24年度予算は、前年度当初に比べ13億2,200万円（4.0%）増えているよ。特に、市民の皆さんから要望のあった事業に2億8千万円、元気で活力ある南砺市を創るための「なんと元気なまちづくり事業」に約2億5千万円を計上しているんだ。
南砺スマートIC設置や市民要望のあった道路整備を含む土木費は、前年度に比べて約10億5千万円（20.0%）の増、平、上平統合小学校建設や利賀中村体育館改修工事を含む教育費は約6億円（21.9%）の増となったんだ。他にも総務費、衛生費、商工費、消防費などが増えたよ。民生費、公債費、農林水産業費などは減少したよ。

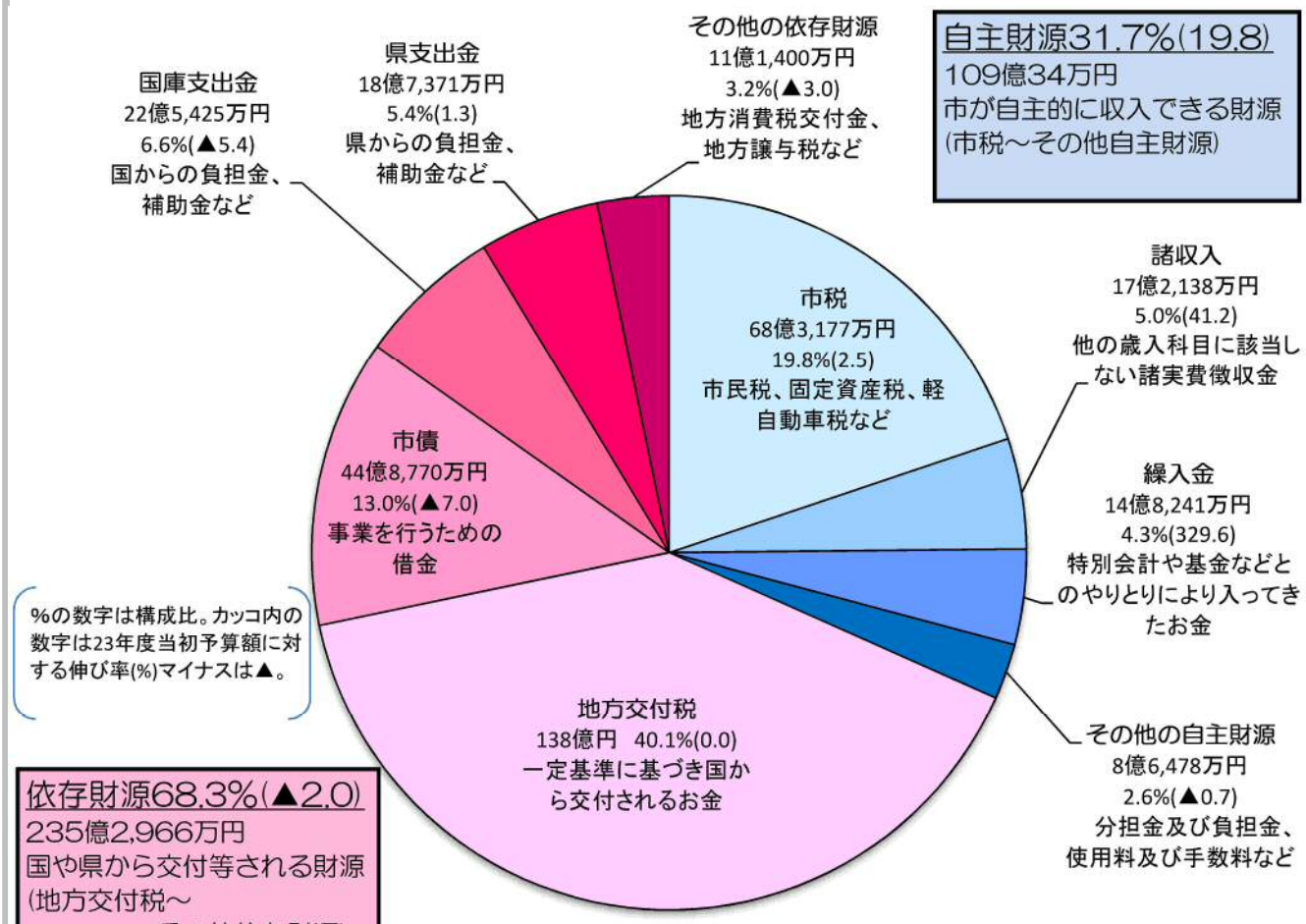
フムフム…でも金額が大きすぎてイメージできないなぁ。

市民１人当たりにすると、平均62万7千円のサービスを受けていることになるんだ。内訳は下の図を見てね。

※資料編の平成24年度人口は、平成24年2月末住民基本台帳人口の54,873人としています。

民生費 子どもや高齢者、障害者など市民の福祉に使います。 16万1千円	**土木費** 道路や公園、河川の整備や維持管理に使います。 11万5千円	**公債費** 市の借金の返済に使います。 8万6千円	**教育費** 小中学校や文化・スポーツ・生涯学習など教育に使います。 6万1千円
総務費 市役所の全般的な運営に使います。 5万6千円	**衛生費** 市民の健康のために使います。 4万9千円	**商工費** 商工業の発展のために使います。 3万9千円	**農林水産業費** 農林水産業振興に使います。 2万6千円
消防費 消防署や消防団に使います。 1万9千円	**議会費** 市議会の運営に使います。 6千円	**災害復旧費** 災害による被害の復旧に使います。 6千円	**その他** 労働費・諸支出金・予備費 3千円

Q一般会計にはどんな収入があるの？

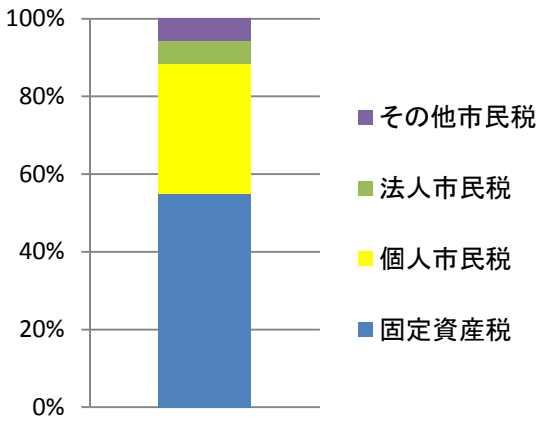


平成24年度一般会計予算　歳入

おもな収入として、市民の方に収めて頂く市税、一定の基準によって国から交付される地方交付税、国や県から特定の事業に交付される国庫支出金・県支出金、事業を行うために銀行などから借りる市債などがあるよ。
南砺市は、市税など市が自分で調達できる自主財源（収入）が31%しかないんだ。それに対して国や県から交付される依存財源が68%となっていて、収入の大部分を依存財源に頼っている状態なんだよ。

税金にもいろいろな種類があるって聞いたことがあるよ。

よく知っているね。何に対して税金をかけるかによって、種類が分かれているんだよ。市税の内訳は下を見てね。



Q市税の内訳は？

●土地や家を持っている人に課税される固定資産税
37億8,265万円
●市民の方に負担していただく個人市民税
22億8,970万円
●市内の会社(法人)の収入などに応じて課税される法人市民税
4億　940万円
●その他に軽自動車税や市たばこ税、入湯税があります。
3億5,002万円

○平成２３年度末借入金残高見込み　（全会計）　８７９億８，７０９万円
（前年度８９０億１，０１２万円）

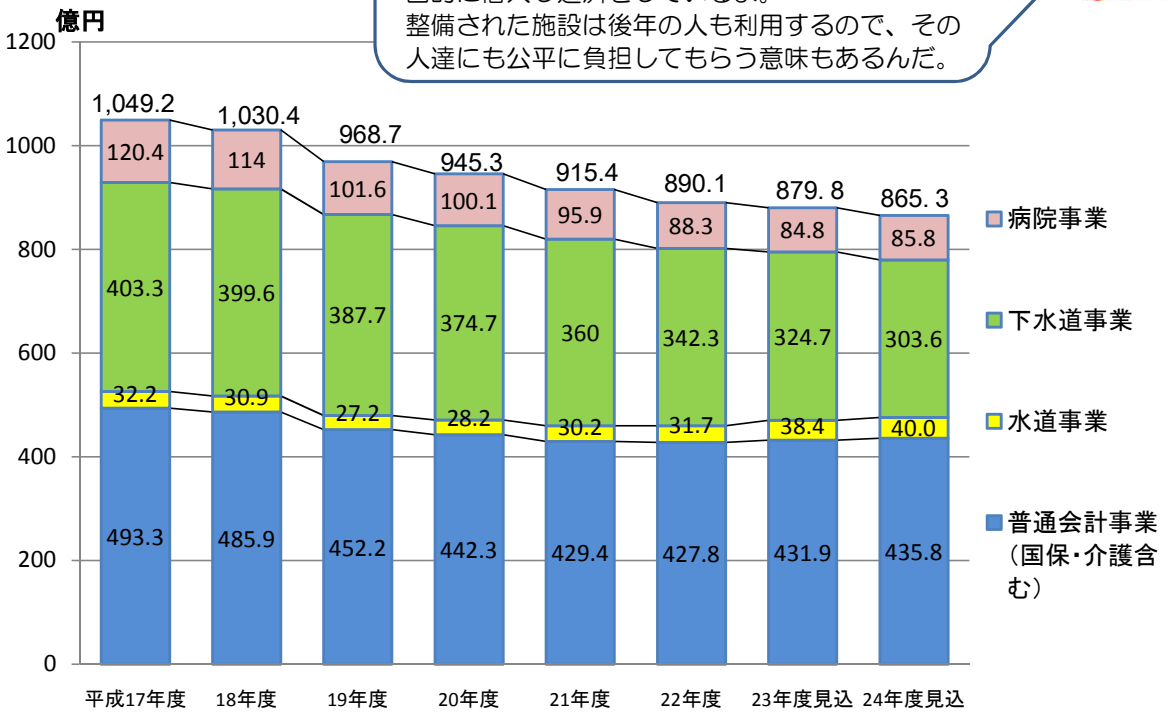
市民1人あたりの借入金額　１６０万円

南砺市の借入金に当たる地方債（市債）残高は、毎年減少しています。平成１６年の合併以来、事業の厳選による新規借入の抑制、繰上償還を実施などにより借入金残高の減少に努めてきました。

市債って借金なんでしょ？徐々に減ってはきているけど、こんなにあって大丈夫？

市債は学校や保育園、社会福祉施設や道路などを整備する時の資金に充てるために借入するものなんだ。家を新築した場合のローン返済のように計画的に借入し返済をしているよ。
整備された施設は後年の人も利用するので、その人達にも公平に負担してもらう意味もあるんだ。

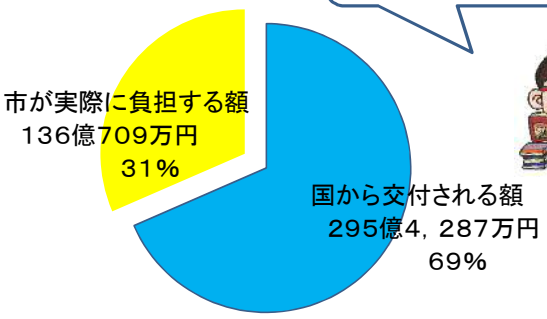
■南砺市の借入金残高の推移



○一般会計借入金残高（平成２３年度見込額　４３１億４，９９６万円）のうち
市が負担する額　　約１３６億７０９万円（約３１％）

借入金の中には、本来、国が補助金や交付金などの形で自治体に交付しなければならないものを国に代わって自治体が借入し、その返済額を国が補てんしているものも含まれるんだ。
国が補てんする返済額は、毎年、地方交付税の計算に含めて各自治体に交付されているよ。

借入金は、市が全額負担するんじゃないの？

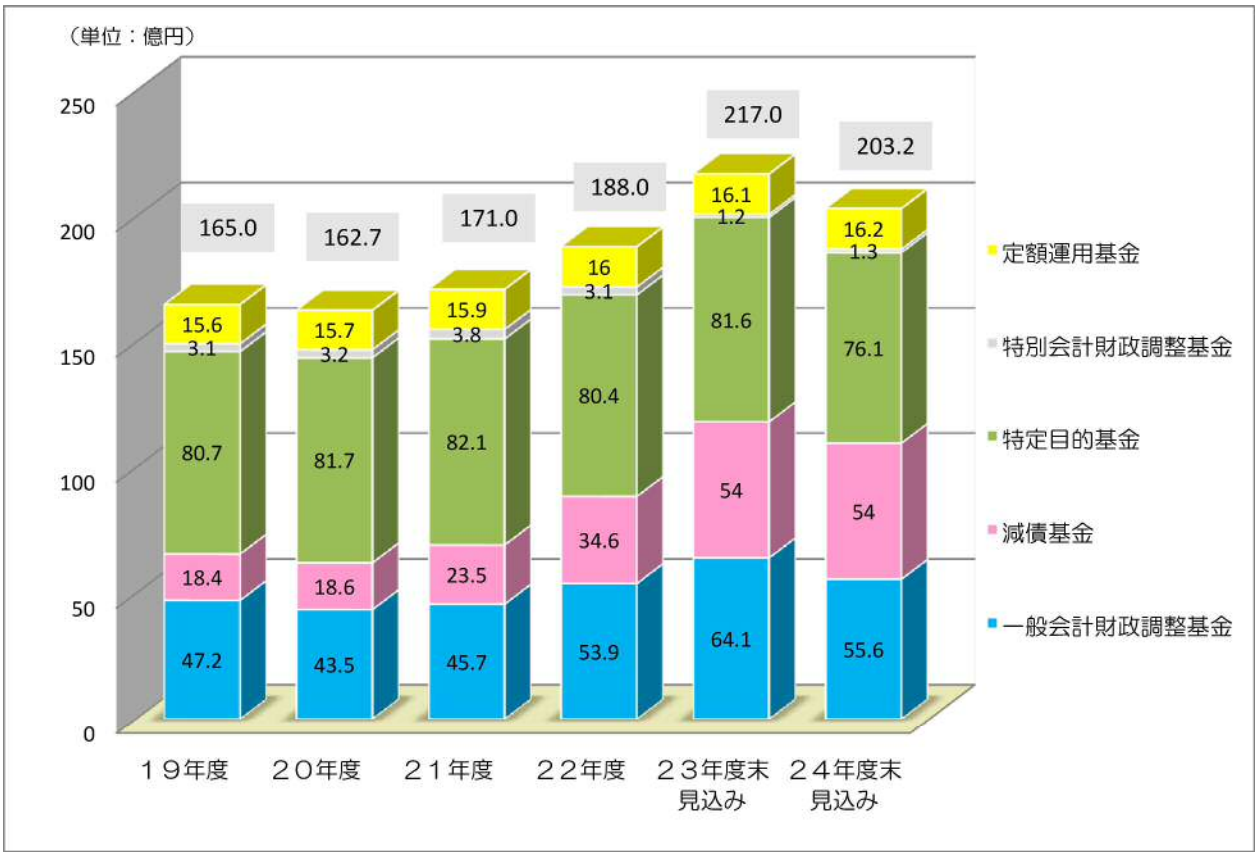


※1　借入金の返済に対して国から補てんされる額は正確に算出する事ができないため、およその目安として計算しています。

○基金の残高

基金ていうのはなに？

■南砺市の基金残高の推移



基金というのは簡単にいうと市の貯金のことだよ。上のグラフでは、いくつかの種類に分かれているね。それぞれどんな基金かというと…

・財政調整基金

不況による大幅な税収の減少や、災害などによる支出の増加に備え、余裕のある時にお金を貯めておく基金です。２４年度当初予算では、歳出に対する財源の不足により８億６，３００万円を取り崩す予定です。

・減債基金

市債（市の借金）の償還を計画的に進めるためのものです。

・特定目的基金

市の施設整備や国際交流など特定の目的の為に資金を積み立てるためのものです。２４年度当初予算では、それぞれの基金目的にあった事業の財源として合計で５億８，７９５万円を取り崩す予定です。

・定額運用基金

奨学金の貸付、公共用地や美術品の取得のために一定の資金を運用するためのものです。

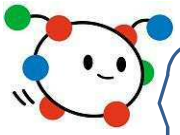
財政指標からみる南砺市　平成22年度決算

NANTO君、南砺市の財政は他の市町村と比べると、どうなの？
健全かどうか教えて～！

財政力

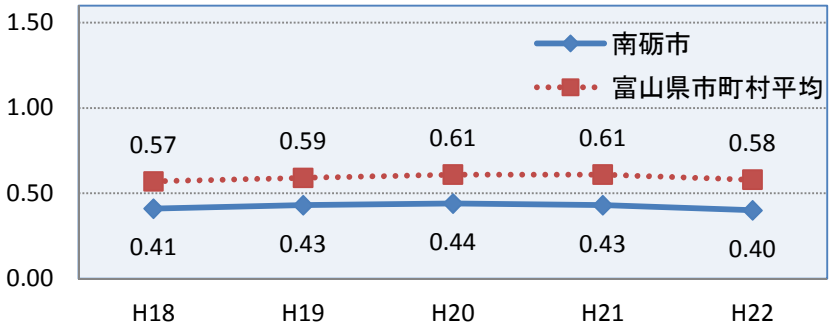
値が大きいほうが、より健全

財政力指数［0．40］



財政力指数とは、標準的な行政費用（支出）に対する標準的な収入の割合を表しているんだ。

南砺市では、企業誘致や人口増対策へ引き続き取り組みながら、財政基盤強化に努めます。



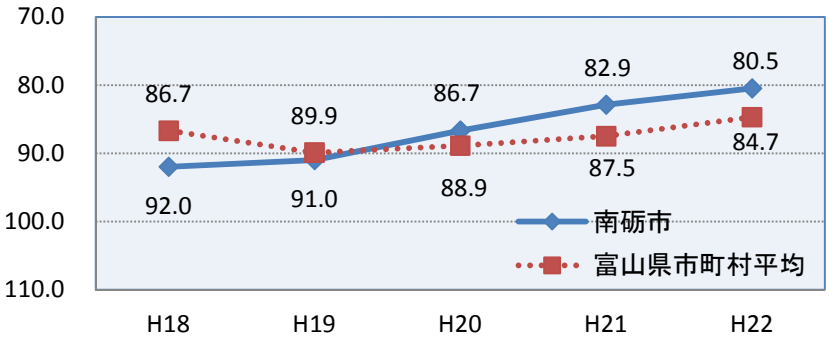
財政構造の弾力性

値が小さいほうが、より健全

経常収支比率［80．5%］

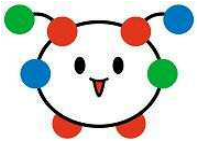
経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年決まって入ってくるお金に対して、人件費や公債費などの毎年決まって出て行くお金の割合を表しているんだ。

南砺市では、今後も引き続きコスト意識を持ち、職員数適正化や施設管理経費削減に努めます。

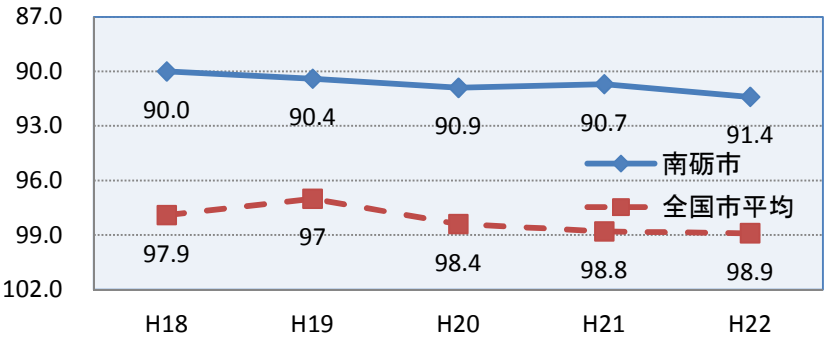


給与水準（国との比較）

ラスパイレス指数［91．4］



ラスパイレス指数とは、地方公務員の給与水準を表す指数で、国家公務員の俸給を基準(100)として、地方公務員の給与水準を表しているんだ。



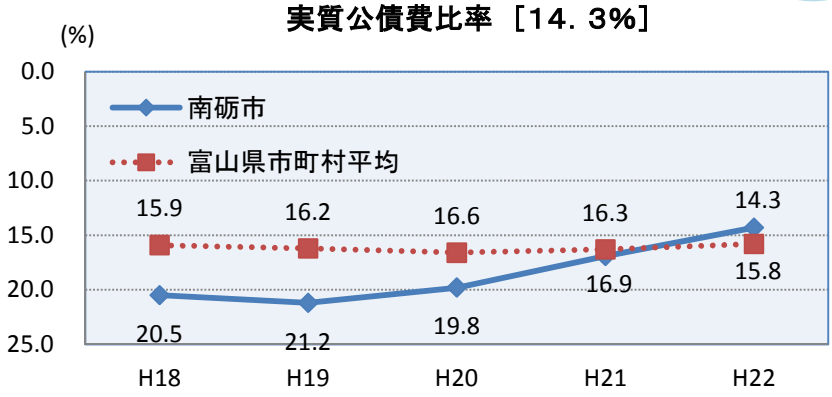
南砺市の財政状況を表す主な指標について、年度別決算を元に富山県平均と比較しました。
（給与は全国市平均）
これらは、市の財政の健全度合いを判断するために重要な指標です。

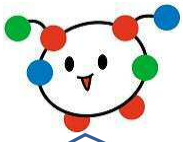
公債費負担の状況

値が小さいほうが、より健全

※総務省より公表されている数値のみ掲載しています。

実質公債費比率 ［14．3%］

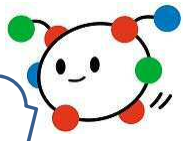




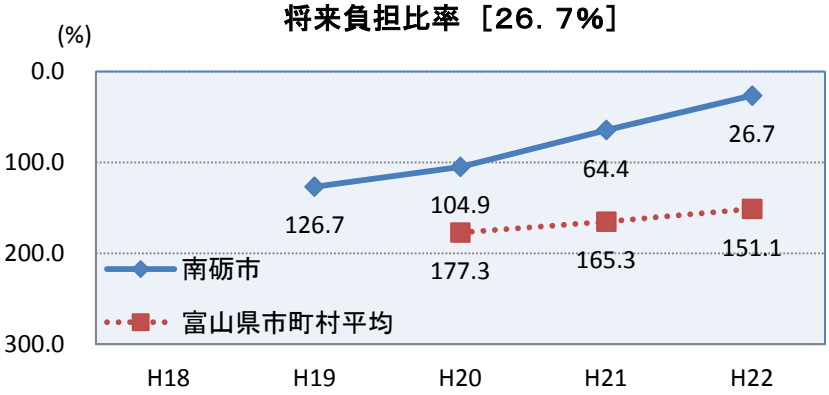
実質公債費比率とは、収入される財源に占める借金返済の割合を表しているんだ。

将来負担の状況

値が小さいほうが、より健全



将来負担比率 ［26．7%］

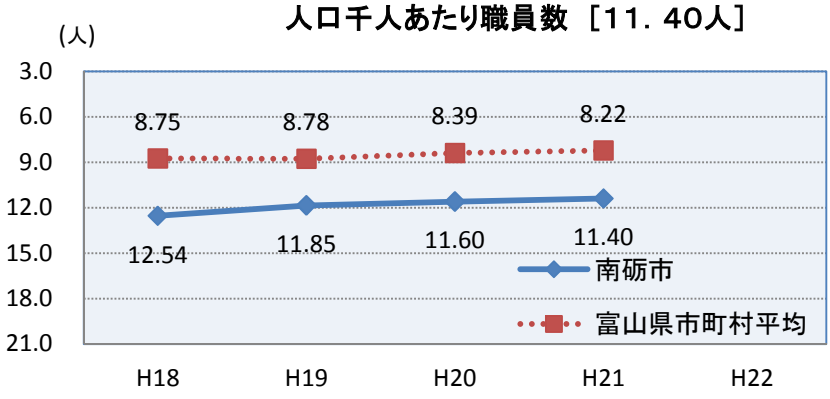


将来負担比率とは、収入される財源に占める将来負担すべき負債総額の割合を表しているんだ。

南砺市では、繰上償還等で市債残高を減らし、交付税措置率の高い市債を活用することにより、将来負担を減らすよう努めます。

定員管理の状況

人口千人あたり職員数 ［11．40人］



南砺市では、組織体制の見直し等の職員数の適正化を計画的に進めており、合併後10年間で200人減員を目指しています。

財務書類からみる南砺市　平成22年度決算

貸借対照表

H23.3.31現在

貸借対照表とは、南砺市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その資産を形成してきた財源（負債、純資産）を左右で対照表示したものだよ。

資産には、市有施設や土地などの固定資産や基金、現金、預金などを計上し、負債には、将来償還や負担すべき地方債などを計上し、純資産は、国県補助金や一般財源を計上しているんだ。

〈資産の部〉		〈負債の部〉	
1.公共資産	2,693億9,742万円	1.固定負債	880億6,388万円
(1)事業用資産	992億3,428万円	(1)地方債	804億1,149万円
(2)インフラ資産	1,674億6,128万円	(2)退職手当引当金	76億5,239万円
(3)無形固定資産	26億2,162万円		
(4)売却可能資産	8,024万円	2.流動負債	79億2,821万円
2.投資等	154億2,617万円	(1)翌年度償還予定地方債	69億246万円
(1)投資及び出資金	21億9,884万円	(2)その他	10億2,575万円
(2)貸付金	1億7,777万円		
(3)基金等	128億8,664万円	負債合計	959億9,209万円
(4)その他	1億6,292万円	〈純資産の部〉	
3.流動資産	150億7,356万円		
(1)資金	141億861万円	純資産合計	2,039億506万円
(2)その他	9億6,495万円		
資産合計	2,998億9,715万円	負債及び純資産合計	2,998億9,715万円

南砺市の資産総額は、約2,999億円で、住民一人当たり約541万円の価値があるんだ。また、この資産を形成するための負債が、市債や企業債など約960億円あり、住民一人当たり約173万円になるんだよ。南砺市の借金（地方債残高）約873億円のうち、約562億円は償還時に地方交付税へ算入されることを見込んでいるんだ。

南砺市財務書類による指標

南砺市の財務書類を分析し指標化したよ。これで財政状況が分かりやすく把握できるようになり、年度間の比較や他市との比較などをしながら、より健全な財政運営につなげることができるんだ。

○市民一人あたりの資産と負債

資産　541万円　→これまで形成してきた資産の価値（将来の住民が利用できる価値）です。

負債　173万円　→将来の世代が負担すべき債務です。

○純資産比率

68.0%

「純資産比率　＝　純資産総額／資産総額」
将来世代も利用可能な資産を蓄積したか、現在世代が便益を受けたかという分析ができます。

○将来世代負担比率

28.2%

「将来世代負担比率　＝　(地方債残高＋未払金)／(公共資産＋投資等)」
社会資本の形成に係る将来世代の負担の割合を把握できます。

○行政コスト対公共資産比率

16.0%

「行政コスト対公共資産比率＝経常行政コスト／公共資産」
資産が効率的に活用されているかという分析ができます。

平成22年度末における財務書類を市の全体会計で作成しました。
これらは、総務省が示した「総務省改訂モデルに基づく財務書類作成要領」に則ったもので、資産や債務情報を一体的に把握しながら、健全な財政運営の指標として活用しています。

市民一人あたりでいうと‥

○貸借対照表

・平成21年度

資産	負債 180万円
538万円	純資産 358万円

・平成22年度

資産	負債 173万円
541万円	純資産 368万円

○純経常行政コスト

・平成21年度

コスト 54万円

・平成22年度

コスト 55万円

住民基本台帳人口
平成22年度　55,415人(平成23年3月31日現在)
平成21年度　56,097人(平成22年3月31日現在)

行政コスト計算書

H22.4.1～H23.3.31

南砺市が一年間（4月1日～3月31日）で行う行政活動のうち、資産形成に結びつかない行政サービスに係るコストとその財源を対比したものだよ。

経常費用	431億9,118万円
1.人にかかるコスト	85億2,487万円
人件費、退職手当等引当金繰入など	
2.物にかかるコスト	177億9,554万円
物件費、減価償却費、維持補修費など	
3.移転支出的なコスト	150億7,317万円
社会保障給付、補助金など	
4.その他のコスト	17億9,760万円
経常収益	125億7,751万円
使用料、手数料、分担金、負担金、保険料、事業収入など	
純経常行政コスト（経常経費－経常収益）	306億1,367万円

平成22年度に南砺市が提供した資産形成に結びつかないサービスは約432億円だったんだ。一方、住民等から納められた利用料金等の収入が約126億円で、差引き約306億円を地方税や地方交付税などの一般財源でまかなっているんだよ。

資金収支計算書

H22.4.1～H23.3.31

現金の出入り情報を3つの区分に分けて表示した財務書類だよ。
南砺市が、どのような活動にどのような財源を使ったか分かるんだ。

期首資金残高	125億3,042万円
1.経常的収支	121億5,093万円
人件費支出、税収入など	
2.公共資産整備収支	△29億1,616万円
公共資産整備支出、土地売払収入など	
3.投資･財務的収支	△76億5,658万円
市債元利償還支出、市債発行収入など	
当期収支	15億7,819万円
期末資金残高	141億861万円

公共資産整備収支の部と投資･財務的収支の部の支出超過を、経常的収支の部の収入超過分で補った結果、15億7,819万円を翌年度の財源として繰り越すことになったよ。

純資産変動計算書

H22.4.1～H23.3.31

貸借対照表の純資産の部が、一年間でどのように変動したかを表している計算書だよ。
総額の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したのか分かるんだ。

期首純資産残高	2,007億9,217万円
純経常行政コスト	△306億1,367万円
経常費用－経常収益	
財源調達	319億3,505万円
地方税、地方交付税、国県補助金など	
臨時損益	△2億3,893万円
災害復旧事業、公共資産除売却損益など	
その他	20億3,044万円
期末純資産残高	2,039億506万円

約306億円の純経常行政コストに、地方税など約319億円が財源となったんだ。

これからもコスト超過にならない財政運営に努めます。

南砺市職員（一般職）の人件費

会計区分	職員数（人）	給与費			共済費	合計
		給料	職員手当	計		
一般会計	599	22億4,973万円	10億6,281万円	33億1,254万円	6億9,904万円	40億1,158万円
バス事業特別会計	3	1,079万円	472万円	1,551万円	335万円	1,886万円
国民健康保険事業特別会計	11	4,077万円	2,007万円	6,084万円	1,261万円	7,345万円
国民健康保険診療所事業特別会計	13	5,622万円	4,660万円	1億282万円	1,738万円	1億2,020万円
介護事業特別会計	21	7,579万円	3,004万円	1億583万円	2,328万円	1億2,911万円
訪問看護事業特別会計	26	8,916万円	4,553万円	1億3,469万円	2,755万円	1億6,224万円
簡易水道事業特別会計	2	734万円	400万円	1,134万円	227万円	1,361万円

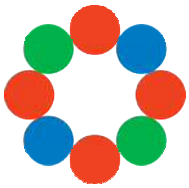
区分	職員数（人）	給与費				法定福利費	合計
		給料	賃金	職員手当	計		
病院事業会計	408	13億8,668万円	4億5,347万円	9億1,448万円	27億5,463万円	7億7,293万円	35億2,756万円
水道事業会計	11	4,625万円	－	2,369万円	6,994万円	2,466万円	9,460万円
下水道事業会計	9	3,438万円	－	1,645万円	5,083万円	1,827万円	6,910万円

お伝えします　ことしのお金の使い方

もっと知りたい南砺の仕事

―平成 24 年度予算のあらまし―

発行　富山県南砺市
編集　南砺市総務部財政課



南砺市

さきがけて　緑の里から　世界へ